ISHIKAWA

60th anniversary



石川県バドミントン協会
60周年記念誌

ごあいさつ



石川県バドミントン協会
会長 高澤 基

石川県バドミントン協会が、創立60周年の節目を迎えることができましたのは、日本バドミントン協会、石川県体育協会をはじめとする関係各位のご支援、ご協力の賜物であり、深く感謝を申し上げます。

当協会は、1948(昭和23)年3月28日に設立され、以来60年間、数多くの先人たちが、競技の普及や発展にたゆまぬ努力を積み重ね、今日の「バドミントン王国石川」を築いてこられました。この輝かしい歴史と伝統を礎とし、さらなる飛躍を期す決意を込めて、創立60周年の記念誌を発刊することといたしました。

この10年を振り返ってみても、石川のバドミントン史上に残る素晴らしい成績が数多く生まれました。2006(平成18)年の「のじぎく兵庫国体」では、少年女子が11年ぶりに優勝を果たし、2007(平成19)年の「秋田わか杉国体」では、成年女子が実に55年ぶりの王座に輝きました。

全国大会の開催につきましては、2006年に、全日本レディースバドミントン選手権と全日本社会人バドミントン選手権を16年ぶりに県内で開催しました。予選を勝ち抜いた全国のトップ選手が石川に集い、バドミントン愛好者を大いに沸かせました。

県内のバドミントン人口は、着実な広がりをみせています。協会の会員数は10年前の約2500人から約4200人(2007年度現在)に増え、都道府県単位の人口比率では、全国4位とトップクラスになっています。

この記念誌には、県バドミントン協会の過去と現在、そして、未来が刻まれています。60周年を記念して制作した応援旗「輝け!!バド石川」も掲載しました。記念誌を通じて、関係者の皆様が、「バドミントン王国石川」のさらなる発展に、より理解を深めていただければ幸いです。

最後になりましたが、発刊にあたって、貴重な原稿をお寄せいただいた方々、また、編集に携わっていただいた協会関係者および関係各位にお礼を申し上げます。

1998
（平成10年）

新たな50年を目指して

協会が創立50周年を迎えたこの年、金沢市内のホテルで記念式典が行われ、関係者約250人が「バド王国」のさらなる飛躍を誓い合った。



関係者約250人が出席して行われた創立50周年記念式典。半世紀の歩みを振り返るとともに、「バド王国」の一層の飛躍を誓った＝金沢市のホテル日航金沢



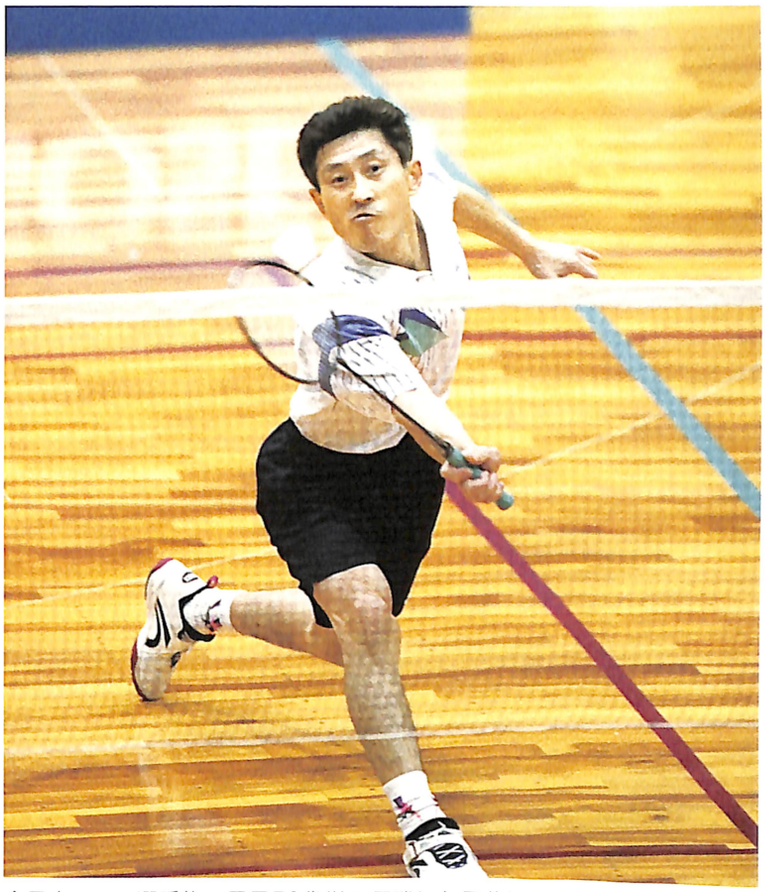


左　香川県高松市で行われた全国高校総体の男子個人複で3位に入賞した金市工の酒井忠相（右）・茶谷徳靖組

右　女子の個人複で3位入賞した向陽の田村恵里（後方）・舛田恵組



全日本シニア選手権の30代複で4強入りした坂井外喜男(左)・毛利達彦組＝金沢市総合体育館



全日本シニア選手権の男子50代単で優勝した長谷川進＝金沢市総合体育館



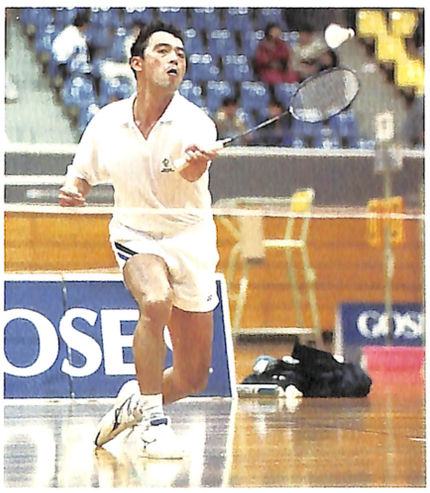
全日本シニア選手権の女子50代複で初優勝した片糸康子(後方)・片山一美＝金沢市総合体育館



県個人総合選手権で、初優勝した星明彦(右)・姜維賓組＝金沢市総合体育館



全日本シニア選手権の50代混合複で準優勝した松田新二郎(後方)・桶谷千鶴子組＝石川県体育館



全日本シニア選手権の30代男子単で準優勝した高橋光一＝石川県体育館

トピックス

米国で行われたナイキ・ワールドマスターズゲームの50代の部で単、複、混合複の3冠に輝いた桶谷千鶴子さん＝北國新聞社



1999
（平成11年）

向陽高 2年連続 総体準優勝の奮闘!!

高校総体では、女子で向陽が2年連続して準優勝し、「常勝向陽」を予感させた。世界ランカーによるジュニア指導など、協会による若手育成の取り組みも熱を帯びた。



岩手県で行われた全国高校総体で、2年連続して準優勝した向陽の西宏予（左）・曽我寛美組＝岩手県滝沢村の岩手産業文化センター



男子個人複で3位入賞した金市工の山下淳（左）・廣瀬雅士組



石川県バドミントン協会の「コーセンスーパーバドミントン」でマレーシア
から招待された世界ランカーの指導を受ける子どもたち＝金沢市の県体育館



県個人総合バドミントンで2年連続4度目の優勝を果たした舛田圭太＝金沢市総合体育館



県個人総合バドミントン女子単で初優勝し、複と合わせて2冠を獲得した向陽の西宏予＝金沢市総合体育館



オランダとドイツで行われるジュニア国際大会に出場する(左から)向陽の舛田恵、田村恵里、金市工の山下敦の各選手＝金市工高体育館



県バド社会人リーグで、全勝優勝した尾山台クラブの松居かおり(左)、星幸子＝美川町総合スポーツセンター



石川ジュニアオープンバドミントンの女子複で優勝した青山早希(左)・木村綾組＝美川町総合スポーツセンター



男子複でベスト8入りした宮村順也(右)・山田一哉組

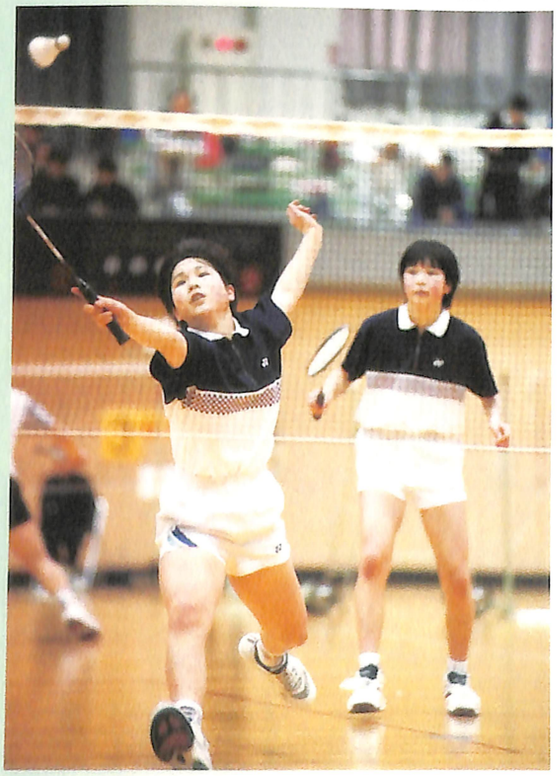
2000
（平成12年）

小学生選抜チーム 全国制覇!!

全国小学生バドミントン都道府県対抗大会で女子が初優勝。全中では美川中女子が準優勝、全日本ジュニア選手権では山口俊選手が優勝とジュニア層が活躍した年だった。



群馬県で行われた全国小学生バドミントン都道府県対抗大会の女子優勝、男子3位入賞を報告する石川選抜メンバー（後列左から）南出な・興津・水口・浜中、（前列左から）伊東・安藤・堂谷内・牧畠＝北國新聞社



石川ジュニアオープン女子複で優勝した美川中の御前香苗（後方）・梨木春花組＝美川町総合スポーツセンター



石川ジュニアオープン女子単で準優勝した金石中の伊東可奈





県内の高校男子で、圧倒的な強さを誇る金市工。県高校総体の男子団体で9年連続34度目の優勝を飾った金市工の車淳史（左）・横山康博組＝金沢市総合体育館



石川ジュニアオープン男子単、全日本ジュニア選手権で優勝した美川中の山口俊。日英ジュニア交流会に日本代表として出場した＝美川総合スポーツセンター



全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク石川2000」と併催の第四回日韓スポーツ交流に参加する韓国代表団の歓迎レセプション。1999年6月に韓国、同10月に山形県での全国スポレク祭で技を競った石川県関係者が、代表団との再開を喜び合った＝金沢国際ホテル



白熱した試合を展開する韓国チーム。県勢では年齢別バドミントンで石川Aと石川Bが各ブロックを制した＝七尾市の七尾総合市民体育館

トピックス

熊本県で行われた全中では、美川町（現白山市）が交流する開催県の三加和町役場関係者や生徒らが、長さ約6メートルの横断幕を掲げ、美川中の選手に声援を送った。



2001
（平成13年）

第1回日本マスターズで優勝!!

第1回日本マスターズで石川選抜が優勝、ジュニア日本代表に選ばれた梅津知恵選手が、オランダで3位入賞など、「バド王国石川」は明るい話題で沸いた。



日本スポーツマスターズで優勝した石川選抜のメンバーと、全日本都市職員大会で優勝した金沢市役所の男子メンバー＝北國新聞社



石川ジュニアオープンバドミントン大会男子単で2連覇を狙った美川中の山口俊が2位



石川ジュニアオープンバドミントン大会女子単で優勝した西村紗希（森本中）＝美川町総合スポーツセンター



男子団体で優勝した美川中の伊東（右）・新田



石川ジュニアオープンバドミントン大会女子複で優勝した美川中の松任(右)・田甫組。写真は石川県中学生選抜＝県体育館



石川ジュニアオープンバドミントン大会女子複準優勝の水口さゆり(左)・南出なつき組(御幸中)



群馬県で行われた全国小学生都道府県対抗団体戦で、女子団体準優勝メンバーの村上彩。写真は松下杯少年大会の小学6年女子で優勝した時＝金沢市の医王山スポーツセンター



熊本高校総体の女子団体で3位入賞した向陽の青山(左)・通次組＝八代市総合体育館



ヨーロッパジュニア遠征メンバーに選ばれ、喜ぶ梅津選手。向陽八人目のジュニア日本代表で、オランダ・ジュニア国際バドミントン競技会では女子複で3位の成績を残した＝向陽高

トピックス

石川県バドミントン協会の前理事長の河原山晴夫氏。日本バドミントン協会の功労賞を受賞した。



2002
（平成14年）

中学生選抜チーム 初栄冠!!

全国小学生選手権、女子団体で２年ぶり２度目の優勝、全日本中学生選手権の団体で初優勝し、ジュニア層が着実に育っていることを感じさせた。



熊本県で行われた全日本中学生選手権の都道府県対抗の団体戦で、初優勝した男女7選手。左から男子・廣田匠哉（大徳2年）・安藤総兵（同2年）堂谷内剛（内灘2年）、女子・興津由佳（御幸中2年）・南出さき（同１年）・水口さゆり（同２年）・南出なつき（同）の各選手。



広島県で行われた全国小学生バドミントン選手権で活躍した石川県の男女9選手。女子団体優勝メンバー。（後列左から）駒木、室達、桜井、村上、畑。村上は個人の６年女子単でも準優勝した。（前列左から）５年男子単で準優勝した三浦健豊、５年男子複で３位入賞した関眞彦・浦翔太組、４年女子単で３位入賞した三谷美菜津



大阪で行われた全日本ジュニア選手権の女子て、3位に入賞した向陽の青山早希（右）・通尚美組。写真は団体3位入賞を果たした全国校総体＝茨城県つくばカピオ

【地元沸かせた石川県出身選手。日本リーグ金沢大会＝金沢市総合体育館】



金市工ＯＢでトナミ運輸の舛田圭太



向陽高ＯＧでＮＴＴ東日本の田井美幸



西南部中ＯＧでＮＴＴ東日本の岩脇史



向陽高ＯＧでヨネックスの片糸由希子

2003
（平成15年）

金沢学院大学　進撃!!

全日本実業団選手権、全日本学生選手権で、それぞれ北國銀行、金沢学院大が3位入賞し、日本一まであと一歩に迫った。



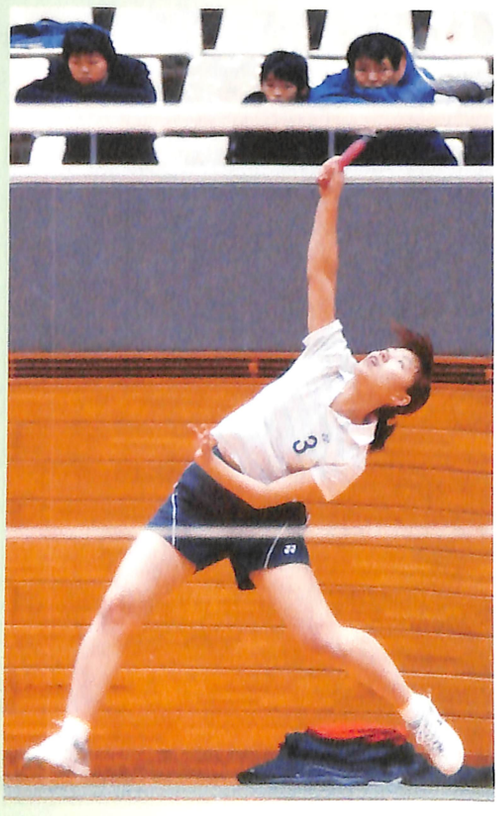
金沢学院大は、大阪中央体育館で行われた全日本学生選手権で3位入賞を果たした。写真は、北信越大学選手権で9季連続優勝した学院大の岡野史裕（手前）、酒井直英組＝石川県体育館



学院大の山本満。写真は男子単で3連覇した県個人総合選手権＝金沢市総合体育館



学院大の廣瀬雅士（左）、森雄大組。写真は北信越大学選手権



鍛治祐美子が向陽3年時に、ヨーロッパジュニア遠征メンバーに選出。オランダ・ドイツ両大会で3位の成績を残した。就職した北國銀行では、全日本実業団選手権3位入賞に貢献した。写真は女子単で2連覇した県個人総合選手権＝金沢市総合体育館



長崎ゆめ総体で8強入りした金市工メンバーの安藤総兵＝長崎県大村市体育文化センター



長崎ゆめ総体女子複で3位入賞した向陽の木村咲絵（後方）・木村綾組＝長崎市民体育館



石川ジュニアオープンで初優勝した布水中の塚本祐希子（手前）・渡邊有穂組＝美川町総合スポーツセンター



全国小学生ABC大会Cグループ（1・2年）で準優勝した星千智（松任）



男子複で優勝した犀生中の鈴木翔太（後方）・山森卓也組＝美川町総合スポーツセンター



全国小学生ABC大会Bグループ（3・4年）で準優勝した木村百花（加賀）＝美川町総合スポーツセンター

2004
（平成16年）

全日本教職員大会総合の部で初V!!

全日本教職員大会、総合の部で初優勝、女子団体で2連覇、女子複3連覇するなど活躍。実力を兼ね備えた指導者の層の厚さを全国に見せつけた。



島根県で行われた全日本教職員大会に出場した選抜チームのメンバー。個人複で優勝した吉田優美・堀哲子組、30歳以上女子複で優勝した家晴美・長丸貴子組、60歳以上男子単で優勝した原栄一選手ら＝北國新聞社



バドミントンの日本リーグ1部2004金沢大会で豪快なスマッシュを放ち、地元ファンを沸かせた向陽OG、NTT東日本の田井美幸＝金沢市総合体育館



アテネ五輪代表の米倉加奈子選手を相手に果敢なプレーをみせる西南部中OG、NTT東日本の岩脇史＝金沢市総合体育館



バトミントン日本リーグ2004　2部リク石川大会で、北國銀行が3位入賞。単全勝した鍛治祐美子選手は、敢闘選手賞受賞した＝松任総合運動公園文化体育館



向陽はこの年、選抜3位・総体3位・埼玉「彩の国まごころ国体」の少年女子で5位の成績を残した。写真は国体で向陽の浜中麻亜子(手前)・樽野恵組＝久喜市総合体育館



北九州市で行われた西日本学生選手権で金沢学院大が準優勝。写真は北信越学生選手権の男子単で優勝した学院大の森雄大選手＝石川県体育館



石川ジュニアオープン大会男子複で準優勝した王山の石田恭之(後方)・清水玲緒奈組



石川ジュニアオープン大会の男子単で優勝した南部中の水口裕治＝美川町総合スポーツセンター



石川ジュニアオープン大会で団体3位に入賞した美川中の政谷泰俊(手前)・網一馬組

トピックス

カナダ・リッチモンドで行われる世界ジュニアバドミントン選手権に日本代表として選ばれ、意欲を語る向陽の木村唯菜選手＝向陽高



2005
（平成17年）

全国社会人クラブ対抗で３部門制覇!!

金沢市で開かれた全国社会人クラブ対抗で、石川勢は一般男子、年代別男子Ａ・Ｂの３部門を制覇、一般女子の部で準優勝し、地元に全国トップクラスの実力を知らしめた。



全国社会人クラブ対抗バトミントン大会、一般男子で優勝した石川Ｂの栄代正男（左）・廣瀬雅士組＝金沢市総合体育館



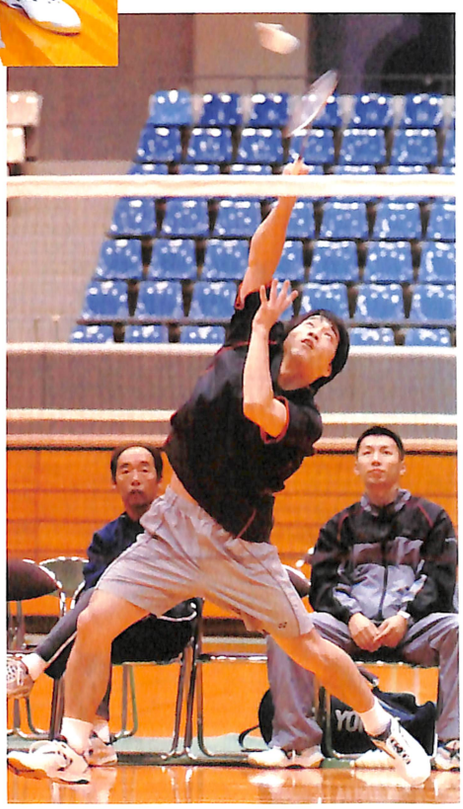
全国高校選抜女子複で準優勝した向陽の浜中麻亜子（左）・樽野恵組。写真は団体３位に入賞した千葉きらめき総体＝千葉県野田市関宿総合公園体育館



千葉きらめき総体、女子団体３位に入賞した向陽の南出なつき（右）・水口さゆり組＝千葉県野田市関宿総合公園体育館



全日本都市職員バドミントン大会で、8年連続12度目の優勝を果たした金沢市役所のメンバー。（後列左から）永井・山口・吉井・高橋、（前列左から）毛利・山野・寺井・徳坂・杉原
翌年、2006年の大会で9連覇した＝金沢市総合体育館



一般男子団体決勝で快勝した金沢市役所の徳坂渉＝金沢市総合体育館



全日本教職員選手権一般女子複で優勝した奥村亜紀代（左）・堀哲子組。写真は石川県個人総合バト女子複で2連覇を果たした時＝金沢市総合体育館

トピックス



カーソンチェンマイバンコクオープン2005女子複で優勝し、笑顔の樽野恵選手。高校生としてただ一人出場したマレーシアサテライト2005でも混合複3位に輝いた＝北國新聞社

2006
（平成18年）

選抜・総体・国体と輝く向陽高校!!

全国高校選抜・優勝。高校総体・準優勝。そして国体少年の部・優勝と全国の強豪と競り合いながら、檜舞台で輝きを放ち続けた。2006年は金沢向陽高校の年だった。



のじぎく兵庫国体少年の部優勝。ライバル青森山田に総体の雪辱を果たした向陽高校。（左から、車浩明監督、木村唯菜、樽野恵、南出さき）
＝兵庫県宝塚市立総合体育館



全国高校選抜で優勝した向陽のメンバー（後列左から、長谷川・南出さ・木村唯・樽野・長原・車監督、前列左から、奥村コーチ・中尾・室達・桜井）
＝福井県敦賀市総合運動公園体育館



全国高校総体、団体で準優勝した向陽の樽野（右）・木村組
＝奈良県奈良市中央体育館



全日本社会人選手権の女子複と混合で初優勝と活躍した向陽OGの田井美幸（ＮＴＴ東日本）（右）＝金沢市総合体育館



女子単で準優勝した向陽OGの梅津知恵（茨城トヨペット）



津幡クラブが全日本レディース選手権で、県勢初の3位入賞。写真は曽山ひとみ（手前）・森田真紀組＝白山市松任総合運動公園体育館



全日本教職員バドミントン選手権の一般女子団体で、4連覇した石川県チームのメンバー（左から、寺西・吉田・奥村・桶谷）＝北國新聞社



日本リーグ2部入れ替え戦で圧勝した、主将で金沢学院大OBの廣瀬雅士（石川トヨペット）＝東京・立川市柴崎市民体育館



全国高校選抜男子単で8強入りした金市工の坂井一将（左）。写真は石川県高校春季大会＝石川県体育館

トピックス

金沢学院クラブが日本リーグに参戦。チャレンジリーグでは、圧倒的な強さをみせ、2部昇格を決めた。写真は2月に行われたクラブの発会式＝金沢市のホテル日航金沢



2007
（平成19年）

国体 成年女子 優勝!!

60年の節目を迎えたこの年、石川県勢は小学、中学、高校、成年の各層が全国の舞台で優勝、準優勝し、「バド王国石川」の名を改めて全国に轟かせた。



秋田わか杉国体成年女子の部で、優勝を決め、抱き合って喜ぶ選手（左から、梅津知恵・樽野恵・田井美幸）＝秋田県美郷町の美郷総合体育館



世界ジュニア選手権に出場する向陽の桜井みどり、村上彩。全日本ジュニア（複）優勝の土谷美帆、三谷美菜津の各選手＝北國新聞社

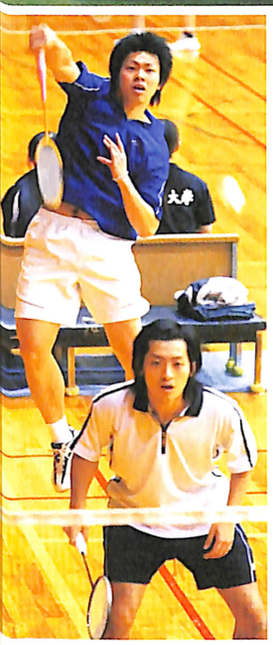


全国高校総体・女子複で優勝した向陽の村上彩（左）・桜井みどり組＝佐賀県武雄市白岩体育館





協会のジュニア強化練習で、次期インドネシアナショナルコーチのリオニー・マイナキー氏（中央左）とリー・ファイ選手（同右）から、指導を受ける小中学生＝金沢学院大体育館





日本リーグ２部リーグで７戦全勝で初優勝した金沢学院クラブ（左から、茶谷、木下、酒井、長谷川監督、マイナキー、車、廣瀬、村上、横山、坂井）＝神奈川県藤沢市秋葉台文化体育館

北信越大学選手権でアベック6連覇を果たした金沢学院大。写真は男子が青山（上）・杉本組、女子が松任（手前）・田甫組＝石川県体育館



全国高校定時制通信制大会・女子団体で2連覇した選抜メンバー。平井友美（金沢中央夜）は女子単でも優勝した＝神奈川県小田原アリーナ



福島県須賀川アリーナで行われた全国中学校体育・男子複で準優勝した吉森司・星大智組（松任）。写真は石川ジュニアオープン＝白山市美川スポーツセンター



大分県別府市総合体育館で行われた全国小学生選手権・男子団体で初優勝した石川選抜メンバー（左から毛利、大町、丸山、荒井、日光、松居）と、女子複準優勝の星、吉森両選手＝北國新聞社

トピックス

松下力石川県バドミントン協会理事長が日本バドミントン協会選手強化本部のナショナル強化部長に。



世界シニアバドミント大会（台湾の台北市立体育館）で55歳以上混合複で銀メダルに輝いた松田新二郎さん・東京の田倉テイ子さんペアと、55歳以上女子複で3位に入った片糸康子さん（右）・片山一美さんペア。



【協　会　旗】



創立60周年を記念して協会旗を新調

【応　援　旗】



創立60周年を記念して髙澤会長より応援旗を寄贈

【石川県バドミントン協会 60周年記念誌－目次】

ごあいさつ　石川県バドミントン協会 会長　髙澤　基

巻頭グラフ（10年を振り返って）……4

1998(平成10年)　新たな50年を目指して
1999(平成11年)　向陽高 2年連続 総体準優勝の奮闘!!
2000(平成12年)　小学生選抜チーム 全国制覇!!
2001(平成13年)　第1回日本マスターズで優勝!!
2002(平成14年)　中学生選抜チーム 初栄冠!!
2003(平成15年)　金沢学院大学 進撃!!
2004(平成16年)　全日本教職員大会総合の部で初V!!
2005(平成17年)　全国社会人クラブ対抗で3部門制覇!!
2006(平成18年)　選抜・総体・国体と輝く向陽高校!!
2007(平成19年)　国体 成年女子 優勝!!

石川県バドミントン協会協会旗／石川県バドミントン協会応援旗……24
石川県バドミントン協会歴代会長／歴代理事長……26
平成19・20年度　協会役員／石川県バドミントン協会組織図……27

第1章　近10年の歩み……28

第2章　思い出～全国大会で優勝して～……46

和田　修　日々努力 継続は力なり……46
近藤　朝範　全国制覇を振り返って……48
樽野　恵　高校生活で学んだこと……49
水口さゆり　全中を終えて……51
車　浩明　日本一になって……47
大井川　久　全国大会で優勝して……48
桜井みどり　全国総体個人複で優勝して……50
南出なつき　競技生活の礎……51

第3章　委員会の歩み……52

強化委員会……52
競技委員会……52
普及委員会……52
指導委員会……53
育成委員会……53
審判委員会……54
県体委員会……55

第4章　加盟連盟活動……56

実業団連盟……56
社会人連盟……57
レディース連盟……58
教職員連盟……59
学生連盟……59
高等学校体育連盟……60
中学校体育連盟……61
少年連盟……62

第5章　加盟市町協会の活動……63

金沢市……63
白山市……64
七尾市……66
小松市……67
かほく市……68
加賀市……69
能美市……69
輪島市……70
能登町……70
穴水町……71
宝達志水町……72
津幡町……73
内灘町……74
野々市町……75

第6章　少年連盟ジュニアクラブ活動紹介(36クラブ)……76

第7章　競技会記録……92

競技会記録……92
表彰規定……133
受賞の記録……134
全日本総合選手権優勝者……137

あとがき　石川県バドミントン協会事務局長　能﨑　喜吉

石川県バドミントン協会歴代会長

初代	真柄要助	（昭和23年１月～昭和28年12月＝６年間）
2代	越田壮太郎	（昭和29年１月～昭和34年12月＝６年間）
3代	澁谷庚子智	（昭和35年１月～昭和38年12月＝４年間）
4代	中林治嗣	（昭和39年１月～昭和44年12月＝６年間）
5代	宮下與吉	（昭和45年１月～昭和52年12月＝８年間）
6代	宮下明	（昭和53年１月～昭和60年12月＝８年間）
7代	岡田尚壮	（昭和61年１月～平成13年３月＝16年３ヵ月間）
8代	髙澤基	（平成13年４月～現在）

石川県バドミントン協会歴代理事長

初代	久保田誠	（昭和23年１月～昭和23年12月＝１年間）
2代	宮地清	（昭和24年１月～昭和24年12月＝１年間）
3代	西田聡	（昭和25年１月～昭和25年12月＝１年間）
4代	石川元一	（昭和26年１月～昭和27年12月＝２年間）
5代	中島壽禱	（昭和28年１月～平成４年３月＝39年３ヵ月間）
6代	河原山晴美	（平成４年４月～平成13年３月＝10年間）
7代	松下力	（平成13年４月～現在）

（会長・理事長ともに平成19年12月現在）

平成19年度・20年度　協会役員

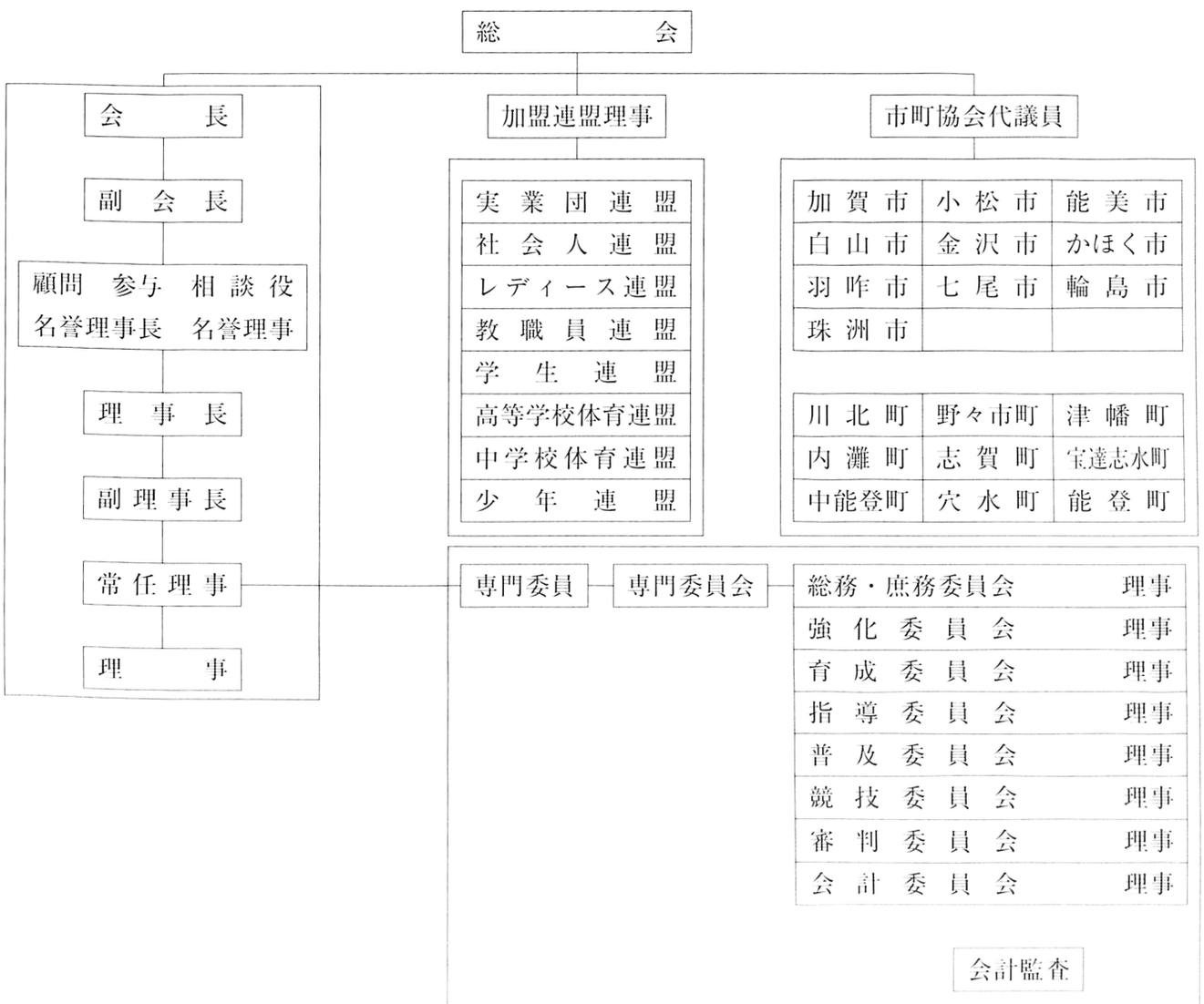

髙澤　基 会長


松下　力 理事長

会　　長	髙澤　　基			
副 会 長	要明　英二	田中　浩一	河原山晴夫	北方　　匡
	北山　吉明	山本　正美		
理 事 長	松下　　力			
副理事長	菅井由美子	和田　　修	東　　茂樹	
常任理事	長谷川　進	崎田　健一	寺西　　了	毛利　達彦
	太田　博之	舛田　吉光	能﨑　喜吉	

石川県バドミントン協会組織図

H19.10.1現在



第1章 近10年の歩み

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
50	平10	1998	1.13～19	○YONEX JAPAN OPEN '98車浩明(金市工)田井美幸・舛田恵(向陽)が出場
			1.25	○県協会総会(金沢市文化ホール)
			3	○第2回都道府県小学生団体対抗戦（横浜市)男子県選抜第2位
			3	○少年連盟三代目会長に北山吉明が就任
			3	○ヨーロッパジュニア交流競技会に車浩明(金市工)田井美幸・舛田恵(向陽)が出場。女子監督は和田修(向陽監督)が務めた
			4	○県家庭婦人連盟理事長に片糸康子氏就任
			4.19	○石川県バドミントン協会創立50周年記念式典、祝賀会(日航ホテル)250名出席
			6	○茶谷徳靖(金市工)が第2回アジアジュニア選手権(クアラルンプール)出年
			6.27～28	○県バドミントン指導者講習会(尾山台高校) 講師：飯野佳孝氏(ヤマハ)、廣田彰氏(宮崎大教授)
			8.1～6	○全国高校総合体育大会 ・女子 団体 第2位 金沢向陽高校 ・男子 複 第3位 酒井忠相・茶谷徳靖組(金市工) ・女子 複 第3位 舛田 恵・田村恵里組(向陽)
			8.8	○県民体育大会50回記念表彰 特別功労賞 中島寿禧氏受賞 体育功労者賞 近藤朝範(加賀市)舛田吉光(県協会)
			8.8～11	○第37回全日本教職員選手権大会(愛媛県・松山市) ・一般男子団体 第2位 石川県選抜 ・一般女子団体 第3位 石川県選抜 ・一般男子 複 第2位 大井川 久・高本洋組 ・30歳代女子 複 優勝 桶谷千鶴子・伊東ひとみ組 第2位 宇都宮明子・東 順子組 ・40歳代男子 単 第3位 水内 浩 ・50歳代男子 単 第3位 原 栄
			8.24	○全国中学校選抜大会(宮城県仙台市) ・男子 団体 第3位 田鶴浜中学校 ・男子 複 第3位 岩内佑之・梅田雅彦組(高岡中)
			8.	○第6回日・中・韓ジュニア交流交換競技会(中国石家荘市) 舛田恵・田村恵里(向陽)が出場 女子監督は和田修(向陽)が務めた
			10.	○舛田恵(向陽)第4回世界ジュニア選手権大会(豪州・メルボルン)に出場
			10.28	○第53回国民体育大会(かながわゆめ国体) 少年男子(金沢市立工業高校)第3位(酒井忠相・茶谷徳靖・山下淳) ・種目別天皇杯得点52.5点 皇后杯得点12.5点

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
50	平10	1998		◦県体育協会加盟競技団体中第６位
			11.20	○日本バドミントン協会より研鑽賞受賞　石丸幹夫氏(金沢市協会長)
			11.20～21	○第15回全日本シニア選手権大会金沢大会開催(金沢市総合体育館他)
				◦30歳以上男子 単 第２位 高橋光一　　第３位 村本幹夫
				◦30歳以上男子 複 第３位 坂井外喜夫・毛利達彦組
				◦30歳以上女子 単 第３位 彼島佳子
				◦50歳以上男子 単 優　勝 長谷川進
				◦50歳以上女子 複 優　勝 片糸康子・片山一美組
				◦50歳以上混合 複 優　勝 片糸康子組
				第２位 松田新二郎・桶谷千鶴子組
			12.10～16	○台北ジュニア国際競技大会　山下淳(金市工)西宏予(向陽)が出場
				女子コーチは和田修(向陽監督)が務めた
			12.12～13	○第７回全国小学生選手権大会(広島県立総合体育館)
				◦６年男子単第３位　山口　　俊(下甘田ジュニア)
				◦６年女子単優　勝　西村　紗希(森本ジュニア)
				◦５年以下男子 単 第２位　伊東　克範(大徳ジュニア)
				◦５年以下女子 単 優　勝　浜中麻亜子(加賀ジュニア)
				第３位　興津　由佳(ひまわり)
			12.19	○県個人総合選手権大会に中国の「姜」選手が外国人として初参加
				(金沢市総合体育館)
51	平11	1999	1.23	○県協会総会(ＮＴＴラポート兼六)
				〔表彰〕 感謝状　中　文彦 高松中バドミントン部
				最優秀賞　西村紗希・浜中麻亜子
				優秀賞　金沢市立工業高・金沢向陽高・田鶴浜中・県小学選抜
				(酒井、茶谷、梅田、岩内、田村、舛田、山口、伊東、興津)
				功労賞　油野徳公・大田俊介
			2.14	○第３回全国小学生都道府県対抗団体戦(横浜市・日体大健志台体育館)
				◦男子団体　第２位 石川県選抜
				◦女子団体　第３位 石川県選抜
			3.4～14	○ヨーロッパジュニア交流競技会に山下淳(金市工)田村恵里、舛田恵
				(向陽)が出場
			3.27～28	○石川ジュニアオープン大会(美川総合ＳＣ、美川町民体育館)
				◦男子 単 優　勝 村上　亮(城南中)
				第３位 山下　淳(田鶴浜中)・新田哲也(美川中)
				◦女子 単 第２位 伊東可奈(金石中)
				第３位 中山奈都季(西南部中)・通次尚美(板津中)
				◦男子 複 第３位 宮村順也・山田一哉組(犀生中)
				◦女子 複 優　勝 青山早希・木村　綾組(布水中)
				第３位 米谷亮子・羽生麻衣子組(板津中)
			3.27	○第27回全国高校選抜大会(岩手県・滝沢村)
				◦女子 団体 第３位 金沢向陽高校

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
51	平11	1999		・男子　単　第３位 山下　淳（金市工）
				・男子　複　第３位 山下　淳・廣瀬雅士組（金市工）
			4．6～11	○YONEX JAPAN OPEN '99山下淳（金市工）武田修、崎田健一、安田香奈（北國銀行）が出場
			4．10	○県社会人バド連盟　設立10周年記念祝賀会（金沢ニューグランドホテル）
			6．24	○第３回日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流会（韓国） 監督／河原山晴夫 選手／東茂樹、松田新二郎、高来秀夫、石井洋一、羽田義仁、星明彦、片糸康子、片山一美、中村祐子、岡部悦子、三国広美、竹井早葉子、和田真由美、星幸子【14部門中７部門で優勝】
			7．11～17	○第３回アジアジュニア選手権大会（ミャンマー・ヤンゴン） 山下淳（金市工）・西宏予（向陽）が出場
			7．16	○「'99GOSEN SUPER BADMINTON」マレーシアチームと共に（県体育館） バドミントンファン約1,000名が観戦
			8．1～6	○全国高校総合体育大会（岩手県・滝沢村） ・女子 団体 第２位 金沢向陽高校 ・男子　複　第３位 山下淳・廣瀬雅士組（金市工）
			8．6	○第15回若葉カップ全国小学生大会（京都府長岡京市） ・男子 団体 第３位 大徳ジュニア
			8．7	○日本バドミントン協会より研鑽賞受賞　大門重樹氏（実業団連盟会長） 体育功労者賞受賞　山口亮（金沢市）・彼島重範（県協会）
			8．8～11	○第38回全日本教職員選手権大会（青森市民体育館） ・一般男子 複 第３位 大井川久・高本洋組 ・30歳代女子 複 優　勝 桶谷千鶴子・伊東ひとみ組 ・50歳代男子 単 第２位 原　栄一
			9．23～25	○第29回全国中学校大会（福井県営体育館） ・男子 複 第３位 宮村順也・山田一哉組（犀生中） ・女子 複 第２位 青山早希・木村　綾組（布水中）
			9．24～26	○第18回全日本ジュニア選手権大会（前橋市・群馬県アリーナ） ・中学新人の部 男子 単 第３位 山口　俊（美川中） ・中学新人の部 女子 単 第２位 木村咲絵（美川中）
			10．27	○第54回国民体育大会（くまもと未来国体） ・少年女子　金沢向陽高校　第４位（西宏予、曽我寛美、中川敦子） ・種目別天皇杯得点35点／皇后杯得点35点 ・県体育協会加盟競技団体中　第７位の得点
			11．20～22	○第16回全日本シニア大会（福島県） ・30歳以上男子 単 第３位 村本幹夫 ・50歳以上女子 複 第２位 桶谷千鶴子組 ・50歳以上混合 複 優　勝 片糸康子組
			12．25～26	○第８回全国小学生選手権大会（三重県営サンアリーナ） ・６年男子 単 第３位 安藤総兵（金沢ジュニア）

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
51	平11	1999		◦6年女子 単 第2位 浜中麻亜子(加賀ジュニア)
				◦6年女子 複 第3位 水口さゆり・南出なつき(ひまわりジュニア)
52	平12	2000	1.29	○県協会総会(金沢ニューグランドホテル)
				〔表彰〕 感謝状 (故)加納孝一、土用下文雄、田鶴浜中バドミントン部
				優秀賞 金沢向陽高校
				県男女小学生選抜(山下、廣瀬、青山、木村綾、宮村、山田、山口、木村咲、南出、水口)
			2.13	○第4回全国小学生都道府県対抗団体戦(群馬アリーナ)
				◦男子 第3位 (監督：近藤朝範)
				(選手：安藤総兵、堂谷内剛、伊東克範、牧畠正樹)
				◦女子 優 勝 (監督：辻鈴子)
				(選手：興津由佳、水口さゆり、南出なつき、浜中麻亜子)
			3.26	○第28回全国高等学校選抜大会(岐阜県・各務ヶ原市)
				◦女子個人 複 第3位 田井紀子・梅津知恵組(向陽高)
			3.27～28	○石川ジュニアオープン大会(美川総合ＳＣ・美川町民体育館)
				◦男子 単 優 勝 山口 俊(美川中)
				◦女子 単 優 勝 木村咲絵(美川中)・第2位 伊東可奈(金石中)
				◦女子 複 優 勝 御前香苗・梨木春香(美川中)
				第2位 南出なつき・水口さゆり(ひまわりジュニア)
			4.4～11	○YONEX JAPAN OPEN 2000(東京・代々木)松本雅之が混合複に出場
			6.25	○日本バドミントン協会より研鑽賞受賞 岡根良子氏(県家庭婦人連盟会長)(全国評議員会席上)
				体育功労者賞受賞 大西忠一(宇ノ気町)東将博(輪島市)
			8.1～6	○全国高校総合体育大会(岐阜県・各務ヶ原市)総合開会式で金市工主将が石川県選手団旗手を務めた
				◦女子 複 第3位 加賀裕美・西村木綿香(向陽)
			8.7～11	○第39回全日本教職員選手権大会(三重県営サンアリーナ)
				◦一般男子 団体 第3位
				◦30歳代女子 複 優 勝 桶谷千鶴子・東順子組
				◦50歳代男子 単 第3位 原 栄一
			8.23～25	○第30回全国中学校大会(熊本県総合体育館)
				◦女子 団体 第2位 美川中学校
				◦男子 単 第3位 宮村順也(犀生中)
				◦女子 単 第3位 伊東可奈(金石中)
			9.22～24	○第19回全日本ジュニア選手権大会(愛知県大府市民体育館)
				◦ジュニア女子の部 単 第3位 梅津知恵(向陽)
				◦ジュニア新人の部男子 単 優 勝 山口 俊(美川中)
				女子 単 第3位 西村紗希(森本中)
			9.30～10.3	○第13回全国スポレク祭 年齢別バドミントン大会(七尾総合市民体育館)
				日本バドミントン協会より研鑽賞受賞 飴谷信夫氏(七尾市協会長)開会式で
				◦B組優勝「七尾デカ山」(監督：岡崎健一)(選手：原栄一、桶谷千

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
52	平12	2000		鶴子、山本幸裕、四家裕、高橋光一、江口好美、大根和恵、松本智子)
				• D組優勝「金沢フレンド」(監督：長谷川進)(選手：長谷川進、片山一美、山本秀夫、谷島助男、彼島佳子、西嶋美奈子、伊東ひとみ)
			10.15～18	○第55回国民体育大会(2000とやま国体)
				• 成年女子(北國銀行) 第５位 (松田奈緒子、中島珠美、松田美希子)
				• 種目別天皇杯得点22.5点／皇后杯得点22.5点
				• 県体育協会加盟競技団体中、第14位の得点
			11.	○日英ジュニア交流会に日本代表として山口俊(美川中)西村紗希(森本中)出場決定　交流会は年末年始に英国にて開催
			11.24～27	○第17回全日本シニア選手権大会(徳島市立体育館)
				• 30歳以上男子 複 第２位 村本幹夫、高橋光一組
				• 40歳以上男子 単 優　勝 毛利達彦
				• 50歳以上女子 複 第２位 片糸康子・片山一美組
				第３位 桶谷千鶴子組
				• 50歳以上混合 複 第２位 片糸康子組
			12. 9～10	○第９回全国小学生選手権大会(埼玉県久喜市総合体育館)
				• ５年女子 単 優　勝 村上　彩(崎浦ジュニア)
				第３位 桜井みどり(大徳ジュニア)
				• ４年男子 複 第３位 関真彦・浦翔太組(J.Cats)
53	平13	2001	1.27	○県協会総会(金沢ニューグランドホテル)
				新会長に高澤基氏　新理事長に松下力氏就任
				〔表彰〕 感 謝 状：福住孝氏、長谷久人氏
				最優秀賞：県小学生女子選抜　山口　俊
				優 秀 賞：美川中学校、県小学生男子選抜
				功 労 賞：松田浩幸、辻　鈴子、落合昌子
			2.13	○第５回全国小学生都道府県対抗団体戦(群馬アリーナ)
				• 女子団体 第２位 石川県選抜(監督：近藤朝範)
				(選手：南出さき、澤本奈津紀、木村唯菜、村上彩)
			2.	○県家庭婦人連盟が新年度よりレディース連盟に改称
			3.4	○オランダジュニア国際大会にて梅津知恵(向陽)複で第３位。パートナーは廣瀬(青森山田)
			3.29	○第１回全日本中学生選手権大会(千葉ポートアリーナ)
				• 団体　第３位 石川県選抜(監督：辻鈴子)
				(選手：山口俊、和田真、安藤総兵、西村紗希、南出なつき、水口さゆり)
			4.	○県レディース連盟理事長に坂田他美子氏、県実業団連盟理事長に浜谷安裕氏が就任
			5.4～6	○石川ジュニアオープン大会
				• 男子 団体 優　勝 美川中学校　女子 団体 第２位 御幸中学校
				• 男子　単　第２位 山口　俊(美川中)
				• 女子　単　優　勝 西村紗希(森本中)　第３位 村上夏樹(城南中)
				• 女子　複　優　勝 松任由貴・田甫江里佳組(美川中)

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
53	平13	2001		第２位 南出なつき・水口さゆり組(ひまわりジュニア)
			5．9	○県協会ホームページ開設 アドレス http://www.badminton.gr.jp
			7．8	○指導者講習会(尾山台高校体育館)
				小島一夫氏(つくば国際大)を講師に招き協会員60名が参加
			8．1～6	○全国高校総合体育大会(熊本県・八代市)
				・女子 団体 第３位 金沢向陽高校
			8．5	○県体育協会体育功労賞受賞 浜谷安裕氏(県協会)、田井友泰氏(小松市)
			8．7～11	○第40回全日本教職員選手権大会 (北九州市総合体育館)
				・女　　子 団体 第３位(桶谷千鶴子、伊東ひとみ、吉田優美、堀哲子)
				・女　　子 単 第２位 堀 哲子
				・女　　子 複 第２位 吉田優美・堀 哲子組
				・40歳代女子 複 優 勝 桶谷千鶴子・伊東ひとみ組
				・50歳代男子 複 優 勝 原 栄一・高来秀夫組
			8．15～18	○第３回全国定時制通信制大会(小田原アリーナ)
				・女子 単 第３位 榎あずさ(金沢中央・夜)
			8．15～18	○第41回西日本学生選手権大会(熊本県立総合体育館)
				・男子 団体 第２位 金沢学院大学
				・男子 複 優 勝 岡野史裕・廣瀬雅士組(金沢学院大)
				・男子 単 第３位 茶谷徳靖(金沢学院大)
			8．23～25	○第２回全国小学生ＡＢＣ大会(埼玉県・久喜市)
				・Ｂクラス女子 単 第２位 三谷美菜津(ＯＫジュニア)
			9．22～24	○第12回全国都市職員選手権大会(神戸総合運動公園グリーンアリーナ神戸)
				・男子 団体 優 勝 金沢市役所(４連勝)
				・男子 複 優 勝 杉原秀俊・高橋一誠組
				第２位 山野隆盛・山口正樹組
				・男子 単 第３位 吉井 剛
			9．24	○第１回日本スポーツマスターズ(宮崎県)
				・優勝 石川県選抜
			10．15～18	○第56回国民体育大会(新世紀みやぎ国体)
				・四全種別出場
			11．	○日本バドミントン協会より功労賞受賞 河原山晴夫前理事長
			11．24～27	○第18回全日本シニア選手権大会(小田原市アリーナ)
				・40歳以上男子 単 優 勝 毛利達彦(金沢市役所)
				・50歳以上女子 複 優 勝 片糸康子組(あすなろクラブ)
				・50歳以上混合 複 優 勝 油野徳公・片糸康子組(あすなろクラブ)
			12．15	○県個人総合選手権大会参加料値上げ(金沢市総合体育館)
54	平14	2002	1．6	○第６回全国小学生都道府県対抗団体戦(広島県立体育館)
				・女子 優勝 石川県選抜(監督：近藤朝範)
				(選手：村上彩、畑安沙美、室達茜、駒木友紀、桜井みどり)
			1．7	○第10回全国小学生選手権大会(広島県立体育館)
				・６年女子 単 第２位 村上彩(崎浦ジュニア)

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
54	平14	2002		・5年男子 単 第2位 三浦健豊(大徳ジュニア)
				・5年男子 複 第3位 関　真彦・浦翔太組(J.Cats)
				・4年女子 単 第3位 三谷美菜津(OKジュニア)
			1.26	○県協会総会(東急ホテル)
				〔表彰〕 感謝状　秋田　勲氏
				最優秀賞　梅津知恵(向陽高)
				優秀賞　金沢向陽高校、県小学生女子選抜、三谷美菜津
				功労賞　和田　修氏
			2.	○バドミントン日本リーグ2001チャレンジリーグ　金沢市役所が第1位
			2.24	○金沢市役所が2部入れ替え戦にて0－2でトヨタ自工に敗れ2部昇格ならず
			3.28	○第2回全日本中学生選手権大会(熊本)
				団体　初優勝 石川県選抜(監督：辻　鈴子　コーチ：原　大介)
				(選手：安藤総兵、堂谷内剛、廣田匡哉、興津由佳、南出なつき、水口さゆり)
			5.4～6	○石川ジュニアオープン大会(美川総合SC、美川町民体育館)
				・男子団体 第3位 美川中学校
				・女子団体 第3位 御幸中学校、美川中学校
				・男子 単 優　勝 安藤総兵(大徳中)・第3位 牧畠正樹(高岡中)
				・女子 単 優　勝 浜中麻亜子(美川中)・第3位 村上　彩(城南中)
				・女子 複 優　勝 南出なつき・水口さゆり組(御幸中)
				第3位 清水美香・徳田美穂組(紫錦台中)
			5.18	○県体育協会臨時評議員会・理事会で松下力理事長が理事に、新設の諮問委員に高澤基会長が選ばれる
			6.	○日本バドミントン協会より研鑽賞受賞　奥村明義氏、菅井由美子氏
			8.1～6	○全国高校総合体育大会(茨城県・つくば市ほか)
				・女子団体　第3位　金沢向陽高校
			8.7～10	○第41回全日本教職員選手権大会(甲府市小瀬スポーツ公園体育館)
				・男子団体　第3位 石川県選抜
				・女子団体　第2位 石川県選抜
				・一般女子 複 優勝 吉田優美・堀哲子組
				・40歳代女子 複 優勝 桶谷千鶴子・東順子組
			8.10	○県体育協会体育功労賞受賞　長谷川清美氏(県協会)
			8.18～21	○第4回全国高校定時制通信制大会(小田原アリーナ)
				・女子 単 第2位 榎あずさ(金沢中央高校夜)
			8.19～22	○第32回全国中学生大会(滋賀県立体育館)
				・男子 単 第3位 安藤総兵(大徳中)
				・女子 複 優　勝 南出なつき・水口さゆり(御幸中)
			8.22～24	○第3回全国小学生ABC大会(高松市体育館)
				・6年男子　第3位　三浦健豊(小鬼野小)
			8.28～9.3	○第42回西日本学生選手権大会(広島県立総合体育館)
				・男子 団体 第2位　金沢学院大学

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
54	平14	2002		◦男子　複　第２位　岡野・廣瀬雅士組(金沢学院大学)
			9.21～23	○第21回全日本ジュニア選手権大会(大阪中央体育館)
				◦女子 複 第３位 青山早希・通次尚美組(向陽)
			9.22～24	○第53回全日本学生選手権大会(愛知県体育館)
				◦男子 団体 ベスト８(金沢学院大学)〔創部５年目〕
			10.25～30	○第57回国民体育大会(よさこい高知大会)
				◦四全種別出場　少年男女がベスト８に入賞し天皇杯得点は35点を獲得
			11. 1～ 4	○第13回全国都市職員選手権大会(福岡市民体育館)
				◦男子 団体 優　勝 金沢市役所(５連勝)
				◦男子　複　優　勝 杉原秀俊・山野隆盛組(金沢市役所)
			11. 8～11	○第２回全日本スポーツマスターズ(神奈川)
				◦男子 団体 優勝 石川選抜(監督：松下力)
				(選手：山本秀夫、谷島助男、近藤朝範、毛利達彦、浜谷安裕、高橋光一)
			11.	○第19回全日本シニア選手権大会
				◦40歳以上男子 複 第３位 毛利達彦・高橋光一組
				◦40歳以上女子 単 第２位 彼島佳子
				◦40歳以上女子 複 第３位 彼島佳子・東順子組
				◦50歳以上女子 複 第２位 片糸康子組
				◦50歳以上混合 複 優　勝 油野徳公・片糸康子組
			12.10～18	○マレーシアサテライト大会
				◦伊東可奈(向陽)出場
			12.15	○日本リーグ2002金沢大会(金沢市総合体育館)
				◦男子：トナミ運輸－ＹＫＫ九州　女子：ＮＴＴ東日本－ヨネックス
			12.23～26	○日韓中学生競技大会(韓国・ソウル)
				◦安藤総兵(大徳中)・南出なつき・水口さゆり組(御幸中)が出場
55	平15	2003	1.26	○県協会総会(金沢ニューグランドホテル)
				〔表彰〕　感 謝 状　宮城徹三郎氏
				最優秀賞　県小学生女子選抜、県中学選抜、南出なつき・水口さゆり
				優 秀 賞　金沢向陽高校、青山早希、通次尚美、安藤総兵、
				三浦健豊、関真彦、浦翔太、三谷美菜津
				功 労 賞　辻　鈴子
			2. 4	○鍛治祐美子(向陽)が2003年ヨーロッパジュニア遠征(2 26～3 2)メンバーに選出された。複で今別府(青森山田)と組み、オランダ・ドイツ両大会にて第３位に入賞した
			3.	○第31回全国高校選抜大会(静岡・富士宮市)
				◦女子 複 第２位 梨木春香・伊東可奈組(向陽)
			3.28	○第３回全日本中学生大会(宇都宮市)
				◦団体 第３位 (監督：辻　鈴子　コーチ：宮本和宏)
				(選手：紙田誓八、山森卓也、鈴木翔太、石立健志郎、南出さき、村上彩、畑安沙美、室達両)
			5. 3～ 5	○石川ジュニアオープン大会(美川総合SC・美川町民体育館)
				◦女子 団体 優　勝 布水中学校

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
55	平15	2003		・男子　単　第２位 紙田哲八(港中)
				・男子　複　優　勝 鈴木翔太・山森卓也組(犀生中)
				・女子　単　優　勝 南出さき(御幸中)
				第２位 村上　彩(城南中)・第３位 桜井みどり(美川中)
				・女子　複　第３位 畑安沙美・室達　茜組(金石中)
			6	○日本バドミントン協会より研鑽賞受賞　村西　一氏、中田吉昭氏
			7．2～6	○第53回全日本実業団選手権大会(岡山市)
				・女子 団体 第３位 北國銀行(監督：羽田義仁)
				(選手：渡辺愛香、中川敦子、西宏予、加賀裕美、西村木綿香、青山早希、鍛治祐美子)
			8．1～6	○全国高校総合体育大会(長崎市)
				・女子 単 第３位 伊東可奈(向陽)
				・女子 複 第３位 木村咲絵・木村綾組　今井杏利・伊東可奈組(向陽)
			8．7～10	○第42回全日本教職員選手権大会(宮崎市総合体育館)
				・一般男子 団体 第３位 石川県選抜
				・一般女子 団体 第２位 石川県選抜
				・一般女子　複　優　勝 吉田優美・堀　哲子組
				・30歳代男子　複　第３位 長丸茂人・坂東陽月組
				・40歳代女子　複　優　勝 桶谷千鶴子・東　順子組
				・50歳代男子　複　第３位 原　栄一・藤田　哲組
			8.10	○県体育協会体育功労賞受賞　片糸康子氏(県協会)原正人氏(県協会)
			8.18～21	○第５回全国高校定時制通信制大会(小田原アリーナ)
				・女子 単 第３位 榎あずさ(金沢中央高・夜)
			8.18～21	○第４回全国小学生ＡＢＣ大会(美川総合SC)
				・Ａ 女子単 第３位 三谷美菜津(ＯＫジュニア)
				・Ｂ 女子単 第２位 木村百花(加賀ジュニア)
				・Ｃ 女子単 第２位 星　千智(松任ジュニア)
			9．1～4	○第14回全国都市職員選手権大会(敦賀市)
				・男子 団体 優　勝 金沢市役所(６連勝)
			9．2～7	○第43回西日本学生選手権大会(北九州市立総合体育館)
				・男子 団体 第２位 金沢学院大学
				・男子　単　優　勝 山本　満・第２位 廣瀬雅士・第３位 山下　淳
				・男子　複　優　勝 岡野史裕・廣瀬雅士組
				・　第２位 酒井直英・横山康博組
				第３位 山下　淳・山本　満組
			9．8～11	○第３回日本スポーツマスターズ(和歌山)
				・男子 団体 第２位 石川選抜(監督：松下　力)
				(選手：山本秀夫、谷島助男、四家裕、坂井外喜男、浜谷安裕、宮坂満)
			9．21～23	○第22回全日本ジュニア選手権大会(神戸中央体育館)
				・ジュニアの部　女子複 第３位 今井杏梨・伊東可奈組(向陽)
				・ジュニア新人の部　女子単 優　勝 村上　彩(城南中)
			10．4～9	○第54回全日本学生選手権大会(大阪中央体育館)

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
55	平15	2003		◦男子 団体 第３位 金沢学院大学(監督：長谷川進 コーチ：姜維賓)
				(選手：山下淳、山本満、廣瀬雅士、岡野史裕、酒井直英、横山康博、森雄大、村上亮)
			10.25	○第58回国民体育大会(ニューわかふじ国体)(富士宮市)
			11.22～24	○日本リーグ２部　秋田大会(秋田)
				◦男子 第８位 北國銀行
				◦女子 第２位 北國銀行
			11.22～24	○第20回全日本シニア選手権大会(鳥取市)
				◦40歳以上男子 複 優　勝 高橋光一・村本幹夫組
				◦50歳以上混合 複 第３位 油野徳公・片糸康子組
				◦55歳以上混合 複 優　勝 松田新二郎・桶谷千鶴子組
				◦60歳以上男子 単 第２位 原　栄一
				◦60歳以上男子 複 第３位 原　栄一・松田新二郎組
			12.23	○第11回全国小学生選手権大会(宮城県立体育館)
				◦４年生女子 複 第３位 長真由子・河原市澪組(大徳ジュニア)
56	平16	2004	1.31	○県協会総会(石川厚生年金会館)
				〔表彰〕 感 謝 状　鶴見富男、大西忰一、村本正昭
				最優秀賞　村上　彩
				優 秀 賞　北國銀行女子、金沢学院大学男子、県中学生選抜、木村咲絵、木村綾、伊東可奈、今井杏梨、梨木春花、三谷美菜津、木村百花、長真由子、河原市澪、星千智
				功 労 賞　舛田吉光
			3.27～29	○第32回全国高校選抜大会(山口県スポーツ文化センター)
				◦女子 団体 第３位 金沢向陽高校
				(監督：車　浩明　マネージャー：清水美香)
				(選手：村上夏樹、松任由貴、浜中麻亜子、南出なつき、水口さゆり、村井沙来、近藤真希)
			5.2～4	○第10回石川ジュニアオープン大会(美川総合SC・美川町民体育館)
				◦男子 団体 第３位 美川中学校
				◦女子 団体 第３位 城南中学校
				◦男子　単　優　勝 水口裕治(南部中)
				◦女子　単　第３位 村上彩(城南中)・桜井みどり(美川中)
				◦男子　複　第２位 石田恭之・清水玲緒奈組(医王山中)
				第３位 新田晃浩・政谷泰俊組(美川中)
				◦女子　複　第３位 中尾彩乃・宮崎杏子組(美川中)
			6.	○日本バドミントン協会より研鑽賞受賞　原栄一氏
			8.1～6	○全国高校総合体育大会(鳥取市)
				◦女子 団体 第３位 金沢向陽高校
				(監督：車　浩明　マネージャー：村井沙来)
				(選手：村上夏樹、松任由貴、浜中麻亜子、南出なつき、水口さゆり、樽野恵、木村唯菜)

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
56	平16	2004		◦女子　単　第２位 樽野　恵(向陽)
			8．7～10	○第43回全日本教職員選手権大会(島根県大東町)
				◦一般男子 団体 第２位 石川県選抜
				◦一般女子 団体 優　勝 石川県選抜
				◦成壮年男子 団体 第３位 石川県選抜
				◦一般女子　複　優　勝 吉田優美・堀哲子組
				◦30歳代男子　複　第３位 長丸茂人・坂東陽月組
				◦30歳代女子　複　優　勝 井家晴美・長丸貴子組
				◦40歳代女子　複　第２位 桶谷千鶴子・東順子組
				◦50歳代男子　単　優　勝 原　栄一
				◦50歳代男子　複　第２位 原　栄一・藤田　哲組
			8．10	○県体育協会体育功労賞受賞　大田俊介氏(加賀市)、林芳広氏(県協会)
			8．20～22	○第５回全国小学生ＡＢＣ大会(岐阜メモリアルセンター)
				◦Ｂ 男子単 第３位 松居圭一郎(大徳ジュニア)
				◦Ｂ 女子単 第２位 長谷川由季(ＯＫジュニア)
			9.31～10.7	○第45回西日本学生選手権大会(北九州市立総合体育館)
				◦男子 団体 第２位 金沢学院大学
				(選手：酒井直英、横山康博、森雄大、青山天将、村上亮)
				◦男子　単　第２位 村上　亮(金沢学院大学)
				◦男子　複　優　勝 酒井直英・横山康博組(金沢学院大学)
				第２位 森　雄大・青山天将組(金沢学院大学)
			9．21～23	○第23回全日本ジュニア選手権大会(前橋市民体育館)
				◦女子 単 第３位 樽野　恵(向陽)
			9．22～26	○第４回日本スポーツマスターズ(いわき市)
				◦男子 団体 第３位 石川選抜　(監督：東　茂樹)
				(選手:東茂樹、谷島助男、四家裕、坂井外喜男、毛利達彦、浜谷安裕、近藤朝範)
			10.21～27	○2004世界ジュニア選手権大会(カナダ・リッチモンド)
				◦木村唯菜(向陽)が出場
			10.23～27	○第59回国民体育大会(彩の国まごころ国体・埼玉県久喜市)
				◦四種別出場
				◦ベスト８：少年女子(金沢向陽高校)
				◦天皇杯得点25点を獲得し、競技別皇后杯第５位
			11．1	○日韓交流競技会に樽野恵(向陽１年)が出場決定
			11．1～4	○第15回全国都市職員選手権大会(高知市)
				◦男子 団体 優　勝 金沢市役所(７連勝)
				◦男子　複　優　勝 山野隆盛・杉原秀俊組(金沢市役所)
				第３位 毛利達彦・山口正樹組(金沢市役所)
			11.12～15	○第21回全日本シニア選手権大会(山形市)
				◦40歳以上男子 単 優　勝 毛利達彦　第３位 高橋光一、村本幹夫
				◦40歳以上男子 複 優　勝 高橋光一・村本幹夫組
				◦50歳以上混合 複 第２位 片糸康子組

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
56	平16	2004		◦60歳以上男子 複 第3位 原　栄一・松田新二郎組
			11.19～21	○日本リーグ二部松任大会開催(松任市文化体育館)
				◦女子 第3位 北國銀行
			12.23	○日本リーグ2004 金沢大会開催(金沢市総合体育館)
				◦男子 日本ユニシス－ＮＴＴ東日本
				◦女子 ヨネックス－ＮＴＴ東日本
57	平17	2005	1	○第5回全国小学生大会(名古屋)
				◦都道府県対抗　男子 第3位 石川県選抜(監督：大井川久)
				(選手：南淳也、竹田大介、細野真吾、西村匠、荒木隆宏)
				◦4年生男子 単 第3位 松居圭一郎(大徳ジュニア)
				◦4年生女子 単 第3位 長谷川由季(ＯＫジュニア)
			1.29	○県協会総会(エクセル東急金沢)
				〔表彰〕 感謝状 松任市・寺井町・美川町バドミントン協会
				優秀賞 金沢向陽高校、県男子小学生選抜、
				樽野恵、松居圭一郎、長谷川由季
			3.13～14	○第5回全国社会人クラブ対抗大会(金沢市総合体育館)
				◦一般男子 団体 優　勝 石川Ｂ
				(選手：気谷篤人、紺谷幸一、栄代正男、長谷川純、廣瀬雅士)
				◦年代別男子 団体 優　勝 石川
				(選手：吉岡直樹、出越悟、高橋光一、村本幹夫、山本秀夫、西川慎一)
			3.25～28	○第32回全国高校選抜大会(愛媛県・松山市)
				◦女子 団体 第2位 金沢向陽高校
				(監督：車　浩明 コーチ：長谷川加奈 マネージャー：南出さき)
				(選手：浜中麻亜子、南出なつき、水口さゆり、
				村井沙来、近藤真希、樽野恵、木村唯菜)
				◦女子　複　優　勝 樽野恵、浜中麻亜子組(向陽)
			4.12	○台湾国際ジュニア大会に樽野恵、浜中麻亜子(向陽)の出場決定
			5.2～4	○第10回石川ジュニアオープン大会(美川総合SC・美川町民体育館)
				◦男子 団体 第2位 城南中学校
				◦女子 団体 第2位 美川中学校
				◦男子　単　第2位 三浦健豊(金石中)
				◦女子　複　第3位 長広夏・富澤香菜組(美川中)
			5.27～29	○全日本ランキングサーキット開催(金沢市総合体育館)
			6.	○日本バドミントン協会より研鑽賞受賞　安江勉氏、能崎喜吉氏
			8.1～6	○全国高校総合体育大会(千葉県・野田市)
				◦女子 団体 第3位 金沢向陽高校
				(監督：車　浩明 コーチ：南出さき マネージャー：長谷川加奈)
				(選手：浜中麻亜子、南出なつき、水口さゆり、
				村井沙来、近藤真希、樽野恵、木村唯菜)
				◦女子　単　第3位 樽野　恵(向陽)
			8.6～7	○県民体育大会(宇ノ気・高松)市町村合併により市町対抗に一本化、

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
57	平17	2005		ふるさと選手導入と種目に壮年の部が加わる
				○県体育協会体育功労賞受賞　坂田他美子氏(県協会)、桶谷千鶴子氏(県協会)
			8．8～11	○第44回全日本教職員選手権大会(栃木県体育館)
				・一般男子団体 第3位 石川県選抜
				(選手：車浩明、山下淳、石本明男、松本雅之、土野洋平、岡田直行)
				・一般女子団体 優　勝 石川県選抜
				(選手：堀哲子、奥村亜紀代、橋本明子、吉田優美、立花美紀、堀江梨香)
				・成壮年男子団体 第3位 石川県選抜
				(選手：原栄一、藤田哲、岡部英孝、水内浩、大井川久、長丸茂人、高本洋、坂東陽月、宮前仁)
				・一般男子　複　第3位 車　浩明・山下　淳組
				・一般女子　複　優　勝 堀　哲子・奥村亜紀代組
				・30歳代女子　単　第2位 橋本明子
				・30歳代女子　複　第2位 長丸貴子・橋本明子組
				・40歳代女子　複　優　勝 桶谷千鶴子・伊東ひとみ組
			8.17～20	○第7回全国高校定時制通信制大会(小田原アリーナ)
				・女子団体 第2位 石川県選抜(監督：枝畑達司)
				(選手：平井友美、斉藤佑美、桑山夕佳、寺田沙織、中野美香)
			8.31～9.7	○第45回西日本学生選手権大会(北九州市立総合体育館)
				・男子団体 第3位 金沢学院大学
				・男子　単　第3位 村上　亮(金沢学院大)
				・男子　複　優　勝 森　雄大・青山天将組(金沢学院大)
			8.31～9.10	○台湾サテライト2005(台湾　斗六市)
				・女子 単 第3位 樽野　恵(向陽)
			9.10～13	○第60回国民体育大会(晴れの国おかやま国体・岡山市)夏季大会で実施
				・四種別出場
				・少年女子 第3位 金沢向陽高校(監督：車　浩明)
				(選手：浜中麻亜子、南出なつき、樽野　恵)
				・少年男子 第5位 金沢市立工業高校
				・競技別天皇杯　第8位
			9.22～26	○第23回全日本ジュニア選手権大会(前橋市民体育館)
				・ジュニア新人の部 女子単　三谷美菜津(美川中)
			10.	○県生涯スポーツ功労賞受賞　奥村明義氏
			10.16	○第23回全日本ジュニアグランプリ大会(群馬県総合SC)
				・初出場女子団体　第3位(監督：車浩明)
				(選手：長谷川加奈、桜井みどり、長広夏、富澤香菜、三谷美菜津、木村百花)
			10.23	○チェンマイ・バンコク・ジュニアオープン(チェンマイ)
				・18歳以下(U18)　女子単 第3位 樽野　恵(向陽)
				・　女子複 優　勝 樽野　恵組(向陽)
				・　混合複 第2位 樽野　恵組(向陽)

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
57	平17	2005	11. 1	○第16回全国都市職員選手権大会(金沢市・白山市)
				・男子 団体 優　勝 金沢市役所(８連勝)
				・男子　複　優　勝 高橋一誠・吉井剛組(金沢市役所)
				第２位 山野隆盛・杉原秀俊組(金沢市役所)
				第３位 毛利達彦・山口正樹組(金沢市役所)
			11.12～14	○第22回全日本シニア選手権大会(埼玉県・久喜市)
				・40歳以上男子 単 第２位 毛利達彦　第３位　高橋光一
				・55歳以上混合 複 第２位 松田新二郎・桶谷千鶴子組
				・60歳以上男子 単 第３位 原　栄一
				・60歳以上男子 複 第３位 原　栄一・松田新二郎組
			11.19～20	○第58回中部日本選手権大会開催(金沢市)
			11.19～20	○マレーシアサテライト2005(アロールスター市)
				・混合複 第３位 樽野　恵(向陽)
			12.	○第15回全国小学生選手権大会(大和郡山市)
				・５年生以下男子 複 第３位 牧畠秀樹・丸山諒一郎組(中央ジュニア)
				・４年生以下女子 複 第２位 星　千智・吉森朱里組(松任ジュニア)
58	平18	2006	１.22	○日本リーグ2005　２部リーグ(江刺市中央体育館)
				・女子団体 第３位 北國銀行　鍛治祐美子が敢闘賞受賞
			２.12	○県協会総会
				〔表彰〕 感 謝 状　(故)越野清昭、野崎健二、長谷川清美、武田恵子
				最優秀賞　浜中麻亜子、樽野　恵(向陽)
				優 秀 賞　金沢向陽高校、三谷美菜津、牧畠秀樹、
				丸山諒一郎、星千智、吉森朱里
			２.24～25	○日本リーグチャレンジリーグ2005(立川市)
				・男子 団体 優勝 金沢学院クラブ
				(監督：長谷川　進　コーチ：崎田健一)
				(選手：マイナキー、廣瀬雅士、茶谷徳靖、横山康博、酒井直英、車淳史)
				・男子 団体 第６位 金沢市役所
				・金沢学院クラブ　入れ替え戦で勝ち日本リーグ２部に昇格
			３.25～28	○第33回全国高校選抜大会(福井県敦賀市総合運動公園体育館)
				・女子 団体 優　勝 金沢向陽高校（12年ぶり２度目）
				(監督：車　浩明 コーチ：奥村亜紀代 マネージャー：南出さき)
				(選手：樽野恵、南出さき、木村唯菜、長谷川加奈、
				中尾彩乃、室達茜、桜井みどり)
				・女子　単　優　勝 樽野　恵(向陽)
				・女子　複　第２位 樽野　恵・木村唯菜(向陽)
			５．４～６	○第11回石川ジュニアオープン大会(白山市美川SC・美川体育館)
				・男子 団体 第３位 美川中学校
				・男子　複　第３位 吉森司・星大智組(松任中)
				・女子　単　優　勝 三谷美菜津(美川中)
				・女子　複　第３位 三納英莉佳・疋島千奈美組(布水中)

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
58	平18	2006	5．6	○新スコアリングシステム採用決定（ＩＢＦ総会・東京）
			6．	○日本バドミントン協会より研鑽賞受賞　松下力氏
			7．	○アジアジュニア選手権大会　　樽野恵（向陽）が出場
			7．28～30	○第24回全日本レディース選手権大会開催（金沢市総合体育館ほか）
				・クラブ対抗戦　第３位　津幡クラブ
			8．1～6	○全国高校総合体育大会（奈良市田原本町）
				・女子 団体 第２位 金沢向陽高校
				（監督：車　浩明 コーチ：奥村亜紀代 マネージャー：室達　茜）
				（選手：樽野恵、木村唯菜、長谷川加奈、南出さき、村上彩、桜井みどり）
				・女子　単　第２位 樽野　恵（向陽）
				・女子　複　第３位 樽野　恵・木村唯菜組（向陽）
			8．5	○県体育協会体育功労賞受賞　田上嘉弘氏（県協会）、片山　一美氏（県協会）
			8．8～11	○第45回全日本教職員選手権大会（京都府長岡京市）
				・一般女子 団体 優　勝 石川県選抜
				（栄代哲子、奥村亜紀代、吉田優美、山下祐美子、堀江梨香、立花美紀）
				・一般男子　複　第３位 松本雅之・山下　淳組
				・30歳代女子　複　第２位 宇都宮明子・長丸貴子組
				・40歳代男子　複　第３位 大井川久・中口　憲組
				・40歳代女子　複　優　勝 桶谷千鶴子・伊東ひとみ組
			8．16～19	○第８回全国高校定時制通信制大会（小田原アリーナ）
				・女子 団体 優　勝（監督：枝畑達司）
				（選手：平井友美、澤本奈津紀、桑山夕佳、岡島衣里）
				・男子　単　優　勝 山本圭介（金沢中央高）
				・女子　単　優　勝 澤本奈津紀（金沢泉丘高通信）
			9．4～10	○第46回西日本学生選手権大会（広島市立総合体育館）
				・男子 団体 第３位 金沢学院大学
				・男子　単　第２位 村上　亮　第３位 大岡兒昌（金沢学院大）
				・男子　複　第３位 村上　亮・山口　俊組（金沢学院大）
			9．15～20	○第49回全日本社会人選手権大会開催（金沢市総合体育館・石川県体育館）
				・女子複、混合複　二冠
				田井美幸（ＮＴＴ東日本）（向陽出身、国体・石川ふるさと選手）
			10．1～4	○第61回国民体育大会（のじぎく国体・宝塚市）夏季・秋季国体が一本化開始。ふるさと選手導入（旧ルールで実施）
				・四全種別出場
				・少年女子 優　勝 金沢向陽高校（11年ぶり２回目）
				（監督：車　浩明　選手：樽野恵、木村唯菜、南出さき）
				・競技別天皇杯得点　第７位、皇后杯　第２位
			10．10～15	○YONEX JAPAN OPEN '06（東京）
				・樽野恵、木村唯菜（向陽）が出場
			10．21	○第７回全日本ジュニアグランプリ大会（仙台市）
				・男子 団体 第３位（監督：水内　浩　コーチ：石田浩幸）

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
58	平18	2006		（選手：坂井一将、新田晃浩、政谷泰俊、南俊哉、吉森司、星大智、松居圭一郎）
			11．1	○県生涯スポーツ功労賞受賞　松下力理事長
			11．2～5	○ＡＮＡアジアユースジャパン2006（福島県富岡町）
				◦U13 男子複 第２位 松居圭一郎組（大徳ジュニア）
			11．3～6	○第17回全国都市職員選手権大会（山形県・鶴岡市）
				◦男子 団体 優　勝 金沢市役所（９連勝）
				◦男子　単　第３位 徳坂　渉（金沢市役所）
				◦男子　複　優　勝 山野隆盛・吉井　剛組（金沢市役所）
			12．1～3	○日本リーグ２部リーグ（秋田県美郷町仙南総合体育館）
				◦男子 団体 第４位 金沢学院クラブ　４勝３敗
				◦女子 団体 第４位 北國銀行　３勝３敗
			12.16～17	○県個人総合選手権大会が「北國新聞社杯争奪個人総合選手権大会」に改名
				◦各種目　優勝杯が新聞社より寄贈される（新調）
59	平19	2007	１．４～８	○第15回全国小学生選手権大会（別府市総合体育館）
				◦男子 団体 優　勝 石川県選抜（監督：大井川　久 コーチ：星明彦）
				（選手：松居圭一郎、荒井大貴、日光凌、毛利一徳、丸山諒一郎）
				◦５年生女子 複 第２位 星　千智・吉森朱里組（松任ジュニア）
			２．３	○県協会総会（エクセル東急金沢）
				〔表彰〕　感 謝 状　小山元也、（故）原　弘明
				最優秀賞　金沢向陽高校、県小学生選抜、樽野恵
				優 秀 賞　木村唯菜、松居圭一郎、星千智、吉森朱里
				功 労 賞　車　浩明
			２．24	○秋田国体指導スタッフ発表　成年女子監督に和田修氏
			３．３	○第１回全日本レディース大会個人戦（東大阪市）
				◦２部Ｂ（合計年齢71～80）第３位 奥本敏美・前田美和子組（津幡クラブ）
			３．31	○日本協会理事会にて松下力理事長が理事に就任し、ナショナルチーム強化部長に選任
			５．４～６	○第12回石川ジュニアオープン大会（白山市美川総合SC・美川町民体育館）
				◦男子 団体 優　勝 松任中学校　第２位 美川中学校　第４位 内灘中学校
				◦男子　複　優　勝 吉森司・星大智組（松任中）
				第２位 細野真吾・中村拓磨組（犀生中）
				第３位 西村匠・寺田昌宏組（美川中）
			６．24	○日本バドミントン協会より研鑽賞受賞　長谷川進氏
			６．24	○第４回に日中交流競技会（新潟市・鳥屋野総合体育館）
				◦松下強化部長が団長を務める
			7.28～8.2	○第58回全国高校総合体育大会（佐賀県・武雄市）
				◦女子 団体 第２位 金沢向陽高校
				（監督：車　浩明 コーチ：奥村亜紀代 マネージャー：三納英莉佳）
				（選手：桜井みどり、村上彩、室達茜、中尾彩乃、上谷美帆、宮崎杏子、三谷美菜津）
				◦女子　複　優　勝 村上彩・桜井みどり組（向陽）
			８．４	○県体育協会体育功労賞受賞　中村均氏（能美市）森田均氏（県協会）

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
59	平19	2007	8．5～9	○第46回全日本教職員選手権大会(長崎県大村市)
				• 一般女子 団体 第2位 石川県選抜
				(伊東ひとみ、吉田優美、奥村亜紀代、安嶋澄江、堀江梨香、立花美紀)
				• 成壮年男子 団体 第3位 石川県選抜
				(藤田哲、藤田典知、大井川久、中口憲、
				長丸茂人、寺西了、坂東陽月、宮前仁)
				• 一般女子 複 第3位 吉田優美・奥村亜紀代組
				• 40歳代女子 複 第2位 桶谷千鶴子・伊東ひとみ組
				• 60歳代男子 単 第3位 原栄
			8．16～18	○第8回全国小学生ＡＢＣ大会(熊本県八代市)
				• 男子B 優勝 中村友哉(中央ジュニア)
			8．16～18	○第9回全国高校定通大会(小田原アリーナ)
				• 女子 団体 優 勝 金沢中央高校(監督：枝畑達司 コーチ：清水勝)
				(選手：平井友美、吉田沙織、清水睦美、岡島衣里、岩下愛里)
				• 女子 単 優 勝 平井友美(金沢中央高校)
			8．20～23	○第37回全国中学生大会(福島県須賀川市)
				• 男子 複 第2位 吉森司・星大智組(松任中学校)
			8．24～9．2	○第47回西日本学生選手権大会(北九州立体育館)
				• 男子 団体 第3位 金沢学院大学
				• 男子 単 第2位 伊東克範(金沢学院大学)
				• 男子 複 第2位 青山天将・伊東克範組 第3位 安村・山田組
			9．14～17	○日本マスターズ2007バドミントン競技(滋賀県野洲市)
				• 男子 団体 第3位 石川県選抜(監督：東 茂樹)
				(選手：羽田義仁、崎田健一、毛利達彦、高橋光一、谷島助男、山本秀夫)
			9．20～27	○第49回全日本社会人選手権大会(鳥取市体育館)
				• 国体・石川のふるさと選手、田井美幸(ＮＴＴ東日本)混合複で優勝、樽野恵(NTT東日本)が単で第2位
			9．21～24	○第26回全日本ジュニア選手権大会(埼玉県久喜市)
				• ジュニアの部 女子複 優 勝 土谷美帆・三谷美菜津組(金沢向陽高)
				• ジュニアの部 女子単 第3位 土谷美帆(金沢向陽高)
			10．5	○河原山晴夫県協会副会長が「生涯スポーツ功労賞」を受賞
			10．5～8	○第62回国民体育大会 バドミントン競技(秋田県美郷町)
				• 成年女子 優 勝 石川県選抜 (監督：和田 修)
				(田井美幸、樽野恵〔ＮＴＴ東日本〕、梅津知恵〔茨城トヨタ〕)
				• 少年女子 第2位 金沢向陽高校 (監督：車 浩明)
				(村上彩、桜井みどり、三谷美菜津)
				• 天皇杯(男女総合成績) 第2位 皇后杯(女子総合成績) 優 勝
			10．13～14	○第6回日本ジュニアグランプリ大会(仙台市)
				• 男子 第3位 石川県選抜 (監督：水内 浩 コーチ：石田博幸)
				(選手：三浦誠、徳田充、世戸和洋、南淳也、星大智、
				吉森司、荒木隆宏、大町康太、袋井由樹)

周年	年	西暦	月日	主な出来事・成績
59	平19	2007	10.19～25	○第58回全日本学生選手権大会(千葉体育館ほか) • 女子 単 優勝 伊東可奈（日体大） • 女子 複 優勝 伊東可奈組（日体大） • 2位 木村　綾・梨木春花組（専修大） • 3位 今井杏里組（立命館大）
			11.19	○北國スポーツ賞に国体石川成年女子石川県選抜（田井美幸・梅津知恵・樽野恵)、北國スポーツ奨励賞に村上彩・桜井みどり(金沢向陽高)、今回より新設された北國生きがいスポーツ賞を桶谷千鶴子が受賞
			11.20～22	○ＡＮＡ世界アジアユースジャパン2007（千葉・成田市体育館） • 女子 単 優勝 星　千智（松任ジュニア） • 女子 複 2位 星　千智・吉森朱里組（松任ジュニア）
			11.23～25	○第18回全国都市職員選手権大会（千葉市ポートアリーナ） • 男子 団体 優勝 金沢市役所（10連勝） • 混合 団体 2位 かほく市役所 • 男子　複　2位 山野隆盛・杉原秀俊組（金沢市役所）
			11.23～25	○日本リーグ2部リーグ（神奈川・藤沢市秋葉台文化体育館） • 男子 団体 優勝 金沢学院クラブ　7戦全勝 監督・長谷川進　コーチ：崎田健一 選手：マイナキー・木下政彦・廣瀬雅士・茶谷徳靖・横山康博・酒井直英・車淳史・村上亮 マイナキー・木下政彦がＭＶＰ獲得 • 女子 団体 8位　北國銀行　7戦全敗

第2章 思い出 ～全国大会で優勝して～



日々努力　継続は力なり

金沢向陽高等学校 校長　前監督　和田　修

平成19年度の石川県高等学校総合体育大会で、昭和63年から数えて20年連続優勝したことになります。この間、金沢向陽高校は全国大会においても常に全国のトップクラスの成績を残しています。

毎年選手が入れ替わる高校界で、これだけ長期間全国のトップを維持している向陽高校の選手たちの努力は、十分賞賛に値するのではないかと思っています。20年近く全国のトップを維持していることについては、「日々努力　継続は力なり」の部訓のもと努力している選手たちがいるからだというのは当然ですが、それだけでは現在の向陽高校はないと思います。歴代の校長先生はじめ教職員の理解と学校全体の応援、県教育委員会、県体育協会、県高体連県バドミントン協会、中学校・県ジュニアの指導者の皆様方の物心両面にわたる応援があったからこそであります。この紙面をお借りしまして普段お世話になっている皆様方に心から感謝申し上げると同時に、これからも一層のご支援をお願いしたいと思います。

石川県バドミントン協会創立60周年の近10年史を作るので、その間に優勝した監督にも何か書けと言うことで原稿依頼が回ってきました。該当するのは田井美幸・舛田恵組の個人ダブルスの優勝です。田井・舛田組が優勝したのは10年前、1997年の京都インターハイの時でした。随分昔のことで、その時のことを書けと言われてもさっと出てきませんが、記憶をたどりながら書きたいと思います。

今年度の佐賀インターハイで桜井みどり・村上彩組が個人ダブルスで向陽高校として３度目になる全国の頂点を極めましたが、その前の２度目に優勝したのが田井・舛田組でした。「本命なし」と言われていた女子ダブルスでしたが、３年＆２年生ペアで体格を生かした持ち前の攻撃力で混戦を一歩抜け出し優勝をかざりました。二人とも中学時代に実績はなく全国的には無名でしたが、私は監督として彼女たちを指導していく中で、この子たちは絶対に強くなるという確信を持っていました。特に田井については強くなりたいという意欲が強く、自主練習も随分やったようです。日々の厳しい練習の中で着実に力をつけていき、インターハイ前には、いつも通りの力を出せば、優勝を狙えるところまできていました。団体戦は８強に終わっていたので、その悔しさをダブルスで優勝することに集中した結果、見事石川に貴重な王冠を一つ持ち帰ってきました。



左から和田校長、村上選手、桜井選手、車監督

今年度の秋田国体成年女子の部にふるさと制度を活用して、田井美幸・樽野恵（ＮＴＴ東日本）、梅津知恵（茨城トヨペット）の３選手が出場してくれました。選手たちにとっては育ててもらった石川県のために、少しでも恩返しをしたいという気持ちが強かったと思います。そして見事に成年女子としては55年ぶりの優勝という快挙を成し遂げてくれました。私も久しぶりに監督として指揮をとりましたが、選手たちの勝負にこだわった頑張りに心から拍手を送ると同時に、引き続き第２、第３のふるさと選手の輩出を目指して努力したいと思います。



日本一になって

金沢向陽高等学校 女子バドミントン部監督　車　　浩　明

金沢向陽高校に初任として赴任し、前監督の和田修先生、彼島先生から受け継ぎ不安と期待で監督を始めた。しかし５年の間に、自分が抱いていた不安とはよそに平成16年度の選抜大会で浜中、樽野組のダブルス優勝、平成17年度の選抜大会で団体優勝、樽野のシングルス優勝、平成18年度の国民体育大会で優勝、そして平成19年度の高校総体で村上、桜井組のダブルス優勝という成績を収めることができた。自分だけでは、決してこれだけの成績を残せなかった。前監督の先生方が築いてくださった向陽高校バドミントン部があったからこそである。また、その中で選手達は大変頑張ってくれた。「日々努力　継続は力なり」の部訓のもと、「日本一」という目標を持って日々の練習に取り組んでくれた。樽野に関しては県内高校のバドミントン界では初の越境選手であり、見ず知らずの地で本当に頑張ってくれた。いろいろな苦難を乗り越えて高校を代表する選手になってくれたことは大変光栄なことである。

しかし、このような結果は、監督や選手の力だけでは絶対残すことはできない。バドミントン部に対して学校をあげての強力なバックアップ、石川県バドミントン協会の全面的支援、その他に夏と冬に行う強化合宿や土・日・祝日など休日にかかわらず学校に来て選手達の相手をしてくれ、厳しく鍛えてくれた男子の社会人の方々や北國銀行、金沢学院の選手の方々の協力があったからこそである。また、向陽高校に選手を送ってくださる中学校の指導者のバドミントンに対する理解があってのものでもある。この紙面をお借りしてお世話になった方々に心からお礼を申し上げたい。

高校の団体戦ではインターハイ、国体、選抜が大きなものとなる。この３大会が近づくにつれてその各々の大会で全国優勝することを目標としているが、そのなかでも私が現在悲願としているのはインターハイ優勝である。金沢向陽高校は過去、国体に関しては平成７年と平成18年、選抜大会に関しても平成７年と平成18年に２度ずつ全国制覇を成し遂げている。しかし、インターハイでは準優勝を数多くしているが、優勝はまだ成し遂げていない。そこで、何とかインターハイで優勝したいという気持ちを特に強く持っている。このような結果が残せるように自分自身も「日々努力　継続は力なり」を行っていかなければいけないと思う。もう一つ目標であり、夢がある。それは自分が関わった選手からオリンピック選手がでてくれることである。

自分が選手の時に石川県の方々に大変お世話になり、そのご恩を返したいという気持ちで教員を目指し、現在に至るわけであるが、環境に恵まれ、選手に恵まれ、そしてこのような結果もついてきて本当に幸せである。私が指導者として思っていることはまず、選手は人間として成長していかなければいけないということである。挨拶や礼儀を徹底させなければいけないと思っている。バドミントンにおいては自分が高校時代に教わった、１に精神力、２に体力、３に技術を大切に、それを自分なりにアレンジをしながら指導にあたっている。しかし、指導者としてはまだまだ未熟なところが多々ある。今後、たくさんのことを学び指導者として成長していきたい。そのために、今後もたくさんの方々にご指導、ご鞭撻をお願いしたい。最後に、現在も毎日、目標に向かって猛練習の毎日であるが、日本一になるために監督、選手共々頑張っていきたい。選手は、毎年毎年替わっていくが、その選手に応じた練習を今後もしていきたいと思う。応援よろしくお願いします。



全国制覇を振り返って

少年連盟強化指導部　近　藤　朝　範

振り返ればもう５年も経ってしまいましたが、昨日の事の様に思い出されます。あれは広島県の総合体育館で行われた試合でした。当初は全国小学生バドミントン都道府県団体戦として始まり、個人戦の全国小学生バドミントン大会とは日程も場所も異なっていました。しかしこの大会から、選手の遠征費用等の問題で二つの試合が一つになりました。それまで、団体戦は１複２単で、選手は単複を兼ねて出場できたのですが、この大会からは兼ねられず、４名必ず出場しなくてはならない様になりました。より総合力が求められ、オーダーによって勝敗が大きく左右されるようになりました。

選手は村上彩、桜井みどり、畑安沙美、室達茜、駒木友紀の５名で臨み、前年度が２位であったことから第２シードで、２回戦からでした。対戦相手は福井県で、試合結果は３－０で難なく勝ちました。ところが、ダブルスで出た駒木選手が試合後、足が痛いと言ってきた為、残り試合をギリギリの４名で行うしかありませんでした。後で考えて見れば３回戦の佐賀県戦が山でした。ダブルスの畑・室達組が、大接戦の末フルセットで負けてしまい、シングルスは第一の村上選手が簡単に勝ち、第二の桜井選手が向こうの一番手と当たり、１ゲーム目を簡単に負けてしまって、旗色が悪くなり、一方、向こうは勢いがあって非常に乗っているように思われました。それでも、チームの雰囲気は悪くなるどころか、ベンチの応援や保護者の応援が益々すごくなり一つになった事と、桜井選手が勝たなければという重圧から開放され、思い切りの良さが出始め、２ゲーム目を大接戦の末取り返し、３ゲーム目は簡単に勝ったのを覚えています。後は、４回戦の愛知県、準決勝の奈良県、決勝の滋賀県はその流れを保ってほとんど大きな競い合いもなく自分たちの普段通りの力、もしくはそれ以上の力を出し切り勝ち抜いたのを覚えています。

当時６年生であった選手たちも高校３年生になり今年のインターハイでは村上・桜井選手組で全国優勝した報道を聞きますと、順調に伸びて育っているんだなあと喜んでいます。ちなみに私は第１回から第７回まで男子、女子の監督やコーチとして参加させていただき、優勝１回、準優勝３回、第三位２回、ベスト８、１回と全ての試合で結果を残す事ができました。いかに石川県のレベルが高いかわかります。

話は変わりますが、私事ですけれども、仕事の関係で中国の上海へ駐在していてこの春に日本に帰って来ました。向こうの方でもバドミントンを続けたお陰で、色々な人と出会いジュニアの先生方とも親しくさせていただきました。もし、どなたか練習試合等を向こうで行いたい時には、微力ながらお手伝いできると思いますので、遠慮せずに連絡いただければ幸いと思います。

最後にこのようなチームの監督をさせていただき非常に楽しい時間を過ごせたのと、良い思い出を作る事が出来ましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。



全国大会で優勝して

男子監督　大井川　　久

全国小学生バドミントン選手権大会は、平成18年で15回を数える大会となった。団体戦の都道府県対抗戦と個人戦が行われ、特に団体戦は、各県のジュニア育成力が顕著に見える大会といえる。

さて、18年度大会団体戦は、平成19年１月５日から６日にかけ、大分県別府市総合体育館で行われた。17年度一回戦敗退の結果から、18年度は早期に選手選考及び強化することを課題に、10月下旬より、本

大会へ向けて週一回の強化練習を積み重ねてきた。男子団体戦選抜メンバーは、６年生の松居圭一郎、荒井大輝、日光凌、毛利一穂、丸山諒一郎、そして５年生の大町康太選手である。また、選手の競技力をさらに引き上げる狙いで、星明彦コーチを配しての本年度石川県チームが立ち上がった。大会直前まで１ダブルス、２シングルスのオーダーに苦慮したが、アタック力を武器に荒井・日光組をダブルスで起用、松居、大町、毛利、丸山をシングルスで起用することに決定した。

いよいよ大会の幕が開け、一回戦山梨、二回戦広島にはいずれも３対０と好調なスタートをきることができた。石川にとって最初の試練は、三回戦佐賀県との対戦であった。ダブルスの松居が１ゲーム目を落とす劣勢の試合展開となった。佐賀の第二シングルスには、17年度個人戦でも実績のある選手が控えていたため、何としても松居で勝ちたい。その期待に応え、松居は２ゲーム目から冷静に大きな配球を意識し、相手の崩れを誘って勝利をつかんだ。

これで波に乗った石川は、準々の岡山に２対０、準決の香川には２対１と快進撃を見せた。疲労もピークを迎えた決勝では、ここまで安定した力をみせた荒井・日光組が、２ゲーム目を落とす苦しい展開となった。しかし、自分たちの攻撃するスタイルを維持し、最後まで体の入った力強いスマッシュを打ち込み続け、荒井・日光組に軍配が上がると、エース松居がきっちり２ゲームでシングルスをとり、石川男子にとって団体戦初優勝が現実のものとなったのである。松居、そして荒井・日光組の粘り強い勝ち点はもちろん、大町は、５年生ながら二勝をあげ、毛利・丸山はいつでも試合に臨む緊張感をとぎらせることがなかった。まさに、チームが一丸となって手にした優勝であった。

優勝にあたり、年間を通した県強化練習を統括する桶谷総監督、様々な面からサポートを頂いた県少年連盟の北山会長、松田副会長、森田理事長、練習会場を提供して頂いた美川中バドミントン部の吉田監督、数多く練習をつけて頂いた毛利氏に感謝申し上げたい。そして、素晴らしい選手を日頃より育成されている各クラブの指導者の皆様、保護者の皆様には心より敬意を表する。

最後に、今後も主体性に富むジュニア選手育成に微力ながら尽力していくことを決意するとともに、石川県バドミントン協会の益々の発展を祈念して筆を置く。



高校生活で学んだこと

ＮＴＴ東日本バドミントン部　樽　野　　恵

私は福岡から親元を離れて、石川県立金沢向陽高校に全国優勝するために来ました。和田先生と車先生の指導の下、全国優勝という目標に向かって「日々努力　継続は力なり」をモットーに練習しました。

１年生の選抜大会決勝、オーダーも予想通りで私が勝てばずっと目標にしていた全国優勝だったのですが、私が負けて優勝を逃してしまいました。このときの悔しさは今でも忘れません。このときに決めたのが「来年は絶対に優勝する!!」ということでした。そこから１年間は思いもよらない事故があったりパートナーが変わったりといろいろな試練が重なりました。でも、去年の雪辱をはらすべく、ただ優勝するために練習しました。次の選抜大会のオーダーも、去年と同じく予想通り、私が勝てば優勝という形でした。緊張して眠れないというのは経験したことがなかったのですが、この時は２週間前から眠れずにつらかったです。でも、この不安も緊張も吹き飛ばすぐらいの自信と、たくさんの人の支えがあって優勝することができました。個人戦もいい流れができたのか、優勝することができました。この時は優勝できたのも嬉しかったですが、何よりも今まで自分たちを支えてくれた方にやっと、少しですが恩返しができたのが本当に嬉しかったです。でも、まだインターハイでの優勝がないので、インターハイも優勝すると決めて練習しましたが、全く力及ばず負けてしまいました。

あと残された大会は国体。３年生が引退していく中、国体メンバー３人はこれまでと変わらず朝練にももちろん参加し、国体を優勝すると決めて２ヶ月間練習しました。国体決勝まで危なげなく進み、決

勝戦となりました。対戦相手は、これまでずっと戦ってきた青森山田率いる青森県でした。オーダーは、幼少期からライバルの藤井と最後のシングルスであたるはずでしたが、木村と組んで出たダブルスがインターハイ優勝ペアにファイナルの激戦の末に勝ちました。そのあと体力に自信のある木村がシングルスに出て勝利。これで石川の優勝が決まりました。私は、ダブルスの時、シングルスのことは一切考えずに、ただ一本のラリーに集中しました。この時は涙がたくさん流れました。観客席からは和田先生の声、隣の席からは車先生の声も石川県の方の声援も全部聞こえていたので本当に心強かった。よくがんばったと握手をしてもらった時は、本当に嬉しかったです。

金沢に来て学んだことは本当にたくさんあります。少しでもいいから毎日やること、感謝の気持ちを忘れないこと、応援してくれている人には勝つことが一番の恩返しになること、勝てるのはたくさんの人の支えがあることなどです。右も左もわからない私を温かく支えてくれた石川県の皆さんが大好きです。これからは、皆さんにたくさん恩返しができるように、東京という離れた地ですが、一生懸命頑張りたいと思います。



全国総体個人複で優勝して

金沢向陽高等学校女子バドミントン部　桜　井　みどり

私は、高校最後の佐賀県で行われたインターハイで団体準優勝、個人複優勝という結果を残すことが出来ました。去年の先輩は選抜優勝、インターハイ準優勝という輝かしい成績を残していました。それに負けないように練習しましたが、選抜ではベスト８という形で終わってしまい、とても悔しかった。それに、私が最後に負けたことでチームが負けてしまったので、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。その気持ちを忘れず、インターハイではリベンジを絶対にしてやろうと心に決め、試合に臨みました。

インターハイの組み合わせは、準々決勝で選抜の時に負けた越谷南でした。一回戦、二回戦は順当に勝ち進み、ついに越谷南にリベンジするときが来ました。一回負けているので、挑戦者の気持ちで向かっていき、その結果３－１で勝つことが出来ました。その勢いで、聖ウルスラに３－０で勝つことができ、決勝に駒を進めました。決勝の相手は昨年の覇者、青森山田でした。勝っても負けてもこの試合が最後だったので、集中して挑みました。第一ダブルス、第二ダブルスとも一セット先に先取しましたが、相手の勢いに負け、あとの２セットを落としてしまい３－０で負けてしまいました。優勝するチャンスだったので、悔しかったけど、自分たちができることを精一杯できたのでよかったです。次の日から始まる個人戦は、気持ちを切り替えて頑張りました。

個人戦で一番きつかったのは一回戦でした。緊張で足が動かず、ミスの連発で先に１セットをとられ、正直負けるかと思いました。何とか立て直し勝つことができたけど本当に危なかったです。次の試合からは自分たちのプレーをすることができました。勝負所だったベスト８決めの試合も勝つことができ、いい流れのまま次の試合も勝て、ベスト４に残ることができました。迎えた準決勝の相手は、団体で負けた青森山田のペアでした。厳しい競り合いの末に勝てたのは、私達の方が勝ちたいという気持ちが強かったからだと思います。決勝も１セットを先取されましたが、お互いに声を掛け合い、自分たちの形に持っていくことができ、勝つことができました。それにみんなの応援が試合中に聞こえ、それが力にもなりました。村上も緊張でガチガチになっていた私に、ラリーが終わるたびに声をかけてくれたので、自分のプレーをすることができました。自分一人では優勝は絶対にできませんでした。チームメイトの応援、支えがあったからここまでくることができました。また、石川県の協会の方々や学校、家族など多大なる支援があったからです。貴重な時間を割いて私達の練習相手をしてくださった先輩や大学生、一般の方々に心から感謝しています。多くの人の支えがあったからこその勝利だと思っています。私たちは勝つことが、お世話になった方々への恩返しだと思っているので、これからも感謝の気持ちを忘れず頑張っていきます

本当にありがとうございました

― 全中を終えて ―

金沢大学２年　水　口　さゆり
（金沢向陽高校・御幸中学出身）

私は、中学三年のときに全中の女子ダブルスで優勝することができた。優勝した瞬間は、達成感と満足感で気持ちが楽になったように感じた。優勝することができるまでには、とてもつらい時期がたくさんあった。中学二年の時の全国大会にも私たちは出場したが、ベスト８という結果だった。その結果はとても満足いくようなものではなく、自分たちの持ち味の攻めるプレーが全くできていないものだった。それからは今まで以上につらい練習をしたつもりだ。毎週土日には、10キロのランニングをした。仲間とランニングすることで、もっと一緒に向上したい、一緒に勝ちたいという思いは強くなっていった。

そして、大会当日一番の山場だったのが準決勝だった。一ゲーム目を簡単にとられてしまい、気が動転した。しかし、そんな時思い出したのは、つらいトレーニングも一緒に頑張ってきた仲間だった。そして、つらい時にこそ頼れたのは、ペアの南出さんだった。二人で笑顔のプレーをしていると不思議と動転していた気持ちが、落ち着いた。優勝した時に、気持ちが楽になったのは、南出さんと二人で頑張ってきたことに自信があったから、それを発揮できたことへの安心感だったのだと思う。今は二人とも違う大学でバドミントンをしているが、お互い良きライバル、良き友人として頑張っていけたらと思う。

また、この全中での優勝は、私たちの力だけでは決して勝ち取ることができなかった。周りの支えてくださった方々のおかげで勝ち取ることができたことに感謝しています。ありがとうございました。

― 競技生活の礎 ―

筑波大学２年　南　出　なつき
（金沢向陽高校・御幸中学出身）

私は小学校３年生からバドミントンを始めました。始めた当初は目標も無く、ただバドミントンをすることが楽しくてしょうがないといった感じでした。しかし、練習を重ねるうちに次第に強くなりたい、と思うようになりました。中学校時代は仲間と共に「全中優勝」を目標にバドミントンに打ち込みました。厳しい練習に加え、休みの日の朝の10キロのランニング等、毎日ハードな日々が続きました。それと同時に始まった練習ノート。内容はその日の反省や自分が今、取り組まないといけない練習課題等を自由に書きました。監督を信頼していた私は、その内容に加えて今、自分が悩んでいることや考えていること等も書きました。厳しい練習が嫌になったことも正直ありましたが、必ず勝つことができると信じていたので、仲間と共に必死について行きました。

その結果、念願叶って中学校３年生の全国中学校バドミントン大会女子ダブルスで優勝することが出来ました。表彰式でいただいた花束を二人で監督に感謝の気持ちと共にプレゼントできた時はとても嬉しかったです。



水口選手（右）と南出選手

振り返ってみれば中学校の３年間は充実した競技生活を送ることが出来ました。技術的な向上だけではなく「心と身体の調和」、つまり精神的にも大きな成長を遂げることが出来ました。私は、これからもスポーツのみに限らず、人生の中で誇れる挑戦を増やすことが出来るように努力を重ねていきたいと思います。

第3章　委員会の歩み

強化委員会

当委員会は県協会の一般（大学生を含む）と高校のトップレベルの選手の育成・強化を目指し、国民体育大会にて好成績を挙げることを目的としています。そのために、県外遠征を含め、県内合宿を年に数回企画しています。

〔国体総括10年〕

成年男子 ― 過去に成年男子が活躍していた頃はトップ選手の受け皿として北國銀行の存在があり、インカレ上位組も大勢いた。現在、午後から練習の出来るノンプロ３チーム（トナミ、ＮＴＴ東日本、日本ユニシス）の所属選手に上位を独占されている。加えて本県から全日本社会人大会等のベスト８以上が最近出ていない。受け皿づくりとトップ選手の育成が急務である。

成年女子 ― 地元選手のみで２回の５位入賞、悪くてもベスト16というのは評価できる。もう一歩でベスト８というのも何回かあった。女子も全国大会のベスト８以上のエースが欲しい。

少年男子 ― 全国的に公立高が全国上位に入賞するのは困難な状況である。金市工(石川)八代東(熊本)勝山高(福井)足羽高(福井)水島工業(岡山)ぐらいで、その中で健闘はしていると思うが実力的にいえば常時、ベスト４～８は期待したい。

少年女子 ― 男子と同じく私立全盛の中、公立高で全国トップである。私学では県外有望選手の獲得が命で地元中心でここまでの戦績は素晴らしい。今後の課題は選手集めに全てがかかる。

競技委員会

現在、当委員会は、７名で活動を行っている。主な活動内容は、年４回の県協会主催・主管の大会（４月：団体選手権、６月：社会人大会、９月：澁谷杯、12月：個人総合）の運営を行うことである。その他としては、全国大会等の大会を誘致した際の大会運営などを行うこともある。基本的には、教員・実業団のメンバーでの活動であり、選手を兼ねている場合も多く、全員がそろっての活動は困難な状況が続いている。そこで、今年度から申し込み時の電子メール、参加費の銀行振り込み、大会運営でのコンピュータソフト等を導入し、正確かつ、省力化も目指した活動を行っている。参加者の皆さんにはご負担をおかけすることもありますが、ご協力をお願いしたいと思います。

普及委員会

当委員会は、バドミントン競技の普及を目的に設置され活動を行ってきました。前普及部委員長の奥村明義が中心となり、元理事長の中島寿禧の考えに基づき昭和52年、家庭婦人連盟（現レディース連盟）、平成元年、社会人連盟を発足させて今の県協会の組織を充実させてまいりました。

当委員会の今の活動状況は、中級及び初級クラスの大会運営、シニアクラスの大会の運営を主に行っております。

①松田龍一杯争奪バドミントン大会

（個人戦単複一般の部、シニア年齢別複の部）

昭和27年に松田龍一杯争奪新人バドミントン大会として開催され、第51回に現在の名称に変更して、平成19年度で第56回と県内の大会ではもっとも古く歴史ある大会です。また、シニアの増加と共に平成14年よりシニア部門ダブルスを併設しております。個人戦で一般の部は、優勝及び準優勝者は次回以降出場できない大会です。

②ゴーセン杯争奪バドミントン大会
（一般団体戦、シニア団体戦）

昭和55年にゴーセン杯争奪バドミントン大会として開催され、平成19年度で第28回と続いています。平成17年よりシニア部門を併設しました。男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルスの３ダブルスの団体戦です。シニアは40歳以上としています。

③県民スポーツ・レクリエーション祭年齢別バドミントン大会 兼 全国スポーツ・レクリエーション祭年齢別バドミントン大会予選会

平成４年に石川県民スポーツ・レクリエーション大会が発足して年齢別バドミントン大会の種目で、県協会の主管で開催しております。全国大会は、昭和63年に日本体育協会主催にて開催され、当初は石川県選抜として選手派遣をしてきましたが、平成９年より県民スポレク祭の優勝チームに全国大会への出場権を与えることにしました。また、一度出場したら３年間は全国大会への出場が出来ないようルール変更して実施しています。平成12年に七尾市で全国スポレク祭が開催され、金沢フレンド、七尾デカ山が優勝したことが記憶に残っています。全国大会に合わせて、30歳以上女子ダブルス、40歳以上男子ダブルス、50歳以上混合ダブルスの３ダブルスの団体戦です。

④日本マスターズ・バドミントン競技大会への選手派遣

平成13年に日本体育協会主催にて新規開催されて、石川県男子は、平成14年と２連覇しました。選手編成は、40歳以上、45歳以上、50歳以上の３ダブルスの団体戦です。

※第１回大会は５歳若返り編成で開催されました。

指導委員会

1 石川県スポーツ指導者協議会との繋がり

石川県体育協会（以下、県体協という）内に、主としてスポーツ指導者相互の連携を密にして、指導体制の整備、質向上を図ることを目的とした上記の協議会が組織されている。（昭和55年発足）県体協加盟競技団体から各１名と地区代表で理事会が構成され、活動の一つに「日本体育協会公認指導員」の資格取得支援とその更新のための研修会の開催主管がある。

2 公認スポーツ指導者資格取得活動

県バドミントン協会（以下県バド協という）としては、昭和63年にＣ級、平成７～９年にはＢ級の講習開催を行った。少し間をおいた平成15年のＣ級資格取得講習には29名もの受講があり、全員が日本体育協会から認定を受けた。現在、当協会にはコーチ資格１名を含め51名が登録されている。

3 資格取得および更新手続きの変更

平成17年には資格制度の大きな見直しがあり、関係分はＣ～Ａ級の呼称はなくなり「Ｃ級」が「指導員」に、「Ｂ、Ａ級」が「上級指導員」に変更された。また、平成18年からは４年毎の資格更新の要件に、これまでの県体協による全競技共通研修会の受講に加え、県バド協実施の専門講習受講が義務化され、資格維持の負担が増えている。

4 最近の動向と今後

平成18年からは日本バドミントン協会独自の受講条件が、日本体育協会から認められ、受講者自身の競技実績または指導実績のレベル（評価）によって、より上級資格への受講が可能になった。

また、国体の監督に対して公認コーチや指導者資格を義務付けている競技団体は、年々増えて先の秋田国体では16競技に上っている。日本体育協会からは、平成25年までに全競技に適用したいとの意向も伝えられている。

育成委員会

年間を通して県内における小中学生の強化指定選手及び特別指定強化選手を選考し、合同強化練習会、北信越大会・全国大会出場者の練習会、外部講師を招聘しての講習会等を実施している。また、中学校の強化大会として、県中学１年生大会、県中学選抜大会、石川ジュニアオープン大会を開催している。

平成19年度には県体育協会が主催、県教育委員会が共催する「優れた才能を持つジュニア競技者の発掘、育成及び指導者の養成」を目的とする一貫指導ジュニア育成事業にバドミントン競技が指定された。この機会に、より一層、次世代を担うジュニアの育成の基盤作りを推進していきたい。

審判委員会

どちらかといえば競技に隠れ、地味な分野であるが、重要な役割を占める審判部門におけるこの10年は、日本バドミントン協会の改革により目まぐるしく変化した。

従来、日本バドミントン協会競技規則とＩＢＦ(国際バドミントン連盟)制定競技規則が国内法と国際法という形でルールが分かれて存在していた。しかし、審判部門の組織・体制が確立、強化されるのに伴い、かつての日本のバドミントン王国復活を目指すためにも、国際ルールに準拠したものにしなければならないと、日本協会競技規則がたびたび改定された。そして、その周知徹底を図るため、中央での審判伝達講習会も頻繁に開催された。その主なものや関係事項は、以下の通りである。

平成11年　**①競技役員長（レフェリー）競技審判部長(デピュティーレフェリー)制が導入された。**これまでの競技委員長、審判長制が廃止された。

②90秒インターバルが設けられた。第１ゲームと第２ゲームのゲーム間に90秒を超えないインターバルが認められるようになった。(第２ゲームとファイナルゲームの間はこれまでと同じ)

③セティングの場合のポイントが17点(13点)に変更された。15点ゲームの13点オールで５点、14点オールで３点、そして、11点ゲームの９点オールで３点、10点オールで２点とこれまで長く続けられてきたポイントが、それぞれ14点オール、10点オールのみ３点ずつとなった。

④各種「規定」が「規程」に改められた。「大会運営規定」→「大会運営規程」「公認審判員規定」→「公認審判員規程」など。

⑤ウエストラインに対する新解釈が示された。これまで腰骨やベルトラインなどで曖昧だったウエストラインについて「直立の態勢で、腕をコート面に対して垂直に下ろし、肘から先を垂直に曲げたときの上腕の下の線を目安とする。」と示された。

⑥イエロー(注意)・レッド(フォルト)の各カードが廃止された。

平成12年　**①公認審判員の制度が１級、２級、３級、準３級のグレードになった。**「準３級」が加わるとともに、以前の１種、２種、３種の制度名が、もとに戻るかたちとなり、上級への資格取得期間が短縮された。

②「障害者のバドミントン」が付則として規則書に掲載され、施行された。

平成13年　**①原栄一県審判委員会委員長が退任された。**長年、県内における審判員の資格取得や普及、資質の向上に大きな功績のあった原栄一県審判委員会委員長が退任され、代わって舛田吉光が就いた。

②イエロー・レッドの各カードの再導入と、ブラックカードが新導入された。平成11年に廃止されたイエロー・レッドカードが復活し、あわせて「失格」を意味するブラックカードも導入された。

平成14年　**ルール教本「JUDGE」が発行された。**「赤本」（日本バドミントン協会競技規則書）では充分に説明できないルールの具体性を含んだ教本が発行された。

平成15年　**７点ゲームマッチ制が試行されたが、導入は見送られた。**ヨネックスオープンジャパン等の国際大会で試行されたが、アジア各国の反対によりＩＢＦ総会で否決され、国内大会で取り入れられる事はなかった。

平成17年　**ルール教本「準３級」が発行された。**中学生、高校生を対象にした公認審判員資格が準３級になるが、その教本が発行された。

②**公認レフェリー資格登録規程が施行された。**全国大会における「競技規則の統一と大会の公正さを図る」ためのレフェリー制度が導入された。（Ａ級、Ｂ級）

③**新スコアリングシステム採用の方向が決定された。**（８月、世界選手権大会が開催された米国でのＩＢＦ総会において）

平成18年 ①**１月から国際大会において、新スコアリングシステムが試行された。**

②**新スコアリングシステム採用が正式決定された。**（５月、東京で開催されたＩＢＦ総会において）

新スコアリングシステムが導入されたのは、次の理由による。

ア　試合時間の短縮（国際大会については疑問）

イ　競技の面白味やマスメディアへのうけ

ウ　ひいては、競技のメジャー化（五輪種目除外の危機）

主な改正点は、ラリーポイント全種目21点３ゲームマッチ。セティングがなくなり、20点オールのとき２点リードしたほうが勝ち（最大30点）になった。11点で１分、ゲーム間２分のインターバルが認められた。ダブルスにおいてセカンドサービスがなくなった。オーバールールの適用等である。

③**10月より国内全国大会において、新スコアリングシステムが完全実施された。**インターハイ、国体を除き10月以前から各種の国内大会において、採用・実施されていた。石川県内においても、実業団連盟、５月の実業団リーグ大会でいち早く取り入れた。

④**ＩＢＦ（国際バドミントン連盟）が改名し、ＢＷＦ（世界バドミントン連盟）となり、本部も英国からマレーシアに移った。**

⑤**公認Ｂ級レフェリー資格取得講習会が実施された**（東京）。

石川県の審判委員会として、日本バドミントン協会が審判員制度の急な発展をとげる中、変革の流れにのれないのが実状である。さしあたって、公認審判員資格取得者を増やす事が課題である。

県体委員会

市町村合併に伴って、また県民体育大会の活性化を図るために、平成17年から、１部・２部制という市及び町村対抗の形式が、市町全体で一般の部と壮年の部に分けられた。（平成19年：10市９町）一般の部は、男女とも２複１単で、年齢制限はなく、壮年の部は、日本スポーツマスターズ大会と同様に40歳以上・45歳以上・50歳以上の３複となった。

第4章　加盟連盟活動

実業団連盟



会長　田中浩一

初代会長	大友佐泰	（昭和45年～昭和50年）
二代〃	谷口一夫	（昭和51年～平成２年）
三代〃	大門重樹	（平成３年～平成12年）
四代〃	安宅建樹	（平成13年～平成18年）
五代〃	田中浩一	（平成19年～現在）
理事長	林　芳広	

昭和45年に石川県実業団連盟が発足し、37年目を迎えています。この間、石川県バドミントン協会のご指導や、創成期にご尽力された諸先輩方に対し、深く感謝申し上げます。昭和47年には隣県の富山県高岡市で「第１回北信越実業団選手権大会」が開催され、以降持ち回りとし北信越５県で開催されています。この大会は当時全国の実業団チームのトップ選手を擁する「高岡市役所」や現在の「トナミ運輸」と対戦できる大会でもあり、また、「全日本実業団選手権大会」の前哨戦として位置づけされ、数多くの熱戦が繰り広げられています。

昭和56年からは15事業所19チームの参加で「実業団リーグ」がスタートし、今年で26回目と歴史ある大会に成長してきています。これは大会運営を裏から支えてくれる鈴木(北陸電力)や重政、羽田(北國銀行)、杉原(金沢市役所)などの運営スタッフのお陰と心から感謝しています。

一方、日本経済は緩やかに拡大しているとはいえ企業スポーツの混迷の中、バドミントン競技愛好者の熱意と頑張りには頭が下がることばかりです。実業団連盟の加盟チームには、企業からの支援がほとんど受けられない状況の中で、競技活動を継続しているチームも多数見受けられます。このような状況下での新しい取り組みとして作成途中ではありますが、「実業団連盟のホームページ」上に選手の紹介を兼ねて日々の自チームの練習会場を掲載いたしました。「情報の共有」による相互の協力体制と競技力向上を狙ったものです。

昭和63年には総勢約1,800人が参加した当時のマンモス大会「全日本実業団選手権大会金沢大会」を誘致し、成功裏に終了することができました。夜遅くまで大会準備に追われ、心身ともに疲れた体にムチを打ち、大会に選手として出場した浜谷(ＮＴＴ北陸)の姿が、今も脳裏から離れません。また、安江(津田駒)、東(倉庫精練)、太田(金沢市役所)からバドミントン競技への「情熱」を学んだ大会でもありました。

組織の発展には会長職が重要な要素に挙げられます。全実連から「加盟事業所内で」との要請を受け、平成３年から北國銀行が会長職に就いています。三代目には大門重樹が就任しました。四代目には安宅建樹(現頭取)が、そして平成19年からは五代目として田中浩一が就任しました。組織の発展及び組織力強化に向けて全面的に支援をいただけるものと確信しています。

多種多様な業態を如何に活用していくかが、今後の課題といえます。

社　会　人　連　盟



会長　要明英二

初代会長　上　野　英　吉（平成元年～平成６年）
二代　〃　要　明　英　二（平成７年～現在）

理事長　原　　正　人

1　連盟の誕生と変遷

当社会人連盟は、平成元年に発足した県協会傘下の連盟では一番若い連盟です。平成元年の発足時は男子５部31チーム、女子３部15チームでスタートしました。平成９年には、男女合わせて172チームと拡大、執行部は嬉しい半面、大変な苦労がありました（詳細は50周年記念誌を参照）。

2　社会人リーグの変遷

平成10年
男子17部95チーム、女子13部77チーム
（75団体、172チーム）

平成15年
男子18部105チーム、女子13部80チーム
（79団体、185チーム）

平成19年
男子21部108チーム、女子14部80チーム
（80団体、188チーム）

前期及び後期とも40面以上の体育館を押さえなくてはならない状況になってきております。平成元年頃は、高校を卒業しても受け皿がなくバドミントンを断念した人も、社会人リーグの発展とともに受け皿が増えたため、若い人の競技人口が増加していると考えています。現在では県内各市町の体育館の予約も非常に困難な状況ですが、各市町のバドミントン協会のご支援の下で開催できています。この紙面をかりて厚くお礼申し上げます。競技方法は平成18年度まで男子は２複１単、女子は３複で、１部・２部リーグは15点３ゲーム、３部以下は11点３ゲームの旧ルールで運営、19年度からは男女とも全リーグ部21点３ゲームのラリーポイント制で運営しています。

3　石川トヨペット杯争奪大会の誕生

平成４年から旧ヤマハ杯争奪大会を石川県ダブルス大会と改称して、男女の一般及び合計年齢別のダブルス個人戦を行ってまいりましたが、平成18年から要明会長のご支援の下に新たに石川トヨペット杯争奪バドミントン大会として、スタートさせました。男女一般の部、男女年齢別の部で競われます。

4　役員の変更（敬称略）

会長は、要明英二が平成７年より、前会長上野英吉の後を継ぎ現在に至っております。また、副会長の宮城徹三郎は平成15年に顧問に役職変更となりました。また副会長の紙谷穣は、平成14年に平成３年から就任していただいた紙谷邦蔵と交代し、現在に至っております。同じく副会長の坂東陽月は、ご自身もラケットを持ってプレーを続けている現役のプレーヤーで、平成15年より就任をお願いしております。理事長は、平成元年の発足以来就任していた東茂樹が平成14年をもって勇退し、名誉理事長に就任しています。後任として現在は原正人が務めております。

5　連盟の今後の展望

平成９年ころから、近畿社会人クラブ連盟が発起人となり、全日本クラブチーム連盟発足の動きが起こりました。当連盟の前理事長東茂樹もその活動に参画してまいりました。平成13年に第１回全日本社会人クラブ交流大会を大阪市で開催し、成功を収め、以後、毎年３月中旬に愛知、神奈川、石川、埼玉と各地で開催しております。平成16年に正式に全日本社会人クラブ連盟が発足、日本バ

ドミントン協会に加盟を申請しております。今13府県の団体ですが、47都道府県の過半数近くで加盟が認められる状況だと考えております。現理事長の原正人が全日本の執行部の一員として汗を流しております。また、全日本社会人クラブチーム個人戦も平成20年度から毎年開催予定です。現在、当連盟の要明会長は全日本社会人クラブ連盟の副会長に、原理事長は副理事長として活躍しています。最後になりましたが、今後も一般社会人、パパさん、若いお嬢さん及びバドミントン愛好者の日頃の練習の成果を発揮できる場を設けてあげようとの原点を思い出しながら、連盟の運営を行っていきます。

レディース連盟



会長　岡根良子

初代会長　渋谷弘利（昭和51年～平成７年）
二代〃　岡根良子（平成８年～現在）

理事長　片山一美

石川県バドミントン協会創立60周年を迎えられますこと、心よりお喜び申し上げます。

昭和51年10月に県内のバドミントン競技の一層の普及のため青少年の心をバドミントンに向けるにはまず母親がバドミントンを理解する事がより近道であるとの観点から県協会主導のもとに石川県家庭婦人バドミントン連盟が設立され、底辺の普及と会員相互の親睦のために出発しました。月日が過ぎ独身女性が増えて行く中、家庭婦人＝結婚という概念が通用しなくなり平成13年に石川県レディースバドミントン連盟に名称を変更いたしました。レディース連盟も創立30年を平成18年に迎え、記念事業として全日本レディース選手権大会を金沢市と白山市の二会場で行いました。石川県バドミントン協会、各連盟の皆様のご尽力のお陰で無事、開催出来ました事を厚くお礼申し上げます。

生涯スポーツとして全ての構成員が幸せになるよう競技生活を楽しんでいただく様に役員一同務めております。

レディース連盟は年間四大会を主催します。

２月　石川県レディースバドミントン㈱北國銀行ファミリーバドミントン大会
※北國銀行のご支援で年々参加者が増えています親子大会です

４月　石川県レディースバドミントン大会
個人戦　※５ランクに分かれて競います

９月　ふれあいバドミントン交換会
※年齢別の混合複戦も有ります

10月　石川県レディースバドミントン大会
団体戦
※クラブNo１を５ランクに分かれて競い、来年度の全国大会の出場クラブを選ぶ大会です

他に５月　北信越大会
※平成20年度は石川県にて開催

７月　全日本選手権大会
※平成20年度は愛知県で開催

登録クラブは40クラブで、登録会員は約700名で構成しています。

今後とも協会並びに各連盟の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

教職員連盟



会長　高橋外史男

現会長　高橋　外史男

理事長　寺西　了

本連盟の活動も、今年県大会が40回目を迎え、協会所属連盟の中でも長い歴史を数えている。この大会の参加者の方々が高体連、中体連等の指導者として県全体を支える役割を担われている。決して規模は大きくはない大会であるが、今後とも、初心者・愛好者・トップを目指す競技者を問わず、参加が出来る大会として、100回を目指していきたい。

全国大会ではこの10年、非常に充実した結果を収めている。特に、平成14年から創設された「総合」（全種目のエントリー点と勝ち上がり点の合計ポイントで競う）において、平成16年に優勝し、平成15年・17年には準優勝している。この中には女子団体の４連覇、成壮年男子団体の初優勝、女子ダブルス吉田・堀組の３連覇（堀は奥村とも１度優勝）、30・40歳以上女子ダブルス桶谷・伊東組の５度の優勝（桶谷は東とも２度優勝）50歳以上男子ダブルス原・高来組、60歳以上男子シングルスの原など多数の優勝があり、入賞となると枚挙に遑がない状況である。また、参加者も毎年30名前後と他県と比べても多いことも一つの要因となっている。そして、一番自慢できることは、結束の強さである。大会前は、約２ヶ月にわたり合同練習を行い、大会の期間中の応援、夜の交換会、帰県後の打ち上げまで新卒者から、60歳以上までが、男女を問わず行動をともにし、他県からも、うらやましがられている。これは本連盟のみならず、石川の伝統でもあると考えており、今後も維持していきたい。

今後は、昨今の採用状況の厳しさもあり、この成績を維持できる困難も予想されるが、団結力を武器に「総合」での優勝を目標に、また、指導者間のネットワークの中心としても活動を広げていきたい。

学生連盟

石川県バドミントン協会が創立60周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

まず始めに、学生連盟について紹介したいと思います。大学生の大会は中学・高校と異なり、運営は自分達学生で全て行います。日本を９つのブロックに分け、そのブロックごとに学生連盟が存在します。私は、中部学生バドミントン連盟北信越支部に所属していて、北信越支部員は毎年金沢大学の１年生が１人任命され、計４名で構成されます。主な仕事は大会の運営、体育館の確保、トーナメントの作成などです。私はすでに１年間委員長として仕事をしてきましたが、仕事の大変さや委員長としての責任の重さを日々痛感しています。自分が、北信越のバドミントンをしている学生の代表なのだと思うと、いつも胸が引き締まります。またそれと同時に、社会に出る前にこのような貴重な体験をできることに喜びも感じています。来る平成20年度に全日本学生バドミントン選手権大会、通称インカレがここ石川県にて開催されます。既に述べました様に、学生の大会は全国大会であろうが、学生を主体に運営されます。ですから運営スタッフは石川の学生のみならず、福井・富山の３県に渡ります。このような北陸３県の学生が携わる大きな大会の運営をできることは、重圧も

ありますが、それ以上に楽しみでなりません。大会を誘致してくださった石川県協会の方々にはとても感謝しています。また現在の石川県の大学生の競技レベルは、非常に高く、金沢学院大学を中心に全国でも活躍しています。来年の地元開催のインカレでは、１人でも多くの選手の方々が良い結果が出せることを期待しています。最後になりますが、お世話になっている石川県のバドミントン関係者の方々に、恩返しができるようこれからも精一杯尽力していきます。また石川県バドミントン協会の更なる発展をお祈りいたします。

高等学校体育連盟



会長　高橋外史男

現会長　高橋　外史男

理事長　水内　浩

以下、近10年の高体連の主な役員と成績を記す。

平成10年度は中村秀夫部長のあと、同じく金沢市立工業高校の丸田恒彦部長を迎え、専門委員長に金沢向陽高校の和田修が就任。同年３月の全国選抜大会（以下、選抜）では、男子団体戦金沢市立工業が３位入賞し、女子団体戦でも金沢向陽が３位入賞。全国高校総体（以下、総体）では、女子団体の決勝で、九州国際付属高校に惜敗、３度目の準優勝。男子個人複で金沢市立工業の酒井・茶谷組と金沢向陽の田村・舛田組がともに３位入賞。平成11年度は、新しく津幡高校の村西一先生を専門部長として迎え、専門委員長に金沢向陽の彼島重範が就任。同年３月の選抜で、男子個人ダブルスで金沢市立工業の山下・廣瀬組、単で山下淳が３位。女子団体戦で、金沢向陽が３位。総体で、男子は個人複で金沢市立工業の山下・廣瀬組が、春の選抜に引き続き３位。女子団体戦で、金沢向陽が春の選抜優勝校の熊本信愛を準決勝で破り、準優勝。平成12年度は、引き続き村西一部長と、専門委員長は彼島重範でのスタート。３月の選抜では、女子団体戦で金沢向陽がベスト８、個人複で梅津・田井組が３位。総体では、女子個人複で金沢向陽の加賀・西村組が３位。平成13年度は、新しく金沢市立工業高校の疋田勝一先生を専門部長として迎え、専門委員長は引き続き金沢向陽の彼島重範。総体の女子団体戦で、金沢向陽が３位。平成14年度は、引き続き疋田勝一部長と、金沢向陽の彼島重範委員長。総体の女子団体戦で、金沢向陽は前年に続いて３位。平成15年度は、新しく金沢市立工業の高橋外史男先生を専門部長に迎え、専門委員長は引き続き金沢向陽の彼島重範。総体で、男子が５年ぶりにベスト８進出。女子団体戦の金沢向陽は、ベスト８。個人戦では、単で伊東可奈が３位、複でも木村咲・木村綾組、伊東・今井組が３位。平成16年度は、高橋外史男部長のもと、専門委員長には金沢市立工業の水内浩が新しく引き継いだ。総体で、男子の金沢市立工業が２年連続のベスト８。女子団体戦で、金沢向陽も準々決勝で静岡の星稜に勝ち、３位。個人戦では、単で金沢向陽の樽野恵がノーシードから勝ち進み、準優勝。平成17年度は、引き続き金沢市立工業の高橋外史男部長と、水内浩委員長。総体で男子の金沢市立工業が３年連続のベスト８進出。女子団体戦で、金沢向陽は準決勝に進出し昨年に続いて３位。個人戦では、単で金沢向陽の二年生、樽野恵が準々決勝で埼玉栄の井上を倒し、３位で。平成18年度も引き続き、金沢市立工業の高橋外史男長と、水内浩委員長　金沢向陽が18年３月に行われた選抜で全国優勝、総体で団体２位、国民体育大会で全国優勝と輝いた　高校総体では男子石川県立工業が初出場　個人戦では、単で金沢向陽の樽野恵が３年連続出場し、順当に勝ち進み、準優

勝。個人複でも樽野・木村組が準決勝で青森山田の藤井・垣岩組に敗れ、３位。平成19年度も引き続き、金沢市立工業の高橋外史男部長と、水内浩委員長。総体では、個人複で金沢向陽の村上・桜井組が、日本一の栄冠に輝いた。団体も準優勝。

中学校体育連盟



会長　櫻井仁寿

現会長　櫻井仁寿

理事長　石田浩幸

この10年で、大きく変わったのは７月の石川県中学校総合体育大会への参加資格が与えられる予選会の方法が変更になったことであろう。この大会は全国中学校バドミントン大会へつながるもので、中学生が最大の目標とする大会である。それが、平成12年度より大きく変わった。それまでは合併前の各郡市で行われた地区大会を勝ち抜いた団体と個人が県大会に参加できた。この方法だと郡市に中学校が１校だけの場合に予選をせずに参加できた。このため、予選への参加校数が多い郡市では、県大会への出場枠が少なくなっていた。そこで、石川県中学校体育連盟が全競技に対してこの差を解消することを目的に、加賀地区大会と能登地区大会から県大会へ参加するように指示があった。そこでバドミントン競技部は加賀地区を河北・金沢・南加賀の３ブロックに分け、能登地区をあわせた４ブロックを県大会予選とした。このことで、県大会への出場者の競技レベルも高くなり、初回戦から熱戦が繰り広げられるようになった。これが、この10年間で大きく変わったことである。また、この間に役員の顔ぶれもすべて入れ替わり、若い指導者も育ってきた。今後も活発な組織として、中学生がよりよく、いきいきと活動できるように助力していきたい。なお、本連盟バドミントン競技部、前専門委員長の故越野清昭氏の献身的な活動を忘れず、これからも活動していきたい。

（文責　石田浩幸）

◎バドミントン競技部の年間主催大会は下記の通りです。

	開催時期	大会名		開催時期	大会名
1	６月中旬	石川県中学校バドミントン大会予選会	4	８月下旬	全国中学校バドミントン大会
2	７月下旬	石川県中学校バドミントン大会	5	９月下旬	各地区新人中学校バドミントン大会
3	８月上旬	北信越中学校バドミントン大会	6	10月下旬	加賀地区・能登地区新人バドミントン大会

少　年　連　盟


会長　北山吉明

初代会長	松島桃喜男	（昭和59年～平成５年）
二代〃	谷口　明	（平成６年～平成９年）
三代〃	北山吉明	（平成10年～現在）
理事長	森田　均	

石川県バドミントン協会創立60周年おめでとうございます。

近10年誌発刊にあたり石川県少年バドミントン連盟を代表しお祝い申し上げます。

石川県少年バドミントン連盟においても設立後20数年が経過し、初代、故松島会長、故谷口会長、また、奥村理事長、松田理事長により、現在の確固たる連盟の礎が築かれました。そして、近年の少子化傾向にあっても、県内では33クラブ、950名と全国第５位の連盟登録者数を数えています。さらに、２度に渡る全国大会の開催、選手においては全国大会優勝といった、輝かしい実績を上げてまいりました。

ところで、近年は小学生のバドミントン技術が飛躍的に向上し、全国大会においては各都道府県代表選手が１回戦からしのぎを削る厳しい戦いが展開されています。このような高いレベルのなかで上位入賞を目指すことは、以前にも増して厳しい状況になっています。従って、これまで以上に、選手強化が重要な課題となってきました。

喜ぶべきことは、このような中にあって、石川県男子チームは平成18年に初の全国制覇を成し遂げたことです。これは、石川県バドミントン協会のご支援ならびに中体連、高体連、学連、社会人連盟、実業団連盟、レディース連盟のご協力に負うところが多く、ご指導の賜物と心から感謝しております。

さて、現在活躍している日本のトップレベルの選手にはジュニアクラブ出身者が多数含まれています。その中に石川県出身選手が多く存在していることは、我々の誇りであり、喜びであります。この傾向が益々拡大するよう願ってやみません。幸い、本年度より、石川県バドミントン協会主催の国体強化練習会に県内ジュニアトップ選手の参加が許され、国体選手から直接指導を受ける機会を得ました。このことは、ジュニア選手にとって大きな刺激となりました。今後も、継続的で一貫した指導体制作りにご協力いただけますよう、心からお願い申し上げます。

当連盟としては、石川県バドミントン協会の支援を礎に、中学、高校、社会人、実業団の選手として活躍できる人材の育成に力を注いでいます。その延長線上に、オリンピックでメダルを取る選手を育成することを究極の目標として掲げています。さらに、これらトップ選手の育成と併せて、県下バドミントン愛好者の増加に向け、普及活動とジュニア層の拡大に連盟一丸となって取り組んでいきたいとも考えています。何卒、皆様のご支援をいただけますよう、再度、お願い申し上げます。

最後に、石川県バドミントン協会の今後の益々の発展をお祈り申し上げますと共に、今日まで同協会発展にご尽力された皆様に敬意を表しご挨拶といたします。

第5章 加盟市町協会の活動

金沢市 バドミントン協会



会長 石丸幹夫

会　　長	石丸幹夫
理 事 長	毛利達彦

ここ10年を振り返れば、国際交流、ジュニアの育成、シニア世代に対する大会の充実があげられる。

(1) 国際交流

まず、国際交流であるが、平成12年５月に石丸会長を中心に、コペンハーゲン、ウイーンへ親善試合を目的に遠征を行った。市協会を中心に有志を募り、以後、平成14年５月にもウイーンにて親善試合を行い、平成17年12月には、同じくウイーンでのバドミントンランキングダブルストーナメントに参加したり、親善試合も行った。アジアとの交流では、平成14年８月に金沢市の姉妹都市である中国の蘇州市から中学生を招いて金沢市総合体育館で交流試合を行った。平成16年３月には市内の小中学生が、韓国の光州市、全州市へ遠征し親善試合を行った。また、平成18年８月には、金沢市青少年スポーツ日韓交流事業の一環として、バドミントン競技が行われ、松下力金沢市バドミントン協会名誉理事を団長として、金沢市内の中学生・高校生の選抜チームが全州市に遠征した。

(2) ジュニアの育成

第一に、ジュニア世代を育成するためのバドミントン教室を、平成13年から毎年１回程度開催している。当初、市内実業団チーム所属のプレーヤーを指導者としていたが、平成17年から、元中国ナショナルメンバーであり指導に定評のある、胡山喬氏を講師に招いて市内のトップクラスのジュニアに対してバドミントン教室を開催している。

(3) シニア大会の充実

第三に、シニア世代に対する大会の充実を図るため、これまで昭和63年から開催してきた金沢市会長杯ダブルス大会をオープン大会化し、男女別に30歳以上、40歳以上、50歳以上、新設の60歳以上の計８種目に増やし、平成19年２月11日に第１回金沢市シニアオープンバドミントン大会として、全国から愛好者が参加できるよう拡大した。

(4) その他、

また、平成13年４月９日には、金沢市総合体育館で、金沢市バドミントン協会創立50周年記念国際招待試合を開催した。これは、オリンピックのメダリスト級を招待し模範試合を行ったものであるが、スター選手の試合ということで多くの人が観戦しバドミントンの醍醐味を味わったことであろう。招待選手は以下の通りである。

男子ダブルス

ウィジャヤ・グナワン組（インドネシア）
シドニー五輪　金メダル

河泰権・金東文組（韓国）
シドニー五輪　銅メダル

男子シングルス

ピーター・クリステンセン（デンマーク）
シドニー五輪　第４位

舛田圭太　全日本チャンピオン

女子シングルス

カミラ・マーチン（デンマーク）
シドニー五輪　銀メダル

米倉加奈子　アジア大会　金メダル

ほかにも、高岡市との交換会では平成19年の49回大会から、小学生の部も種目に加え、50歳代から小学生まで21ダブルス、18シングルスの計39試合として規模の拡大を図り、平成20年には50回大会を迎えようとしている。また、平成15年には石丸会長が長年にわたりジュニアや家庭婦人、社会人などバドミントンの普及に対する功績により、石川県体育功労者として表彰された

現状と課題

以上、ここ10年の活動状況を振り返ってきたが、現在、愛好者や他協会との交流の一助になるようにホームページを開設し、各種大会の予定、結果、市内各クラブの紹介などを掲載している。今後もよりいっそう活用していただけるよう充実していきたい。一方、大会の運営や選手強化、ホームページの維持など活動を支える協会員の人数が少ないため、各人の負担が多いのも事実である。協会を維持していくためには、熱意をもって協力していただける人材を見つけていかなければならない。そういった人材の発掘や育成を念頭に置きながら、これからもジュニアからシニアまで幅広く、バドミントンを愛好する人々のため大会の充実を図り、また、ジュニアを中心に選手強化を行うなど、エネルギーに満ちた金沢市バドミントン協会でありたい。

白山市バドミントン協会



会長 中田吉昭

会長	中田吉昭
理事長	宮本照啓

白山市バドミントン協会の誕生

平成17年白山市バドミントン協会が発足した。その変遷をたどると、

昭和22年　第2回国体が石川県で開催され、美川小学校が公開競技の練習会場を務めた

昭和24年　松任高校2年生福住孝君（後の松任市初代会長）がバドミントンセットを持ち込む

昭和26年　石川郡バドミントン協会が発足
初代会長　福住智二氏

昭和46年　松任市誕生　石川郡から分離し松任市バドミントン協会発足
初代会長　福住　孝氏

平成3年　石川県で2回目の開催となる第46回国体で美川町がバドミントン会場を務めた

平成17年　白山市誕生　石川郡協会は54年、松任市協会は34年の歴史を閉じた

新合併特例法に基づく平成の大合併で平成17年2月1日、松任市と石川郡（野々市町を除く2町5村）が再び結集した　5月28日、設立総会を開き白山市バドミントン協会を発足し、役員を決めた。この先の平成14年、福住孝氏は松任市協会会長を辞され、後任会長に中田吉昭を選出した。初代石川郡協会会長の福住智二氏のご子息、孝氏は初代松任市協会会長として31年の長きにわたり、バドミントンに愛情を注がれた。そのご功績に深甚なる敬意を表します

国体を翔ける郷土の星

（平成10年～19年、近10年の出場選手と○内は出場回数）

成年男子	監督	星　明彦③	
	選手	星　明彦①	栄代　正男①
		石本　明男③	
成年女子	監督	羽田　義仁⑦	
	選手	松田奈緒子③	松田美希子③
		西　宏予①	鍛治祐美子④
		堀　哲子①	奥村亜紀代①
		梅津　知恵①	田井　美幸②
少年男子	選手	政谷　泰俊①	新田　晃浩②
少年女子	選手	田村　恵里①	西　宏予①
		中川　敦子①	梅津　知恵①
		鍛治祐美子②	松任　由貴①

世界に挑むトッププレーヤー

田井　美幸　インカレ複優勝3回、アジア大会、他国際大会出場

梅津　知恵　インカレ単優勝、台湾オープン単優勝、他国際大会出場

竹鼻　拓也　全日本複優勝、他国際大会出場

松田新二郎　全日本シニア複2位、世界シニアMIX2位

県民体育大会　男女アベック優勝と女子3連覇

平成18年第58回県体（七尾会場）一般の部で男子、女子とも優勝し打倒金沢を果たした。壮年の部女子も健闘し2位に入る　県体総合成績で白山市は金沢市に次ぐ2位を確保、バド協会は大きな役割を果たした　一般の部女子は第59回大会も優し、県体3連覇を達成した　余談になるが3連覇目のチームは、10人中7人が美川中→向陽高のバ

ドルートを歩んだ人が占めている。監督兼選手を務めた鍛冶加名美さん、美川中バドミントン部が未だ同好会であった昭和62年、揺れる胸のうち、バドミントン強豪校である向陽高を志望、進学した。美川中からバドミントンで向陽高を志望する第1号者となり、以降、後輩が続き、協会女子の今日がある。

全日本教職員大会で4連覇

平成14年～16年にかけ、吉田優美・堀（現、栄代）哲子組が女子複で3連覇を成し、更に翌17年、堀・奥村亜紀代組も優勝し、この大会で4連覇を達成した。

ジュニアバドミントン

ラケットを握って間もない子供たちの大会から、私たちは例えようのないほのぼのさと洗心の思いを受ける。何かも判らず、一生懸命にシャトルを追う中にも勝敗はある。うれしさがはじける笑顔、敗れてこみ上げる嗚咽、ここからバドミントンが始まり、子供たちは成長を歩む。白山市には松任、湊、美川、河内の4クラブが活動し25年を超えるクラブもあり各々歴史は古い。バドミントンの楽しさを知り、仲良く、明るく元気に成長して欲しい。北國杯の出場権を得る子供が増えてきており、大会での活躍が楽しみである。伸び代を感じさせる子供も増え、夢を、楽しみを拡げてくれる（詳細はクラブ紹介コーナーを見て下さい）。

松任中学校が創部50余年にして県内初優勝した。実力校美川中学校に絡んできて両校の更なる研鑽に期待が高まると共に、市内中学校のレベルアップにも期待を寄せたい。少子化現象とストロー現象が同時進行している。少子化について、近10年の比較データーを紹介します。

		平成10年	平成19年	減少数	
松任区9校	小学生	4,565名	4,308名	－257名	－5.6%
松任区4校	中学校	2,607名	2,100名	－507名	－19.4%
美川中学校		458名	384名	－74名	－16.2%
合計		3,065名	2,484名	－581名	－19.0%

私どもは具体的な対策を持ち合わせていないが、心に留めておく必要がある。

白山市になり小学生では全国小学生選手権で平成17、18年に星千智、吉森朱里組が連続準優勝し、今年優勝を狙う。中学生では、平成19年全中体育大会に初出場した、吉森司・星大智組が準優勝に輝いた。

白山市バドミントン協会行事

当協会はバドミントン競技の普及、発展に務めると共に市民のスポーツ振興とスポーツ精神の高揚を図ることを目的に次の事業を行っている。

市民大会	個人を募り協会がレベル混成チームを編成。閉会式も全員参加で楽しめる様に工夫
市民体育大会	個人戦。一般一部男女単複、一般2部男女単複、壮年男女複
県民体育大会	2種目優勝、女子連覇更新が目標。市民意識が高揚し、打ち上げ会も楽しみ
藤枝市親善交流	平成2年に第1回。25名程度が隔年訪問。バスで7時間の旅。前夜の懇親会は盛会
福住杯争奪大会	福住孝氏を顕彰する大会。一番楽しいバドデーを標榜。中学も参加する大会
市選手権大会	市トップを競うシングルス、ダブルス個人戦
バドミントン教室	5～8週程度の初心者教室、既存クラブの指導、県体指導者を招聘しジュニア教室

シニアバドミントン

シニアでレベル競技に挑戦している松田新二郎氏。今年65歳、10年前病に倒れ家族、関係者に心配をかけた事も忘れたかの様に全日本シニア、世界シニアに参戦、活躍し成績を残している。

60歳を超えるシニア層は当市ではまだまだ少数だが、健康、楽しみ指向でコートに向かう50歳代は増えている。シニアクラスはこれからで、未だ端緒にある。

終わりに

協会の仕事は大会運営が主体をなしているが、競技協会として選手の育成に関心を寄せると共に白山市民が期待を高める県体では、2種目優勝と一部女子の連覇更新を目指します。また、親睦、

融和を旨とし、市民が求める大会内容に工夫を重ねる共に、18回を綴る姉妹都市、藤枝市との親善交流大会を引き継ぎ、両市の絆を更に深めてゆきたいと考えています。協会は時代、世代を鑑み、交代が必要な時期に来ている。組織の有りようにも、同じことが求められている。25年を超えるジュニアクラブの活動に多大な情熱と努力を頂きました歴代の指導者の皆様に心より感謝いたします。白山市の前身となる石川群協会が発足して今年、56年を迎えました。長い歴史の中、競技力の向上と普及、振興を図られた諸先輩にお礼と感謝の気持ちをお伝えし、近10年誌の寄稿といたします。

（文責　中田　吉昭）

七尾市 バドミントン協会



会長 蔵　定伸

会　長	蔵　定伸
理事長	山口宏治

近10年の歩み

(1)　近10年の概要

七尾市バドミントン協会にとっての近10年は特筆すべきことはほとんどない、まさに停滞した10年間であったと忸怩たる思いを噛みしめながら言わざるを得ない時期であった。その間わずかに明るい材料といえば、平成12年に地元七尾市を会場にして行われた「全国スポーツ・レクリエーション大会」において、全国の並み居る強豪を制して栄えある優勝の栄冠を獲得したことくらいだろう。その他は、小・中・高校生の育成が思うようにいかなかったため、新しい勢力の台頭がなく、県体を始めとする大会等での成績も隆盛期を知る人には物足りなさを感じさせることになってしまっている。また、平成16年10月１日に七尾市、田鶴浜町、中島町、能登島町の１市３町が合併して新しい七尾市が誕生したことに伴いバドミントン協会も旧１市３町の協会が合併する大所帯になった。これにより協会の運営もこれまでとは違ったものとならざるを得ず、その方向性を求めて今後議論を深めていかなければならないと考えている。以下「競技力」「合併」についてもう少し詳しく述べてみたい。

(2)　競技力の停滞

①ジュニア、中・高校生の育成

現在当協会が主催するジュニア教室というものはないが、後述する「支部」単位では七尾支部、中島支部で実施している。かつては旧田鶴浜町で育成に大きな成果をあげた時期があったが、現在は過疎化・少子化の影響を受けて教室自体を継続することができなくなっている。いずれにしろ、近い将来「支部」組織を見直さなければならないのだから、現在「支部」単位で実施している「教室」の運営についても見直さなければならないと考えている。また、七尾市内にバドミントン部を持って活動している中学校は２校だが、ジュニアの指導が徹底している他市町に比べてスタートが遅れているためか、男女ともに全県下に名を馳せた往時の隆盛を思うと寂しさは否めない状況である。また、高等学校では、中学校の沈滞ムードがそのまま高校へ移っただけという状態で、他地域の高等学校に対抗するのがなかなか難しい状況である。その上、全国大会にも何度か出場経験のある七尾商業高校、七尾工業高校、七尾農業高校の３校が平成18年３月限りで廃校になったため七尾高校、田鶴浜高校、七尾東雲高校、鵬学園高校の４校でバドミントン部活動を行っているものの、切磋琢磨しながら競技力を向上させていくという理想からはかけ離れた現状である。

②　競技者の高年齢化

中・高校生が育ってこないため、七尾市を代表して出場する県体などの競技会には40歳以上の選手が中心にならざるを得ず、選手名簿を見ると男女とも10年前とほとんど変わっていないという現状である。先述した「スポレク大会」自体が30歳以上の男女選手による大会であり、往年の名選手が多くいる七尾市には有利な大会だったからこそ優勝できたとも言えるかも知れない。現在原栄一、村本幹夫等が全国規模の大会で活躍しているが、これも年齢別の部での活躍であり、全国規模の大会では20歳代・30歳代が出場する一般の部に活躍はおろか参加する選手もいないのは寂しい限りである。

(3) 1市3町の合併

七尾市は平成16年10月1日「かほく市」に次いで県内2番目に合併を成し遂げ、現在の「七尾市」に生まれ変わった。それに伴いバドミントン協会もそれぞれそれまで独立していた4つの協会が一つになって「七尾市バドミントン協会」としてスタートした。しかし、独自の歴史を持ち、運営方法も異なる4つの協会が一つになるということは、解決しなければならない多くの課題があり、現在も暫定的な「支部方式」で運営を続けているのが現状である。「支部方式」というのは、形式的には七尾市体育協会に加盟する団体は「七尾市バドミントン協会」ということに一本化されているが、運営は合併前の旧市町の協会がそれぞれ「支部」(七尾支部、田鶴浜支部、中島支部、能登島支部)として活動・運営を行うというものである。従ってここでは予算・組織等を含めすべての面で「七尾市バドミントン協会」から独立して運営していくというものである。これは旧市町のそれぞれ地域性・歴史に応じて自主的に運営するという利点もあるが、反面「市協会」としてのまとまりにかけるという欠点があり、地域性や歴史に配慮しながら「市協会」としてのまとまりを求めて議論を重ねて行かなければならないと考えている。

(4) 将来に向かって

七尾市バドミントン協会の現状は、上述したように楽観されるべき状況ではない。しかし、当市には年齢的に選手生活を続けることはやや難しくなってきているが、バドミントンに対する愛情はいささかも衰えず、指導者として意欲と情熱を持っている人がたくさんいる。特に田鶴浜支部、中島支部には「ジュニア教室」に意欲的に取り組み過去に実績を挙げた人たちが何人もいる。これらの人と手を取り合いながら、若年層の開拓を行い「七尾市バドミントン協会」が昔日の輝きを取り戻すことができるよう、頑張っていきたいと考えている。

小松市バドミントン協会



会長 田井友泰

会　長	田井友泰
理事長	中谷哲治

近10年の歩み

平成9年に田井会長が就任して以来、組織に大きな変更もなく、田井会長を中心に協会運営が行われている。小松市バドミントン総合選手権大会、小松市長杯団体選手権大会、中江記念杯争奪バドミントン大会(ダブルス大会)、毛利杯混合ダブルス大会(混合ダブルス大会)、小松市民体育大会(小学校区対抗団体戦)の5大会を主催し、各大会に300名を越える市民が参加している。チャンピオンスポーツとしての大会から生涯スポーツとしての大会まで協会としての目標達成にむけて開催されている。各大会とも歴史を積み重ねており小松市総合選手権大会…41回、小松市長杯団体選手権大会…29回、中江記念杯争奪大会…25回、毛利杯混合ダブルス大会…9回、小松市民体育大会…59回、今後も益々その目的に応じた特色のある大会となるよう努力していきたい。

小松市バドミントン協会の協会員は個人会員と団体会員とから成っており、個人会員はほとんどが協会役員である。団体会員は地域クラブ、同好クラブ、職場クラブ、ジュニアクラブなどであり、348名(平成18年度)が会員登録をしている。地域クラブは現在7チームが活動しており、そのいくつかは、昭和50年代に協会が地域に出向いて行ったバドミントン教室が現在に至ったクラブであり、30年以上の歴史を持つクラブもある。先輩方の努力が現在の協会の基礎となっていることに敬意を表したい。近年では地域住民というよりは、同好クラブ的なメンバー構成になりつつある。同好のクラブは4クラブあり、それぞれがチャンピオンシップを目指したクラブや生涯スポーツとしてのバドミントンを楽しむクラブであり、目的は多様である。職場クラブには、『コマツ』や『小松電子』のように創設当時から実業団連盟に加盟し、競技力の向上を目指すクラブがある一方、職場の仲間が集まってバドミントンを楽しむクラブもあ

り７クラブが加盟している。

ジュニアクラブは４チームが本協会に加盟している。小松ジュニアクラブ（指導者：徳井、堂道、桝野）、ひまわりジュニア（指導者：辻）、ラブスマッシュジュニア（指導者：中江）、国府ジュニア（指導者：田中）の活動は小松市バドミントン協会の将来を築く活動となっている。このジュニア期の活動は中体連の活動とも連携され、中学校での活動にも繋がってきた。平成10年ごろからは底辺の拡大だけでなく、競技力も向上した。通次尚美、羽生麻衣子、米谷亮子（板津中）、今井杏莉（芦城中）らが活躍し、県体、北信越大会で上位入賞を果たした。平成13年・14年には水口さゆり、南出なつき、興津由佳、南出さき（御幸中）が県体を制し、全国大会に出場、特に14年には水口・南出なペアが女子ダブルスで全国制覇を成し遂げ、団体戦でもベスト８に進出した。辻鈴子の「ひまわりジュニア」における指導の成果であった。男子選手では16年には水口裕治（南部中）が孤軍奮闘し、全国大会に出場している。現在、正式に学校での部活動となっているのは南部中・国府中の２校である。その他の学校からの参加者は、小松ジュニア、ひまわりジュニア、ラブスマッシュジュニアのいずれかに所属し、市中体連大会には市内10校中の８校から生徒が参加している。ジュニア、中体連、高体連との連携がうまく行われている他市町に遅れをとらぬ取り組みにしていきたい。競技面では平成に入って高橋光一が年齢別で行われている全国大会で数々の優勝を果たし、今日でも上位入賞の常連となっている。今後も市協会の競技力向上のため、強化部長をつとめながらも自分自身選手として努力を続けてもらいたいものである。また、市内ジュニアチームのＯＢ達も一般選手となって高橋に続いている。「金沢市に追いつけ、追い越せ」をスローガンに始まった南加賀リーグ戦において、平成18年度、男子が白山市を押さえ、久しぶりに優勝するなど若手にも活気がみなぎっている。今後の課題として、各種大会をその趣旨に沿った形で運営しながら、ジュニアの活動を中心にして、底辺の拡大、競技力の向上を目指していかなければならない。また、選手たちの中から将来の指導者を誕生させる努力も忘れてはならない。

かほく市 バドミントン協会



会長 大西押一

会　長	大西押一
理事長	杉本秀紀

沿　革

2004年３月１日、新生かほく市誕生。バドミントン協会も同時に高松町協会・七塚町協会・宇ノ気町協会を一本化し、かほく市バドミントン協会として発足し、活動を始めた。発足当初に第57回石川県民体育大会バドミントン競技がかほく市で開催され、大会運営に携わったことが、後の協会運営をスムーズに進めるよい機会であった。

協会活動として、高松ジュニア、高松レディース、七塚ジュニア、宇ノ気ジュニア、宇ノ気初心者教室、宇ノ気ビギナ、宇ノ気レディース、と高松・七塚・宇ノ気の一般があり、それぞれ今まで通り活動している。協会事業として、かほく市バドミントン選手権ダブルス大会、河北郡レディース大会、加賀地区中学校新人大会、県スポーツ少年団大会等はかほく市バドミントン協会の主管行事として運営にあたっている。市協会全般として、協会に150名が登録し、会員の活動は各種クラブ所属や実業団等々の活動に加え地域では合同練習等の活動を通じて、会員相互の親睦を深めている。

ジュニア層は合同練習、市体育大会への参加等で交流し、お互いのレベルアップに努めている。ここ数年、中学校の部活動は低迷し、北信越大会、県体など大きな大会でトップとしての活躍が聞かれないのが寂しい。これからは、中学校、高校での活躍の基礎はジュニア層の充実しかないとの思いで活動を推進していかなければならないと思っている。近年、ジュニア層の北國杯、北信越大会等への進出は、明るい材料である。今後、ジュニア層の活動をより充実させ、中学校、高校で通用する選手の育成が急務である。

最近のニュースとして、2007年度第16回県民スポーツレクリエーション祭年齢別バドミントン大会において、高松クラブが優勝し、９月22日から青森県弘前市で開催された、第20回全国大会に出場を決めた事は朗報であった。メンバーは、牧野

裕、松本伸、酒井直人、藤橋和俊、羽田憲治、浅野通直、森田啓子、酒井成美、一花望である。

かほく市のバドミントン協会も往年のごとく、「かほく」あっての……の意気込みで、今後一致団結して活動、大会運営に努めていきたい。

○ 加賀市 バドミントン協会 ○



会長 宮元 陸

会長	宮元 陸
理事長	南河武志

〔沿　革〕

現在の加賀市バドミントン協会は、平成17年10月１日に旧加賀市と旧山中町が合併したことに伴い、翌年に旧加賀市バドミントン協会と旧山中町バドミントン協会とが統合して新たな体制で発足しました。

旧加賀市協会は、昭和25年４月１日に会長、先代矢田松太郎氏、理事長堀野末男氏を理事長として設立された江沼郡バドミントン協会を前身としています。昭和34年４月１日に、前年の旧加賀市の市制施行とともに会長、矢田松太郎氏、理事長加納孝一氏を理事長として発足し、後述のような活動を行ってきました。また、山中町協会は、昭和35年、坂本博氏を会長に、発足しました。以来、旧山中町において、少年教室や婦人教室の開催を行うとともに、平成４年に企画した山中大会を継続するなど、普及と強化に取り組んできました。

平成18年４月１日、この二つの協会は統合し、会長を旧加賀市協会会長の宮元陸氏、副会長を旧山中協会長の林繁男氏とし、理事長を南河武志氏とする新体制のもと、発足いたしております。

〔特記事項〕

加賀市からは、昭和40年代に大聖寺高校の村西一、山田悌二両顧問の指導の下、数名の名プレーヤーを輩出しています。かつての日本ランカーで県の国体チームの選手や監督として活躍し、現在も金沢学院大学、金沢学院クラブの監督として活躍をしている長谷川進氏や全日本選手権で７度のシングルスチャンピオンに輝き、現在は日本バドミントン協会の選手強化本部長として活躍している銭谷欽治氏などがその代表として挙げられます。

昭和40年代後半から50年代前半にかけては県内トップクラスであった加賀市の競技力ですが、市内の中学校にバドミントン部が無いことや、強化体制が遅れたこともあり、成績が低迷していました。このため、昭和61年に新たな団体戦や社会人のナイターリーグなど大会を企画するとともに、翌年からジュニア教室を通年のクラブ化にして競技の普及と強化を図ってきました。

その中から、平成10年の小学５年生シングルス、16年の高校選抜ダブルスで優勝した浜中麻亜子や17年にインカレダブルスチャンピオンになった木村咲絵、18年の高校選抜と国体少年の部の団体優勝に貢献した木村唯菜姉妹などが育ってきました。

今後も、県協会のご協力を得ながら加賀市におけるバドミントン競技の発展に取り組んでまいりますので、よろしくご支援をいただきたいと思います。

○ 能美市 バドミントン協会 ○



会長 東方 寒児

会長	東方寒児
理事長	松田和弘

能美市バドミントン協会は平成の大合併により、平成17年２月１日に能美郡にあります根上町、寺井町、辰口町３町が合併し、能美市バドミントン協会としてスタートしました。当協会も合併に併せ根上協会、寺井協会、辰口協会が母体となり、現在、活動３年目となります。

協会としての年間活動は、能美市市民体育大会開催・県民体育大会参加・能美市選手権大会開催・ペアー大会開催・レディース大会開催・石川県高等学校根上大会を開催しております。また、県社会人リーグには男子４部・６部、女子５部に２チームが現在参戦しております。小学生を対象にしたジュニア教室も年間を通じて行い裾野を広げる活動を展開しております

本年平成19年には第59回県民体育大会のバドミントン競技を能美市にて開催し、無事終了できましたことを感謝しご配慮、ご協力をしていただき

ました皆様にこの紙面をおかりしまして御礼申し上げます。

高等学校根上大会も平成19年９月で第57回を迎え県内の高校より男子、女子併せて60校余りの参加があり、バドミントン石川の若い力を感じ、世界に羽ばたいて欲しいと思います。

（文責　松田　和彦）

輪島市 バドミントン協会



会長 東　将博

会　長	東　将博
理事長	黒田光一

輪島市は昨年門前町と合併して新しい市となりました。輪島市バドミントン協会も会員が増えて新体制でスタートした矢先、能登半島地震が起こり、会員の中にも多大な被害を受け、活動において支障をきたしている状態ですが、多くの皆様方にご支援、ご厚意を頂き、この場をお借りして、お礼申し上げます。本当に有難う御座いました。一日も早い復興を願い、一生懸命頑張って行きたいと思います。

現在、当協会の人的環境は大変厳しい時期を迎えております。過疎化が進み、少子化が追い討ちをかけ、学校での部活動の廃止で競技者人口の減少が著しい。その上、会員(愛好者)の高齢化が進み、頭を抱えています。唯一の愛好者(競技者)の増加の望みは転勤、転入の加入者です。実際、当協会においても半数近くが転勤、転入の方で成り立っている現状です。今後、この状況が続けば近い将来、外からの加入者でしか成り立たない時が来ると思われます。

どのスポーツも過疎の地域において競技者人口の確保が重要な課題です。至急愛好者(競技者)の増加に結び付く手段が求められています。前途多難ですが、今後の活動において皆様方の協力を切に願うばかりです。色々な面で、大変な時ですが、マイナスのことばかりではないと信じて努力していきたいと思います。

輪島市バドミントン協会では年二回大会を開催して来ました

春：奥能登バドミントン選手権大会(今年21回目)

秋：混合ダブルスバドミントン大会

※　昨年より参加者減少のため、混合ダブルス大会を已むを得ず中止しました。

その他に二市二郡バドミントン大会（市町村合併のため名称変更予定）や昨年度より始まった、奥能登体育大会に係ってきました。また、県社会人リーグにも参加し、今後も継続できる様、頑張って行きたいと思います

能登町 バドミントン協会



会長 赤　藤夫

会　長	赤　藤夫
理事長	中前正俊

1　新生「能登町バドミントン協会」

平成17年３月１日、能都町・柳田村・内浦町が合併して能登町が誕生しました。それと平行して能都町バドミントン協会、柳田村バドミントン協会・内浦町バドミントン協会を統合して新生「能登町バドミントン協会」が発足しました。協会長には旧能都町バドミントン協会の赤藤夫氏が就任しました。赤氏は昭和37年(1962年)に旧能都町バドミントン協会長に就任以来、鳳至郡羽球協会会長、鳳珠郡羽球協会長なども歴任され、45年もの長きに渡り、奥能登地区のバドミントン競技の普及・発展に尽くされました。謹厳実直、剛毅果断の人柄は今でも健在です

2　近10年のあゆみ

(1)　社会人リーグへの参戦

協会としての参加ではありませんが、社会人リーグへの参戦が協会の活性化に繋がっていると思います。県体だと相手チームの名前で大体勝敗がわかり、実際もほぼ予想通りの結果になります。また、奥能登の大会も同様です。しかし社会人リーグは、だいたい同じレベルのチームで戦います。県内の実力が似通ったいろいろなチームと対戦することができます。試合の内容も接戦が多いです。それだけに、そのあとの反省会で、次はもっとこうしよう、ああしよう

という話になり、盛り上がります。バドミントンの試合もさることながら、この反省会が勝っても負けても楽しい時間となっています。

(2) 女子の躍進

女子は平成16年からレディース大会に参戦しました。平成16年度はパールクラスから始まったのですが、年々クラスを上げていきました。17年度はダイヤモンドクラス、18年度はエメラルドクラスとレベルを上げていっています。それまでは、男子の後について、試合に行くという感じだったのが、今では、自分たちでエントリーして参加しています。そうやって、元気に活躍する噂を聞きつけて「バドミントンを始めたい」と入ってくる人が出てきました。また、ジュニアでやっていた者が成人して、協会員として試合に参加するようになってきました。

(3) インドネシア研修生

平成10年ごろから能登町にインドネシアから研修生が練習に来るようになりました。インドネシアの国技はバドミントンです。研修生の中には少なからずバドミントン愛好者がいました。いつのころからか、彼らとの交流が始まりました。言葉は通じなくても「バドミントン」を通して気持ちが十分通じ合いました。スポーツの素晴らしさを再認識しました。初めのころは練習だけでしたが、「じゃあ、試合にでも出てみるか」ということになり、今では男子の大きな戦力となっています。

(4) ジュニアの育成

奥能登には珍しく、能登町に２つのジュニアチームがあります。旧能都町の「能都バドミントン少年団」と旧柳田村の「奥能登クラブ」です。２つのジュニアを合わせて毎年40人ほどの小学生が練習に頑張っています。子供が練習している姿を見て、その保護者がバドミントンを始めるというケースも出てきています。中学校には部がありませんが、高校へ行ってまたバドミントンを始める子も出てきました。

(5) 練習

旧能都町、旧柳田町、旧内浦町の使用日を調整することによって、１週間ほぼ毎日練習できる環境が整っています　お近くにお寄りの際は、是非声をかけてください

練習日・練習場所

火曜日　19：30～21：30　宇出津小学校体育館
水曜日　19：30～22：00　旧柳田小学校体育館
木曜日　19：30～21：30　宇出津小学校体育館
金曜日　19：30～21：30　宇出津小学校体育館
　　19：30～21：30　内浦体育館
土曜日　19：30～22：00　柳田体育館
日曜日　20：00～22：00　旧柳田小学校体育館

主な行司、参加大会

４月　総会・レディース大会（個人戦）
５月　奥能登選手権大会
６月　練習会(近隣市町の協会と)
　　練習会後　懇親会
７月　社会人リーグ前期・奥能登体育大会
８月　県民体育大会
10月　二市一郡バドミントン大会
11月　社会人リーグ後期
１月　初打ち・その後懇親会

というわけで、奥能登は過疎化が進行していますが、能登町のバドミントン人口はこの10年間徐々に増えていっています。バドミントン王国石川において、競技レベルは、あまり高くありませんが、そのかわりアットホームな雰囲気で、バドミントンに少しでも興味のある人は大歓迎という姿勢で活動しています。練習に参加する人々の年齢層も様々です。理想のクラブチームを目指したいと考えています。　（文責　山岸　修）

○ 穴水町 バドミントン協会 ○



会長 白藤栄一

会　長	白藤栄一
理事長	新田耕司

昭和40年代の後期には10人前後で講堂（町立穴水小学校体育館）を借り趣味程度のバドミントンをしておりました。主に体力づくりと地域交流を図るために活動していたため町内大会を開催しても一般参加者に負けるようなレベルであり、少しずつ会員が減ってゆき四苦八苦の状況でした　そんな折、木倉三男先生や佐藤譲さんにご指導いただき、昭和52年に新しく建設されたＢ＆Ｇ体育館へ活動の場を移し練習に励むようになりました

また、ほぼ同時に岩車、甲、諸橋の各小学校へ出向き、活動範囲を広めてきました。昭和53年頃からは、毎週火曜日２時間余り遊び程度の練習をしていたところを、練習内容を見直すと共に協会員の増員にも力を入れ、その甲斐あり、会員数が当初を超えるようになり、他市町村へ出向いて練習試合や親睦試合も行えるように成りました。昭和56年から町内大会を復活させ、愛好者の底辺拡大及びアピールを図りました。（昭和56年第１回～昭和63年第８回大会まで盛大に開催）当時は、石川県精育園職員チームが強く、協会員はそれに負けじと猛烈な練習をするようになりました。鳳珠郡体育大会や県民体育大会にも出場できるまでに力をつけ、奥能登二市二郡大会においては、男子団体優勝（昭和58年）、個人ダブルス優勝、準優勝３回の成績を残しています。

その後は、新規会員の数が思うように増えない状況の中で、各々の都合により会員の脱会が進み、協会の運営が難しく、止む無く平成元年後半より活動を休止せざるを得ない状況を迎え、穴水町体育協会へ活動休止を申し入れました。しかし、平成２年当時のバドミントンクラブ「木曜会」（平成元年より毎週木曜日、勤労者体育館で同好会として活動しており、代表白藤栄一の下15人前後のメンバーで親睦と健康づくりを目的としていた）に同町体育協会長、七海淳さんより「協会運営を引き受けてくれないか」という要請があり、それを受け、翌年平成３年にＢ＆Ｇ体育館から勤労者体育館への活動の場を移し、今日まで運営を行ってきています。（同時に、クラブ名「木曜会」を「スクランブル」と変更し、協会と二枚看板での活動が始まる）

ただ、その頃の協会員は、経験も浅く試合に臨んでも勝てませんでした。それでも毎週木曜日（19：30～21：30まで）には12人前後の会員が集まり練習に励んでいました。その成果が現れ、平成５年より鳳珠郡体育大会及び県民体育大会への出場を果たしています。（平成18年現在、女子優勝１回、男女共に準優勝数回）また、少しずつではありますが会員数も増え（平成７年頃、25名前後）練習量を増やし技術の向上の為、これまで週１回の練習日を、２回とし火曜日（全４コート）、木曜日（２コート）に同体育館で行っています。なお地域交流や底辺拡大を図りたく、従前の「町内バドミントン大会」から「バドミントン交換会」と名称を変え、親しみやすく誰でも参加できる大会として現在では体育の日に開催しております。この大会も、すでに13回を数え、中学生以上の一般ダブルスの部を始め、親子ダブルス及び混合ダブルスの部と幅広い年齢層が参加できるような交換会となっており、今後も、この大会を続けていきたいと思っています。

他市町で開催されている、奥能登バドミントン選手権、七尾市金曜会バドミントン大会、その他近隣市町での大会に参加し、技術の向上や他協会員とのコミュニケーションを図っています。

現在でも、白藤栄一会長の下、勤労者体育館にて火、木曜日（19：30～22：00）に、練習に励んでいます。今後の課題としては、協会の発展の為、地域愛好者を増やすと共に、底辺拡大をはかり技術の向上に努めたいと思っております。

宝達志水町バドミントン協会



会長 寺倉健吉

会　長	寺倉健吉
理事長	中村貞男

県協会60周年、誠におめでとうございます。創立以来、多くの先輩が普及、発展に務められてきたことでしょう。役員及び幹部、そして事務局の方々のご苦労は並大低のものではなかったでしょう。心よりお礼申し上げると共にお祝い申し上げます。

さて、宝達志水町は平成17年、市町村合併に伴い、押水町と志雄町で二町合併致しました。一ヵ月後、協会も宝達志水町バドミントン協会を設立、永年にわたり押水協会長であった、寺倉健吉氏が総会に於いて満場一致にて当協会会長に推薦され、就任の運びとなりました。氏は若きときは選手として羽咋郡体、県体等で活躍され、同時に羽咋郡市のバドミントンの普及に40数年にも及び、ご尽力されました。今後も更に新協会の為にお力添え頂けるものと信じて居ります。

二町合併により、選手層も厚くなり各種の大会に出場する機会も増し、練習にも自然と力が入り、

実力も上がってきたと感じております。18年度は社会人リーグ後期大会に女子は三部で準優勝するなど、多くの大会に優秀な成績を残す事が出来ました。

練習は毎週二回、志雄運動公園体育センターにて、夜７時半より行っています。小学生から一般まで参加しており、時にはちょっとバドミントンをしてみたいという親子連れや、健康の為の運動にと考えられて参加される一般の方と、色々おられます。昨年は延べ人数で千人を越えることが出き、益々盛んになることと思っております。特にジュニアクラスには協会員も自分の練習はさて置き指導しています。何時か、この中より将来のインターハイ選手をと、夢みながら熱心に教えているようです。

昨年10月に、初めて第１回町民大会を開催することが出来ました。ジュニアから一般も交えて百三十人もの選手が集い、盛大な催しとなりました。今年も十月に予定しており、毎年、続けて行こうと思っています。「次こそ優勝してやる!!」と、優勝することの出来なかった子どもたちの声を聞くと、協会員も皆、次の年も大会を開くのだという想いが強く残りました。

「青少年の健全な育成はスポーツを通して」という、中野茂一町長のお言葉もあり、当協会はバドミントンでその一翼を担うことが出来れば良いと思っています。当町主催の「宝達山マラソン」も最近では全国より選手が参加するようになり、当協会も選手として、また、裏方として参加しております。協会、協会員とも、バドミントンを通して町へ貢献したいと願っております。

今後も当協会へのご指導を賜りたく、宜しくお願い申しあげます。

1　練習内容

練習日時：毎週　月曜日・木曜日
20：00～22：00
練習場所：志雄運動公園体育センター
練習回数：延べ96回
参加人員：延べ1152人

2　大会出場（平成18年度）

- 社会人リーグ前期大会　７月９日(日)
  ８人出場　美川町　３戦３勝
- 県民体育大会　８月６日(土)
  16名出場　七尾市　一般男女一回戦
- 全国教職員大会　８月８日(火)
  ２名出場　京都市　男子複３位
- 澁谷杯混合複大会　10月９日(祝)
  ４名出場　金沢市
- 羽咋市大会　10月22日(日)
  ９名出場　羽咋市　男女複　優勝
  男子単　２位
  混合複　２位
- 海王丸カップ　10月29日(日)
  ５名出場　射水市　男女複　２位
- 社会人リーグ後期大会　11月５日(日)
  ８名出場　美川町　３部準優勝
- 石川県個人総合選手権　12月17日(日)
  ２名出場　金沢市　男子複　１・２位
  男子単　３位
- トヨペット杯　１月21日(日)
  ２名出場　金沢市
- 金沢シニアオープン　２月12日(祝)
  ５名出場　金沢市
- 姫野杯大会　３月18日(日)
  ４名出場　新湊市

津幡町バドミントン協会



会長 森田　均

会　長	森田　均
理事長	酒勾良夫

石川県バドミントン協会が50周年を迎えた翌年より、現在の森田会長、酒勾理事長の体制となり石川県民体育大会担当、社会人連盟、ジュニア連盟、レディース連盟と組織強化に努めています。津幡町バドミントン協会登録人員も80数名となり、小学生から社会人までの一貫した育成に取り組んでいきたいと考えています。

石川県民体育大会において新たな枠組みでの大会でも一般男子３位（１回）、壮年男子３位（２回）一般女子３位（１回）、壮年女子３位（１回）と市町対抗となっても上位へ進出するなど、小さな町でありますが成果を上げています。

ジュニア連盟では津幡ジュニアバドミントンク

ラブを設立して17年、特に目立った入賞戦歴は無いものの津幡町内10校の小学生が集まるなど、学校間を超えたクラブとなっています。近年はクラブ員70名を超え、各学年10数名の選手が中学校のバドミントン部に入部するなど確実に愛好者を拡大するとともに、将来に向けた組織づくりを実施しております。また、ジュニアコーチもレディース連盟協力の下、元インターハイ出場経験者、元国体選手、石川県民体育大会選手等が加わり小学生のみならず中学生指導に携わるなど協会と一体となった普及・強化に努めています。

社会人連盟においては男子２チーム、女子３チームが石川県社会人リーグに参加するなど愛好者も増え、週３回の練習に汗を流し、楽しくバドミントンをしております。今後は社会人リーグにおいても好成績を期待したいと思います。

レディース連盟においては20数名の愛好者で週２回の練習に汗を流しており、なかでも平成18年全日本レディースバドミントン選手権大会（クラブ対抗）に石川県代表、津幡クラブとして出場し石川県初の団体３位の成績を収めました。また、全日本レディースバドミントン選手権大会（個人戦）前田・奥本組が個人３位にはいるなど活発に活動しております。

最後に石川県バドミントン協会創立60周年記念誌発刊にあたりご尽力いただきました皆様方に感謝申し上げるとともに、記念誌発刊を機に、石川県バドミントン協会並びに各連盟が発展し、全国大会等において、素晴らしい成績を収めることができますようお祈り申し上げます。

内灘町バドミントン協会



会長 舩本長一郎

会　長	舩本長一郎
理事長	香林明彦

〔組　織〕

当協会は高校生以上の一般会員と中学生の学生会員で構成され、下部組織としてジュニアがある。

〔沿　革〕

当協会は1963年（昭和38年）に、内灘町体育協会と同時に発足した。しかし、当町のバドミントン競技の歴史は古く、昭和24年に内灘町立西荒屋小中学校の教職員が始めた頃にさかのぼる。当時の教職員であった山田博河北郡バドミントン協会長は「当時の校長が、体育館の天井が低いのでバドミントンをしてはどうか、という事で始めた」と話していた。その後、当協会が発足する際、前崎隆夫が初代協会長に、北光男が理事長に就任した。理事長はその後、若林賢英・荒木達行・川崎正一・南歳幸・元林芳枝・香林明彦の各氏が就任し、それぞれ当協会の発展と競技の向上に尽力した。

〔活　動〕

協会の活動は大別して次の６点が挙げられる。

(1) 郡市大会及び県大会の強化練習と出場
(2) 県協会主催の各大会の出場
(3) 内灘町総合体育大会の運営及び出場
(4) レディースバドミントン大会の運営及び出場
(5) 内灘中学校及び内灘ジュニアの指導と大会引率
(6) プラッツ内灘の行事に積極的に参加

練習は毎週水曜日、土曜日の午後８時より10時まで内灘中学校体育館で行っている。ジュニアの指導は毎週月曜日、水曜日、土曜日の午後６時30分より８時まで内灘町総合体育館及び内灘中学校の体育館で行っている。

総合体育館に於いては技術に応じたクラス別で一般初心者部門、経験者部門に分かれ、150名以上の参加で楽しい試合あり、勝負を意識した試合ありと毎回盛況のうちに終わっている。現在は毎回楽しい練習を行っている。年に一度はレクリエーション大会等をして親睦を深めている。

〔各種大会成績〕

平成18年度第24回全国レディース大会に於いて津幡チームと内灘チームと合同で、石川県で初めてクラブチーム部門で３位入賞という好成績を挙げる。

◎県民体育大会の近10年間の上位入賞した成績のみを記す

男子	第51回、54回、56回	第３位入賞
女子	第56回	第２位入賞
	第52回、59回（一般の部）	第３位入賞

◎社会人リーグの結果は大会記録を参照

〔現状と課題〕

技術の向上を目指し、高校生及び一般の生涯スポーツとしてのバドミントン競技人口拡大を図ることが、必要であるが、県大会が土曜日の開催となると毎年選手集めにかなり苦労している。協会員数は約50名で、若い人も誘いながら選手の層を厚くしていかなければならない。

野々市町バドミントン協会



会長 橋爪 晃

会　長	橋　爪	晃
理事長	林	実

野々市町バドミントン協会の創立は昭和55年(1980)で今年27周年になりますが、その33年も前に県協会が設立されていた訳ですから、その先達性には敬服の他ありません。

野々市町体育協会の設立は昭和33年(1980)ですが、体協の記録によれば、バドミントン協会設立以前の昭和54年7月に第一回町民親睦バドミントン大会が開催されており、バドミントン愛好者の輪が急激に広がって、サークルやクラブの活動が活発になり、組織的活動の必要性や機運が高まりつつあったことが伺えます。そして翌55年それらを背景として、野々市町バドミントン協会が設立され同時に体協に加盟、以来今日まで石川県体育大会、石川郡体育大会に連続して参加しております。先の平成の大合併により、石川郡として残ったのが野々市町だけになったため、石川郡体育大会や石川郡選手権大会など郡内の大会は、消滅したのは仕方がないとしても、それに代わる大会などを開催するエネルギーが発生しなかったのは大変残念なことです。平成13年(2001)に我協会は創立20周年を迎えました。記念式典や記念大会の開催、そして記念誌「21世紀への飛躍」の刊行などが記憶に新しいことです。

当協会の合言葉は、

＊友愛の輪を広げよう

＊健全な心身の育成をはかろう

＊活気みなぎる明るい町づくりに寄与しよう

であります。さらに協会の方針として(1)チャンピオンスポーツとして「レベルアップと競技技術の向上」(2)一人でも多くの愛好者を増やそう「底辺拡大」(3)生涯スポーツとして「誰でも気軽に出来る」をスローガンに掲げて活動しています。

これらのことを念頭において毎年下記のような大会を開催しております。

4月　野々市町レディースバドミントン大会
5月　ファミリーバドミントンフェスティバル
6月　野々市町さわやかスポーツフェスティバル・バドミントン競技
9月　NBA会長杯バドミントン大会
1月　ジュニアバドミントン大会
　　親子バドミントン大会
　　親睦バドミントン大会
2月　野々市町バドミントン選手権大会

今後とも石川県バドミントン協会と共に発展を重ねて行きたいと願ってやみません。

第6章 少年連盟ジュニアクラブ活動紹介

①代表者名　②練習場所　③練習日・時間　④指導者

能都バドミントン少年団

①山岸　修
②能登町能都体育館
③毎週　火／17：00～19：00
　　土／ 9：00～11：30
④山岸　修、中前正俊、笹野裕幸、四家　裕



皆さんこんにちは！能都バドミントン少年団です。石川県最北のジュニアチームです。奥能登は少子化が進んでいるにもかかわらず、ここ3年間（平成17年度～19年度）は団員が約30名います。石川県はレベルが高いのでなかなか試合に勝つことはできませんが、子供たちが少しでもバドミントンの楽しさを感じてくれればと思い指導しています。早いもので、指導し始めてから、20年がたちました、ここまで続けてこられたのも家族や保護者の方々、そして、一生懸命練習する子供たちのお陰だと思っています。そろそろ後継者が現れてくれないかなと思っていますが、まだまだ先になるようです。それまでは、何とか頑張りたいと思います。

相馬ジュニアバドミントンクラブ

①垣内俊広
②七尾市相馬公民館体育館
③毎週　火・土／17：30～19：30
　　日　／ 9：00～12：00
④山口大輔、山元かおり、平野貢



相馬クラブは、現在小学3年生から6年生の13人で週3回みんな仲良く練習をしています。練習内容は、バドミントンを楽しんでもらうことから始めます。シャトルを打つ、コートを走り回る楽しさを分かってもらえればいいなと思います。相馬クラブの子供たちはすごく元気で、元気なら他のクラブに負けないものをもっています。こんな子供たちの姿を見ているとたまに元気をもらい自分も頑張ろうという気持ちにさせられます。私は子供たちを教えて間もなく、いろいろと戸惑うこともありますが、今は子供たちと遊びながら学んで、一緒に成長しています。最後に、私は子供たちに「バドミントンをしてよかった」と思ってもらえるように頑張っていきたいと思います。

中能登町バドミントンクラブかしま

①梅澤　博
②中能登町鹿島体育センター体育館
③毎週　水／19：00～21：00
　　日　8：30～10～30
④梅澤　博、井上大介、小橋昌美、山口博章、山口智恵、田中栄一

中能登町バドミントンクラブかしまは、中学生を含め43人のクラブ員がいます。今年は、初心者

の子どもたちが多く入ってきたので、ラケットの持ち方や素振りなどと教えることが沢山あり、また、ノックをする人手が足りなくて大変困っているのが現状です。今は、どちらかというと初心者の子どもたちに時間を取られて強くなる要素を持った子どもたちには指導もあまりできず、ややかわいそうなくらいですが、中学生のクラブ員が指導者に代わってよく面倒を見てくれているので非常に助かっています。今は、バドミントンの技術もさることながら、挨拶がしっかり出来るように指導をしています。日中は「おはようございます」「こんにちは」、夜間は「こんばんは」「さようなら」、



練習中は「お願いします」「ありがとうございました」など、恥ずかしがらずに素直に言えるようにさせています。今後は、バドミントンが楽しくて仕方がないと思ってもらえるような指導をしていきたいと指導者一同、日夜、励んでいきたいと思います。

鳥屋バドミントン教室

①打越　稔
②鳥屋中学校体育館
③毎週　日／７：30～9：30
　　水／19：00～21：00
④曽山正康、坂井真吉、鳥毛秀俊、打越　稔

石川県バドミントン協会が創立60周年の節目を迎えられましたこと誠におめでとうございます。さて当教室は、技術向上はもとより自らすすんで挨拶が出来る子の育成をモットーに、日々練習しています。昨年までは拠点校である鳥屋小学校の児童だけでしたが、今年は隣接する鹿西小学校からも３名の加入があり、これまでにない新しい雰囲気で頑張っています。まだまだ力不足の教室で



すが、雰囲気を大切に、これまで以上に技術の向上に取り組んでいきたいと思っています。協会におかれましては、これからの更なる発展をご祈念申し上げます。

中島ジュニアバドミントンクラブ

①澤　昭夫
②七尾市立中島体育館
③毎週　火・木・土／19：30～21：00
④吉野　勇、山本正秋、福原陽一

中島ジュニアバドミントンクラブは、現在小・中学生38名で週３回練習を行っています。指導者も保護者も仕事を終えての練習なので、本当にご苦労様だと思っています。また、この子供たちも大人になって、次の指導者となって続けていけたら



と願っています。これからもみんなで協力しながら頑張っていきたいと思います。

奥能登ジュニアバドミントンクラブ

①干場和規
②旧柳田小体育館・柳田体育館
③毎週　水／19：30～21：00
　　土／19：30～20：30
　　日／18：00～19：30
④干場和規、四家　裕



協会60周年おめでとうございます。チームカラーは赤！最後の一本まであきらめずねばる、奥能登からの挑戦者を目指します。

能登島ジュニアバドミントンクラブ

①内山敏明
②能登島生涯学習センター
③毎週　火・木・土／18：00～20：00
④宮下祐輔ほか



能登島バドミントンクラブは、同学年で団体戦に出場できないような少人数クラブですが、少人数ならではのアットホームな雰囲気で練習を行っています。子どもたちにとっては祖父のような年齢の私ですが、まだまだ子どもたちには負けまいと、一緒にプレーを楽しんでおります。時には厳しく時には孫をかわいがるじいちゃんのように、技術向上はもちろんですが、“楽しく”をモットーに日々練習に励んでおります。近年は大会でも入賞できるようになり、もっとうまく、もっと強くなってほしいという欲もでてきましたが、子どもたちにはもっとバドミントンを好きになってもらいたく、いつまでもバドミントンを続けていってほしいなと願っております。これからもコーチ陣、保護者と共に生涯現役で頑張っていきたいと思っています。

羽咋ジュニアバドミントンクラブ

①西山　徹
②羽咋体育館
③毎週　火／19：30～21：30
　　土／18：00～20：00
④高田　尚、上野洋平、敞田洋介



「ジュニアを設立したいんだけど」という私のわがままでなかば強引に現在の指導者を巻き込んで2003年９月に設立しました。クラブ員数は男子３名、女子６名で始め、現在は男子12名、女子24名で元気に活動しています。人数が少ない時は指導者だけで目が届いたのですが、多くなるにつれて手不足になり、父母の皆さんに手伝っていただきとても助かっています。また、指導者も刻一刻進化するバドミントンに対応できるようスキルアップに努めています。「バドミントンは疲れるけど楽しい」と言う子が今以上に増えて、精一杯プレーしてくれればと思っています。石川県バドミントン協会創立60周年おめでとうございます。

高松ジュニアバドミントン教室

①島崎哲二
②高松中学校第一体育館
③毎週　火・金・土／19：30～21：00
④松本　伸、金井健児、酒井直人、折戸勝宏、浅野通直、三国広美、一木千代乃



石川県バドミントン協会60周年おめでとうございます。高松ジュニアは、バドミントン人口の底辺拡大を願い、20年前に発足しました。現在、生徒は小学１年生～６年生まで41名です。練習は体操、柔軟、ランニング、縄跳び、フットワーク、基礎打ち、ゲームと行います。「大きな声で返事や挨拶をする」「何事にも一生懸命取り組む」という事を常に言っております。親睦と言う点では、月２回親子でバドミントンを行う日を設けたり、年１回指導者、保護者、生徒でバーベキュー大会も行っています。子どもたちがバドミントンを通して明るく！楽しく！仲間作り、体力作りをし、中学―高校と続けていってくれたら、指導者として非常に嬉しく思います。子どもの数が減少していく中、いかにしてバドミントン教室に入ってもらうかが、今後の課題でもあります。

七塚ジュニアバドミントンクラブ

①紺谷武敏
②河北台健民体育館
③毎週　木・土／19：30～21：30
④西島美奈子、酒井　洋



石川県バドミントン協会創立60周年を心よりお祝い申し上げます。七塚ジュニアバドミントンクラブは1983年創立より24年にわたって、地域の子どもたちと共に活動をしております。クラブ員数も年々増加し、今年度は男子15名、女子30名、中学生10名が週２日、木曜日と土曜日に10コートという恵まれた環境の中、伸び伸びと楽しく練習しています。昨年度は県大会での活躍や全国大会出場など選手、指導者共に素晴らしい経験をさせていただきました。中学校では女子部が少子化の影響で平成４年にやむなく廃部となりましたが、中学校のご理解、ご協力のもと、総合型地域スポーツクラブパルに所属しながら、毎日活動させていただいています。今後も学校、地域、保護者、指導者が力を合わせて、子どもたちの将来を長い目で見守り、ジュニア育成に努力していきたいと思います。これからもご指導よろしくお願いいたします。

津幡ジュニアバドミントンクラブ

①水上　智
②津幡中学校体育館
③毎週　木・土　19：00～20：30
④水上　智、西村牧世、酒勾良夫、奥本正博、安川直人、前田美和子

津幡ジュニアバドミントンクラブは平成２年に津幡町バドミントン協会のバックアップのもと片山　美、森田均を中心に設立され、今年で18年目

となりました。児童数は最高80名を超えた年もあり、活気のあるクラブへと成長しました。現在小学２年生から６年生まで男子14名、女子48名、計62名の児童が将来のチャンピオンを目指し、社会人、レディース、保護者会の協力の下厳しく、楽しく練習しています。練習量は、週２回、１時間30分と少なく他のクラブに劣っていますが、多くの指導者、協力団体が少ない練習量をカバーしてくれます。また、月１回行われる河北郡市の合同強化練習は他のクラブとの交流とともに、レベルアップに繋がっています。指導者としては、バドミントン人口の拡大普及を図り、様々な年代のプレーヤーと触れ合い交流することで、中学、高校への足がかりとして、また、生涯スポーツの一つとなること、そしてこの中からチャンピオンが生まれることを願い指導しています。



内灘町ジュニアバドミントン教室

①宮本博隆
②内灘町体育館・内灘中学校体育館
③毎週　月・水・土／18：30～20：00
④香林明彦、大久保博史、桶谷雅代、
　堂谷内まき子

練習日は毎週月曜日・水曜日・土曜日の週３回で、18時半から20時の１時間半、内灘町体育館で活動を行っております。少子化の波はジュニアスポーツ界にも押し寄せ、数が減った事に加え、スポーツをしない小学生が増えているように思えます。その中でバドミントンに励んでいる内灘ジュニアは、22名で活動を行っております。我々指導者はバドミントンの基本を教えながら、スポーツをする者として、使用する体育館の管理人さんに対しての挨拶及び練習終了後の掃除をしっかりと行い、次の人が気持ちよくスポーツが出来るように指導をしております。特に挨拶は声を出す事が大切であり、うるさくなるほど言っております。



中学生になってもしっかりと挨拶が出来るようにと、また、声が小さいのも試合に負ける原因になりますので、子どもたちには毎日のように言っております。年間行事としまして試合は10回、合宿、長距離継走の3.5キロマラソンへの積極的参加などで、子どもたちの体力の向上を図っております。大会の成績の方も徐々に入賞するメンバーも増えてきており、指導者一同喜んでおります。今後も内灘のバドミントン人口が増えていくように取り組んで参ります。

宇ノ気ジュニアバドミントンクラブ

①中嶋千尋
②宇ノ気小学校体育館
③毎週　月・水・金・土／19：00～20：30
④中嶋千尋、吉田和弘、北　義治、岡島浩一、
　富沢範幸

昭和23年、石川県バドミントン協会が設立された頃、かほく市宇ノ気地区（旧宇ノ気町）では、ジュニア教室や中学の部活動といった活動ではなかったようですが、数人の学童を集めてクラブ的にバドミントンを楽しんでいたそうです。金津地区でのバドミントン教室を皮切りに現在の宇ノ気ジュニアが活動するまで60年の歴史があり、まさに石川県バドミントン協会が歩んできた60年は、

当宇ノ気ジュニアの歴史でもあるわけです。現在、会員数は約50名（ここ10年ぐらい毎年平均50名ぐらいです）スポーツ少年団としても活動し、会員の心身の健全なる育成に努める一方、最近では技術力の向上にも力を入れてきており、大会にも少しずつ勝てるようになってきました。強い精神力と礼儀正しく社会性を養い、思いやりのある子になる事、そして、何より大切なのは、バドミントン大好き人間になってくれる事をいつも願っています。勝つ事に、こだわりすぎて大切な事を忘れないよう注意したいものです。今後も、バドミントン大好き人間の素晴らしいコーチ達と仲良く、楽しみながら、仲間意識が持てる事を誇りに思い、



指導してゆきたいと思っております。いつの日か巣立った生徒が、指導者となって、また舞い戻ってくる事も信じて……。

大浦ジュニアバドミントンクラブ

①鈴木典之
②大浦小学校体育館
③毎週　月／19：10～21：00

大浦ジュニアバドミントンクラブは大浦公民館が主体となって始まったクラブです。現在でも公民館が4年生から6年生の生徒を募集し、希望者をクラブが受け入れています。そのため部員は全員大浦小学校の生徒で練習も子どもたちが普段使っている小学校の体育館で行っています。練習日は月曜日だけですが、試合が近づくと練習日を増やす事もあります。このように練習時間の少ない中ですが、バドミントンの楽しさを教えることが出来たら嬉しいと思い指導に汗を流しています。



私も代表を務め始めてから日も浅く、指導の仕方さえ手探り状態なのですが、前代表から引き継いで2年目の、このような60周年となる大きな節目の時に代表である事を大変嬉しく思います。これからも指導を頑張り、バドミントンの楽しさを教えることが出来るよう努力したいと思います。

J. Cats

①竹田　裕
②明成小学校体育館
③毎週　月・火・金・土／17：00～19：30
（曜日によって異なります）
④竹田　裕、竹田京子、荒木美智代、
瓢友クラブ員

私たち「J.Cats」は変わった名前と思われるかもしれませんが、実は「J」はJump（ジャンプ）・Junior（ジュニア）・Japan（ジャパン）の頭文字をとり、また「Cats」（ねこ）はすばしっこい、ジャンプ力のある動物なので、飛躍の意味を込めてつ



けたチーム名なんです。私たちは小学２年生から中学生まで計32名、年齢も実力も違う子どもたちがバドミントンを通じて「体力の向上」「仲間と協力し、互いに思いやる心を育てる」「一生懸命努力を続ける」事を学んでいます。わが「J.Cats」でバドミントンをすると、汗を流してすっきりし、体を動かして楽しくなり、ゲーム性のある試合をしておもしろくなり、試合に勝って嬉しくなります。また、違う学年、学校の子どもと仲良くなり、学校の友達とは一味違った仲の良い親友も作れます。県外遠征や試合もあり、お泊りも出来て楽しいです。そして、最後にこの子どもたちが中学、高校、大学、社会人、おじいちゃん、おばちゃんになってもバドミントンを続けてくれる事を私は強く望みます。

医王山ジュニアバドミントンクラブ

①中島敏博
②医王山小・中学校体育館
③毎週　土／19：00～21：00
④保護者当番制で２名



石川県バドミントン協会創立60周年おめでとうございます。医王山ジュニアバドミントンクラブは、公民館活動の一環として、活動開始から約30年経過しました。活動期間は４月から３月までの１年間を区切りとして、対象は小学３年生から６年生までの20人前後です。練習は始め30分間体操し、15分間のトレーニング後にフットワークを行います。それから、初心者、中級者、上級者の３グループに分けて、初心者はラケットの握り方から振り方等を指導して一球一球ノックしながらバドミントンの楽しさを指導しています。中級者／上級者は基本打ち後に試合形式でのノックと試合を行います。医王山は土地柄、バドミントンの歴史は古いのですが、中学校からの開始では遅いとのことで、公民館の援助を受けてジュニアクラブが結成されました。現在は生徒自体が減少傾向で当初５・６年生対象でしたが、その対象範囲を拡大しています。今後も生徒の減少は気になりますが、バドミントンを楽しく好きになるように指導していきたいと思います。

東淺川スポーツクラブ

①荒井美江
②東淺川小学校体育館
③毎週　火・金／19：00～21：30
④コーチ３名、部員数13名



私たちは、浅野川・ゆず街道・果樹園・田畑などの大自然に囲まれています。この伸び伸びとした環境の中、バドミントンを楽しくやることにより、友達との交流を含め、信頼感や助け合いの優しい心を育て、試合を通して、強い精神力・思考力を高めることを目的に活動しています。子どもたちの各自の目標は、県大会上位入賞を目標とする子・市の大会でベスト８入りを目標とする子・親子大会を楽しみにしている子など様々です。練習では、私は名ばかりの監督なのでノックを中心に行い、試合形式では、保護者や地域の方、中学生や高校生に協力してもらっています。その他、レクリエーションとして、グランドゴルフやボウリング、クリスマス会など、バドミントン以外の楽しい行事もあります。バドミントンが子供たちにとって小学生時代の良い思い出になるよう、そして、中学校生活に少しでも役に立てばと思っています。

崎浦ジュニアバドミントンクラブ

①片糸邦之
②南小立小学校体育館
③毎週　火・金／18：00～21：00
　　土　／12：00～15：00
④片糸邦之、北川茂樹、東　一房、武内節子、他３名

崎浦ジュニアバドミントンクラブは平成19年６月現在、選手33名、監督・コーチ６名で活動しています。監督として、普段の練習は明るく、楽しく！を心がけています。しかし、まだ幼い小学１年生から口やかましい高学年を練習に専念させるのは容易ではなく、檄（つば？）を飛ばして指導することもしばしばです。そんな監督をなだめ補強してくれるコーチ陣は……いつも優しいヘッド



コーチを始め、父兄や父兄OB、最近ではジュニア出身の若い力もコーチに加わり心強い限りです。また、父兄の団結も頼もしく、お楽しみ行事では子供も大人もハメを外し、宴の翌日には結束がより強化されています。たまには清く正しく美しく犀川・辰巳用水周辺の清掃ボランティアも行っています。こんな崎浦ジュニアは全国大会出場を目指し、これからも明るくまじめに練習を積み重ねていきます。

金沢ジュニアバドミントンクラブ

①南　俊春
②石川県体育館
③ほぼ毎日／17：00～20：30
④卯辰外喜男、舛田吉光、神田浩之、谷野啓吾

石川県バドミントン協会創立60周年、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。石川国体を控えた昭和59年、生意気にも県内バドミントンの競技レベルの危機を感じ、当時全国的にバドミントン界において旋風を巻き起こしていた「熊本方式」を参考に、社会体育として小学生からの早期取り組みと小中一環指導の方式を手探り状態で始めた。「石川のバドミントンを支えるのは、子どもたちであり、ジュニアだ！」をモットーに、全国レベルの選手育成を目指して活動を続けてきた。気をつけてきたことは、狙いは強化であ



りながら、子どもたちが楽しく、長く続ける事であった。その甲斐があってか、全国中学校大会での優勝こそはないが、インターハイでは５人の優勝者、おまけにオリンピック選手まで……。これまで取り組んできた中で、本気になって取り組んできた子供たちの能力の高さと可能性には驚かされる。ともすれば、目先の功名主義にとらわれ子どもに無理を強いがちになるが、クラブの自主性を大切に「黒子」に徹した県少年連盟、奥村初代理事長の存在の大きさを今つくづく思う。

中央ジュニアバドミントンクラブ

①武田恵子
②中央小学校体育館
③毎週　火・金・土・日　18：00～20：00
④武田恵子、古川政美、堀　博雄

昭和59年日本体育協会の補助金の基「長土塀プレ・スポーツ教室」として発足、基本的運動が主体で小学生低学年を対象に体力向上と共にスポーツ精神を養う目的で始めました。子供たちが高学

年になった、昭和62年に四校統合により、中央小学校が誕生し、教室もバレーボールとバドミントンの部に別れバドミントンはクラブ名も「中央ジュニアバドミントンクラブ」に改め、低学年・高学年・(後に中学生)と学年を問わず入部するようになりました。クラブとしても体力強化・技術向上を目指し夏の合宿や県外遠征等、子どもたち・指導者・保護者と一丸となって各大会の上位を目指し努力したお陰で少しずつ入賞する子供たちも出てきました。また、年間行事としてレクリエーション・クリスマス会・卒業生を送る親子バドミントン大会など行い、練習時の顔とは別の楽しい親子の会話・笑顔などを見ていると、とても新鮮



に見えます。これらをお世話くださる保護者会の皆様また地域の方々の協力のお陰と感謝しています。さて、今年度は小学生ABC大会・全国小学生大会・中学生は全国中学生大会を目標に練習に励んで行きたいと思います。

中村町わかばとスポーツ少年団バドミントン部

①高崎興一
②中村町小学校体育館
③毎週　土・日・祝日／9:00～12:00
④元　英雄、笠間俊一

中村町わかばとバドミントンクラブでは、今期で創部20年を迎え、卒団生も110人を超えました。わかばとではバドミントンを通じて、団員同志の協調、体力向上、心身すこやかな育成をモットーにし、また、あいさつ、礼儀、他人を思いやる心を常に忘れる事のないよう日々努めております。基本的には、中村町校下各種行事に参加する事を建前として、ユニセフ募金活動、クリーンキャンペーン等にも参加しております。練習は厳しく、つらい内容ですが、子どもたちには、楽しく笑顔



の絶えないクラブでありたいと考えております。今年度開催された㈱北國銀行杯ファミリー大会では準優勝と3位になり、創部初の快挙をあげる事が出来ました。今後もバドミントンクラブを通し、中村町校下の子供たちの健全育成に貢献できますよう、基本を忘れず活動を続けてゆきたいと思っております。

新神田ジュニアバドミントンクラブ

①瀬戸正昭
②高岡中学校体育館
③毎週　日／17:00～19:00
④瀬戸正昭、中村勇二、崎田健一、干場外志、長谷川純、長谷川幸子、崎田裕子、島崎愛純、瀬戸厚子、瀬戸房子

私たち新神田ジュニアバドミントンクラブも今年で満20年を迎える運びとなりました。子供たち



の能力・個性をしっかり確かめ、ジュニアの育成

にあたっています。一期生もコーチとして頑張っています。新神田ジュニアのスローガンは、“一本集中”です。試合に集中して臨み、一本の大切さを忘れずにを合言葉に頑張っています。小学生と中学生、指導者が一つのチームとして一丸となって練習に取り組んでいます。試合に向けて、特訓中！明るく・楽しく時には厳しく、元気いっぱいのジュニア達に負けないように指導者も頑張ります。現在、バドミントンを始めたいジュニアを募集中です。みんなで楽しく頑張りましょう！

大徳ジュニアバドミントンクラブ

①石田　健
②金沢市営城西体育館
③毎週　月・水・土・日／17：00～19：00
④松居かおり、石田芳江、伊東ひとみ



石川県バドミントン協会創立60周年、誠におめでとうございます。併せて各バドミントン協会の役員の方々、平素、各種大会等を開催され、私たち一同感謝しております。大徳ジュニアバドミントンクラブも私が立ち上げてから18年、私(石田)の代から私の次女（松居かおり）の代に移行し、もう５年ぐらいになると思います。その間、大勢の小学生を指導してまいりました。私のクラブでは、不思議として、石川県内で５本の指に入るような選手を育ててまいりました。練習方法としては、練習する前に、15分程度体育館内を走り、ストレッチをし、その後基本打ちを30分（特にヘアピンに力を入れる）します。その後、競技練習を実施しています。試合後は負けた選手は歯痒いのか、半泣きで悔しがる様子が見受けられます。これの積み重ねが、本番で何がなんでも勝つという根性を育てていると思います。小学卒業と同時にバドミントンクラブを引退してもらいます。この子どもたちが中学校入学するも、バドミントン部がないため、他のクラブに入部してしまいます。長年バドミントンを頑張ってきた選手が卓球部、バスケット部に入部、バドミントンを断念、その子の中に、バドセンス抜群、有望視されている選手が多数います。私にとっては、極めて残念でなりません。中学生も小学生同様に面倒を見ると言っても練習場のコート数が少ないため、小中学生同時に指導する事は出来ません。なお、中学校の体育館はコート６面とれることから、付近の中学校に使用できるかどうか聞いてみたところ、学校側いわく「18時以降の体育館使用については公民館に任せている」とのこと、公民館に体育館を貸してもらえるかどうかを尋ねてみると、一般の方々でいっぱいで、空いていないとのことで、小中学生同時の指導はあきらめました。何といってもかわいそうなのは、中体連主催の全中大会予選に出場するときは、その学校にバドクラブがある場合は別として、ない場合は、その学校の校長印が必要であります。校長いわく「昨年は男子に押印したから、今年は女子に押印するか」という調子で、その印の重みを軽視しているように見受けられます。出場したい子どもは、トレーニング、練習もし、中体連の全国大会予選に出場し、良い成績をあげて高等学校に行こうと思っているのに予選に出れない。本当に残念、無念だと思います。私たちがいくら頑張って指導しても中学校がこのような体制であれば、私たちは真剣に指導することができないと思います。バド協会の皆さん！ジュニアクラブと単に思っていられますが、中学校が子どもの技術進歩を阻害しているように思われます。60周年記念にこのようなことを申し上げ申し訳ありません。

おしのジュニアバドミントンクラブ

①幸田正吉
②③毎週　月／西南部中学校 19：00～21：00
　　水／押野小学校　18：00～19：30
　　土／押野小学校　17：00～19：30
④山森裕志、村上拓郎、一部卒業生



平成４年４月に発足し、バドミントンを通じて、ルールを理解し相互の親睦と各自の体力、基礎技術の習得並びにマナーの向上を目的としながら、地域の方々や保護者の協力も得て現在に至っています。年２回の合宿練習会も定着し、部員数も毎年30名前後で練習しています。これからも、バドミントンを通してこのクラブの活動が目的の育む場として利用されることを願い「指導されて良かった」と言われるクラブにしていきたいと思います。

OKジュニアバドミントンクラブ

①桶谷千鶴子
②額小学校体育館
③毎週　水／17：00～19：00
　　土／16：00～19：00
　　日／19：00～21：00
④桶谷千鶴子、長谷川理一、坂東陽月、
　水上紘宇



早いもので平成９年 OK ジュニアクラブを結成して10年目になります。金沢市のジュニアバドミントン教室を指導し、終了した時点で続けさせてやりたいと思い発足いたしました。結成して１、２年は出場するのみであった部員や保護者の方々から勝ちたいという要望が出て、週１回であった練習も、週３回定期的に行っています。その他中学生と一緒に練習している部員もいます。団体戦に関しては、平成14年に若葉カップ全国大会で３位に入賞し、バドマガにも紹介していただきました。個人戦の全国大会では、三谷美菜津（現向陽高校１年）が ABC 大会で小学４年生の時２位、６年生で３位、全国小学生大会では４年生で３位、JOC 大会で中学ジュニアの部で３位、現在も活躍中です。長谷川由季(現額中学１年)が ABC 大会で小学４年生で３位に入賞しています。県内大会では平成14・15・18年には団体戦で全て優勝する結果を残してくれています。個人戦でも、宮崎杏子(現向陽高校２年)、三谷美菜津、長谷川由希、築山綾乃等が優勝しています。現在加盟部員は、中学生10名、小学生20名と少人数ですが、中学生は全中大会を目指し、小学生は全国大会を目指して、「夢ここに舞う」をスローガンに部員一同奮闘中です。

野々市ジュニアバドミントンクラブ

①山田陽子
②野々市小学校体育館
③毎週　月・木・土／2～3時間
④桶谷千鶴子、木村正之、嶋田健三

野々市ジュニアバドミントンクラブの設立は、1985年(昭和60年)７月です。設立当初は小学生だけのクラブで、４年生から６年生までの、30名位が席を置いていました。中学生の部が12年後の1997年(平成９年)４月に発足し、現在に至っています。近年、野球、サッカー、バスケット等人気スポーツに子どもが流れ、それに少子化も手伝っ

て部員数も減少傾向にあり、先行きちょっと不安を感じています。そんな中、練習では小、中学生に共通の目標として、礼節やマナーそして感謝の気持ちをしっかりと身に付けてほしい。個人競技ではありますが、仲間を思いやる暖かい心を持って欲しい。そして、個別に小学生は仲間と楽しく過ごす中に、勝つ喜びを見つけてほしい。中学生にはしっかりと目標に向かってやりとげる気持ち、勝負際での精神的な強さを身に着けて欲しいと子供たちを叱咤、激励し、練習に取り組んでいます。野々市ジュニアバドミントンクラブも今年で設立22周年、今までに応援、協力して頂いた多くの方々



に感謝すると共に、これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。最後に、石川県バドミントン協会創立60周年を節目に益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

松任ジュニアバドミントンクラブ

①星　幸子
②若宮体育館
③毎週　月・水／18：00～20：00
④星　幸子、羽田義仁、星　明彦、松原宏明、川辺祐樹



松任ジュニアは創立22年目のクラブです。最初は中田吉昭さん指導のもと、30人ぐらいで練習をはじめ、栄代良久監督や東悦輝さん、栄代良和さんなどの指導陣により継続され、今、私たちはその伝統ある松任ジュニアをさらに盛り上げるように頑張っています。練習は、週２回２時間と少ないですが、現在40名の小学生と夢に向かって練習に取り組んでいます。今年もみんなの目標「若葉カップ出場」はできませんでしたが、来年こそ一致団結、楽しくバドミントンをしていく中で若葉カップ出場を手にしていきたいです。部旗には「覇」という字を掲げています。意味は「成し遂げる」ということで、一人ひとり、目標に向かって最後までやりぬく精神を育てていけたらいいと思います。

美川ジュニアバドミントンクラブ

①島田充彦
②白山市美川スポーツセンター
③毎週　日／17：00～19：00
　　水／18：00～20：00
④松田新二郎、島田充彦、梅津治郎



人口１１万２千人弱の小さな町に美川ジュニアクラブと湊ジュニアクラブのふたつのクラブができ、数十年が経とうとしています。時にはライバルとして、また、仲間として、お互いに切磋琢磨してまいりました。旧美川町では中学校が美川中学のみであり、両クラブ出身者は美川中バドミントン部で、一つとなり頑張っています。旧美川町の協会の方々に日々いろんなところでご協力をいただ

くことが出来た事が、両クラブの発展となり、頑張ってこれたと思います。バドミントンが上手になりたい、強くなりたいと思っている子どもたちの為、協会が週２回の練習の機会を与えていただいております。バドミントンの技術だけでなく、いろんな面での基礎作りをし、将来に大きく羽ばたく子どもたちを目指して日々努力し、練習に励んでいきたいと思います。

湊ジュニアバドミントンクラブ

①井家　洋
②湊リフレッシュセンター
③毎週　金・日／18：00～20：00
④南　永一、井家　洋、中村久雄、石本明男、鍛冶寛之、斉藤美雪、立花美紀、川上千明、西　宏予



県協会60周年おめでとうございます。我々のクラブもこの６月で28年目を迎えました。４年生～６年生の28名でのスタートでしたが、27年間で312名がクラブを巣立ちました。その312名の中には石川国体で活躍した石本明男君、安田香奈さんをはじめ吉田優美、茂昭、恵美の３兄弟、堀哲子、田村恵里、西宏予など県を代表する選手や指導者として活躍してきたOB、OGも多いです。そんな優秀な先輩たちが、発足当初から永く続いてきた、三嶋・南の指導体制を「手助けしよう」と申し出てくれ昨年より10名がコーチとして練習に参加してもらえるようになり、今年よりクラブ代表者も若手の井家さんに交代し指導陣が一気に30歳以上若返り、クラブ内も明るく、また活気が出てきて技術向上にも好影響をもたらし、上級生が少なく４年生中心で挑んだ若葉カップ県予選で準優勝、銭谷杯でも一番多くの12人が北國新聞社杯出場権を得る事が出来ました。さて最近のクラブの紹介ですが、人数は湊校区以外の能美市、川北町からの５名を含む１年生～６年生の31人で、練習内容は基本打ちやノックの他、ドッジボール、リレー、ラダー、変形ダッシュ、４月より取り入れたエアロビックスで子どもたちに人気のあるのはドッジボールとエアロビックスで、特にエアロビックスは保護者にも好評でかなりの方が参加されています。また、当面の目標は２年前に出場できた若葉カップにもう一度出場する事です。今はこの目標に向かって指導者、クラブ員そして保護者一体となって頑張っています。

小松ジュニアバドミントンクラブ

①徳井隆志
②③桜木体育館　中学生　毎日部活に準じる
　第一小学校体育館　水／19：00～21：00
　稚松小学校体育館　土／14：00～16：30
④堂道賢治、桝野泰弘、石田孝守、辻花良孝、米内山太司



小松ジュニアバドミントンクラブは、昭和60年４月に発足し、先般20周年記念パーティが行われたところです。現在、小学生53名、中学生30名が所属しており、今までに600名以上の卒業生を送り出しています。小松市内には、中学校のバドミントン部が２校しかなく、それ以外の中学生の受け皿として、部活に準じた活動として中学校でも認められ、各種大会に参加しております。当ジュニアの夢は「オリンピック選手の輩出を」でありますが、週２回の短い練習時間ですが、バドミントンに親しんでもらい、生涯スポーツとしてのバ

ドミントンを大好きになってもらうことを、指導方針としています。「ファイト小松ジュニア!!」

加賀市ジュニアバドミントンクラブ

①本出芳彦
②加賀体育館

当クラブは、旧加賀市の教育委員会が開催していたスポーツ教室を昭和62年に通年活動のクラブに発展させて発足しました。発足当初は、クラブ員が少なく、練習も週１回ということで良い成績も残せませんでしたが、現代表の本出芳彦氏を指導者に迎え、練習回数を増やしてからは成績が向上しています。平成６年頃から全国大会に出場する選手をだせるようになり、平成10年には浜中麻亜子が小学５年生の部で優勝を飾っています。悩みは加賀市内にバドミントン部のある中学校が無いことで、大半の子が小学校卒業と同時にバドミントンをやめてしまいます。当クラブでも中学生の指導を行っていますが、クラブのある市外の中



学にお世話になる子もいます。その中から、インカレ、インターハイ、国体などの優勝メンバーが出ています。現在は、小学２年から中学２年までの男女約40名が週１回から３回、加賀市体育館で練習していますが、指導スタッフも増え、強化育成する体制が整いつつありますので、これからさらに優秀な人材が育っていくことを期待しています。今後も、少年連盟や県協会のご協力を得ながらバドミントンの普及と強化に取り組んでまいりますので、よろしくご支援をいただきたいと思います。

ひまわりジュニアバドミントンクラブ

①市井哲彦
②能美小学校体育館、月津小学校体育館ー
③毎週　火／18：30～21：30
　　土／13：30～19：00
　　水／18：30～21：30
④市井哲彦、辻　鈴子

平成４年に発足し、今年で15年になります。男子５～６人の少人数から始め、一人ひとりをマンツーマンの様に育てられたら、との考えでここまで歩んできました。小・中・高・大・一般が合同



でそれぞれレベルにあった基本練習を中心に行いゲーム練習の少ないチームです。今日より明日と一日一日力をつけ、いつか一流選手になろうと思える子供たちを送り出し続けられればと練習を続けています。

寺井ジュニアバドミントンクラブ

①宇野幸治
②寺井体育館、泉台スポーツセンター
③毎週　火・木　19：00～20：40
　　土　　16：00～19：00
④宇野幸治



河内ジュニアバドミントンクラブ

①新羅孝志
②河内小中学校体育館
③毎週　火／19：30～21：00
　　土／13：00～15：00
④新羅孝志



創立60周年おめでとうございます。我クラブは、発足８年になります。今は、６年生を中心に15名の子どもたちと一緒に練習しています。発足当時は、河内小学校の子どもたちだけでしたが、今は、白山市としてスポーツ少年団にも登録し他地域からの子どもたちも一緒に練習しています。普段は、一生懸命練習している子どもたちも、休憩時間にはワイワイがやがやそれは賑やかです。その中でも一期は賑やかなM、ちょっとおとなしいH等個性派揃い。欲を言えば、もうちょっと６年生が、リーダーとなって下級生を引っ張ってくれたらなーと、思う事も有りますが、私は、練習を通じて、技だけではなく礼儀や、人との繋がりも学んで欲しいと思います。今の子どもたちに何が必要なのでしょうか……？クラブでは、練習前に10の心得を唱和しています。一、大きな声で挨拶します。一、大きな声で返事をします。一、礼儀正しくします。一、相手の目を見て話します、聞きます。一、人の話をよく聞きます。一、周りを見て行動します。一、行動は早くします。一、出来る出来ると唱えます。一、目標を持ちます。以上如何ですか？少年よ大志を抱け!!夢は大きく!!目指せオリンピック!!我河内ジュニアをよろしく!!

ラブスマッシュジュニアバドミントンクラブ

①中松章一
②日末小学校体育館
③毎週　月／18：00～19：30
　　木／19：30～21：00
　　日／ ９：30～12：00
　　（中学生のみ）13：00～19：30
④江端　茂



当初は近所の10人ほどの小学生を集めて創ったクラブも、年を重ねて今年でもう７年目。今では中学生も増え、小学生と同じ体育館で汗を流しています。これまで他のクラブと合同で練習したり他の監督さんの話を聞いたりして、興味を引く練習方法を取り入れ独自の練習方法を確立してきたつもりですが、今でも子供たちに飽きさせないように面白い練習を取り入れるなど常に試行しております。小学生には楽しくそして真剣に練習に取り組んでもらい、中学生には基礎トレやランニングを中心に体力を増進させ、厳しくもありながらバドの面白さを伝えております。当クラブではただバドが強くなり勝敗のみにこだわればいいという考えではなく、子どもたちには個々の目標を持ち地道に努力することの大切さをいつも口うるさく言っており、また挨拶やマナーを守るように徹底し、先輩や後輩、友達や大人などバドを通じて知り合う人間関係を大切にするよう心がけてもら

っています。バドミントンクラブと言っても小さな社会のひとつであり、そこで自分をどのように成長させられるかが大事で、そこで身に付いたものは社会に出ても大切になります。子供たちにはこのクラブでバドだけを教わるだけでなく、その子の人生で大事なことを学び習得した上で卒業してもらいたいと常に願っています。いつか成長した大人になってからも、「ラブスマッシュジュニアでとても大切なことを学び人間的に成長できた、このクラブに在籍してよかった」と実感できる日が訪れれば幸いです。

国府ジュニアバドミントンクラブ

①田中　聡
②国府地区体育館、能美小学校体育館
③平　日　国府／18：00～19：30
　土　　国府／18：00～21：00
　日祭日　能美／ 9 ：00～12：30
　　土／13：00～15：00
④平村和夫、田井友康、松浦　裕

平成13年11月に国府中学校バドミントン部の保護者の要請を受けてクラブを設立して早くも７年、ようやくジュニアクラブらしくなってきたなと思う今日この頃です。設立・運営に当たっては小松協会のいろいろな方の協力があり、大変有り難く思っております。さて、クラブ員は地域に中学の女子バドミントン部があるということから中学の女子部員が中心になっています。小学生も10人ぐらいいて小学２年生から小学６年生まで女子ばかりです。練習は小学生と中学生が一緒に練習し、中学の上級生が試合や練習の合間に小学生や初心者の中学１年生にトスノックのシャトルを出したり基本打ちの相手を交代で行ったりして、というやり方を取っています。また、練習は女子特有でたいへん賑やかですが、喋りすぎて手足が止まるのが玉に瑕です。いつの日か全国レベルの選手がクラブから出て活躍するのを楽しみにしています。がんばるぞ。



第7章 競技会記録

強化委員会

国民体育大会（53回～62回）

【成　年　の　部】　　（太字は監督）

年度	開催地	成年男子 選手名	成年男子 所属	成績	成年女子 選手名	成年女子 所属	成績
H10	神奈川県 大和市			不 出場			不 出場
H11	熊本県 八代市	**長谷川　進**	ハセガワスポーツ	64			不 出場
		星　明彦	北國銀行				
		武田　修	〃				
		石本　明男	〃				
H12	富山県 高岡市	**星　明彦**	北國銀行	32位	**羽田　義仁**	北國銀行	5位
		武田　修	〃		松田奈緒子	〃	
		石本　明男	〃		松田美希子	〃	
		栄代　正男	別川製作所		中島　珠美	〃	
H13	宮城県 塩釜市	**星　明彦**	北國銀行	32位	**羽田　義仁**	北國銀行	16位
		石本　明男	〃		松田奈緒子	〃	
		徳坂　渉	〃		松田美希子	〃	
		茶谷　徳靖	金沢学院大		中島　珠美	〃	
H14	高知県 南国市	**星　明彦**	北國銀行	16位	**羽田　義仁**	北國銀行	16位
		山下　淳	金沢学院大		松田奈緒子	〃	
		廣瀬　雅士	〃		松田美希子	〃	
		山本　満	〃		中島　珠美	〃	
H15	静岡県 富士宮市			不 出場	**羽田　義仁**	北國銀行	16位
					西　宏予	〃	
					青山　早希	〃	
					鍛治祐美子	〃	
H16	埼玉県 久喜市	**長谷川　進**	ハセガワスポーツ	32位	**羽田　義仁**	北國銀行	5位
		廣瀬　雅士	石川トヨペット		堀　哲子	明和養護教	
		酒井　直英	不二越高教		青山　早希	北國銀行	
		村上　亮	金沢学院大		鍛治祐美子	〃	

H17	岡山県 岡山市	**長谷川　進**	ハセガワスポーツ	16位	**羽田　義仁**	北　國　銀　行	16位
		廣瀬　雅士	石川トヨペット		奥村亜紀代	浦　崎　歯　科	
		木下　政彦	トナミ運輸		青山　早希	北　國　銀　行	
		村上　亮	金沢学院大		鍛治祐美子	〃	
H18	兵庫県 宝塚市	**長谷川　進**	ハセガワスポーツ	16位	**羽田　義仁**	北　國　銀　行	16位
		廣瀬　雅士	石川トヨペット		田井　美幸	ＮＴＴ東日本	
		木下　政彦	〃		青山　早希	北　國　銀　行	
		村上　亮	金沢学院大		鍛治祐美子	〃	
H19	秋田県 美郷町			不 出場	**和田　修**	金沢向陽高	優勝
					田井　美幸	ＮＴＴ東日本	
					樽野　恵	〃	
					梅津　知恵	茨城トヨペット	

【少　年　の　部】

（太字は監督）

年度	開催地	少年男子		成績	少年女子		成績
		選手名	所属		選手名	所属	
H10	神奈川県 大和市	**彼島　重範**	金市工高	3位	**和田　修**	金沢向陽高	5位
		茶谷　徳靖	〃		舛田　恵	〃	
		酒井　忠相	〃		田村　恵里	〃	
		山下　淳	〃		西　宏予	〃	
H11	熊本県 八代市	**水内　浩**	金市工高	16位	**和田　修**	金沢向陽高	4位
		山下　淳	〃		西　宏予	〃	
		廣瀬　雅士	〃		曽我　寛美	〃	
		岸　匠	〃		中川　敦子	〃	
H12	富山県 高岡市	**水内　浩**	金市工高	16位	**彼島　重範**	金沢向陽高	32位
		車　敦史	〃		梅津　知恵	〃	
		横山　康博	〃		加賀　裕美	〃	
		村上　亮	〃		西村木綿香	〃	
H13	宮城県 塩釜市	**水内　浩**	金市工高	16位	**彼島　重範**	金沢向陽高	32位
		村上　亮	〃		青山　早希	〃	
		宮村　順也	〃		通次　尚美	〃	
		山下　幸司	〃		鍛治祐美子	〃	
H14	高知県 南国市	**水内　浩**	金市工高	5位	**彼島　重範**	金沢向陽高	5位
		村上　亮	〃		青山　早希	〃	
		宮村　順也	〃		通次　尚美	〃	
		山口　俊	〃		鍛治祐美子	〃	

（太字は監督）

年度	開催地	少年男子		成績	少年女子		成績
		選手名	所属		選手名	所属	
H15	静岡県 富士宮市	**水内　浩**	金市工高	16位	**車　浩明**	金沢向陽高	16位
		宮村　順也	〃		伊東　可奈	〃	
		山田　一哉	〃		木村　綾	〃	
		山口　俊	〃		木村　咲絵	〃	
H16	埼玉県 久喜市	**水内　浩**	金市工高	16位	**車　浩明**	金沢向陽高	5位
		山口　俊	〃		松任　由貴	〃	
		安藤　総兵	〃		浜中麻亜子	〃	
		伊東　克範	〃		樽野　恵	〃	
H17	岡山県 岡山市	**水内　浩**	金市工高	5位	**車　浩明**	金沢向陽高	32位
		安藤　総兵	〃		浜中麻亜子	〃	
		伊東　克範	〃		樽野　恵	〃	
		堂谷内　均	〃		南出なつき	〃	
H18	兵庫県 宝塚市	**水内　浩**	金市工高	16位	**車　浩明**	金沢向陽高	優勝
		坂井　一将	〃		樽野　恵	〃	
		新田　晃浩	〃		木村　唯菜	〃	
		石立健志郎	県工業高		南出　さき	〃	
H19	秋田県 美郷町	**水内　浩**	金市工高	32位	**車　浩明**	金沢向陽高	2位
		坂井　一将	〃		村上　彩	〃	
		新田　晃浩	〃		桜井みどり	〃	
		政谷　泰俊	〃		三谷美菜津	〃	

競技委員会

石川県団体総合選手権大会

年度	男子	女子
H10(1998)	北國銀行	北國銀行
H11(1999)	〃	〃
H12(2000)	〃	〃
H13(2001)	金沢学院大学	金沢向陽高校
H14(2002)	〃	北國銀行
H15(2003)	〃	〃
H16(2004)	金沢学院クラブ	〃
H17(2005)	〃	金沢向陽高校
H18(2006)	〃	〃
H19(2007)	〃	〃

石川県社会人選手権大会

年　度	開催地	性別	シングルス	ダブルス
H10(1998)	美川町	青年男子	崎田　健一（北國銀行）	武田・石本（北國銀行）
		青年女子	中村奈緒子（〃）	安田・松田（〃）
H11(1999)	美川町	青年男子	星　明彦（北國銀行）	武田・石本（北國銀行）
		青年女子	中村奈緒子（〃）	中村・松田（〃）
H12(2000)	美川町	青年男子	武田　修（北國銀行）	武田・石本（北國銀行）
		青年女子	中村奈緒子（〃）	中村・松田（〃）
H13(2001)	美川町	青年男子	星　明彦（北國銀行）	武田・栄代（北國銀行・福井大院）
		青年女子	松田奈緒子（〃）	松田・中島（北國銀行）
H14(2002)	美川町	青年男子	森　智麿（飛翔会）	徳坂・栄代（北國銀行・福井大院）
		青年女子	松田奈緒子（北國銀行）	松田・中島（北國銀行）
H15(2003)	美川町	青年男子	星　明彦（北國銀行）	高橋・吉井（金沢市役所）
		青年女子	鍛治祐美子（〃）	西・青山（北國銀行）
H16(2004)	美川町	青年男子	茶谷　徳靖（金沢学院大）	茶谷・廣瀬（金沢学院大・石川トヨペット）
		青年女子	鍛治祐美子（〃）	西・青山（北國銀行）
H17(2005)	白山市	青年男子	廣瀬　雅士（石川トヨペット）	廣瀬・横山（石川トヨペット・翠星高校）
		青年女子	青山　早希（北國銀行）	西・青山（北國銀行）
H18(2006)	白山市	青年男子	廣瀬　雅士（石川トヨペット）	横山・酒井（金沢伏見高校・不二越工高）
		青年女子	西　宏予（北國銀行）	西・青山（北國銀行）
H19(2007)	白山市	青年男子	廣瀬　雅士（石川トヨペット）	木下・廣瀬（金沢学院大・石川トヨペット）
		青年女子	鍛治裕美子（北國銀行）	加賀・鍛治（北國銀行）

澁谷杯争奪石川県混合ダブルス選手権大会

年度	チャンピオンフライト
H10(1998)	武田　修・中村奈穂子（北國銀行）
H11(1999)	武田　修・中村奈穂子（北國銀行）
H12(2000)	石本明男・中島珠美（北國銀行）
H13(2001)	徳坂　渉・中島珠美（北國銀行）
H14(2002)	栄代正男・中島珠美（別川製作所・北國銀行）
H15(2003)	佐々木盛孝・町出真由美（翼会）
H16(2004)	栄代正男・奥村亜紀代（別川製作所・浦崎歯科）
H17(2005)	栄代正男・堀　哲子（別川製作所・浅野川中教）
H18(2006)	木下政彦・青山早希（金沢学院クラブ・北國銀行）
H19(2007)	木下政彦・村上夏樹（金沢学院クラブ・北國銀行）

石川県個人総合選手権大会

年　度	開催地	性別	シングルス	ダブルス
H10 (1998)	金沢市	一般男子	舛田　圭太（日　体　大）	星・姜（北國銀行・金沢学院大）
		一般女子	舛田　恵（金沢向陽高校）	田村・舛田（金沢向陽高校）
		30歳以上男子	水内　浩（金沢市立工業高校教）	宮坂・塩山（七尾クラブ・輪島クラブ）
		40歳以上男子	油野　徳公（あすなろクラブ）	油野・山本（あすなろクラブ・津田駒工業）
		50歳以上男子	松田新二郎（ＳＳマツダ）	倉井・松田（自営・ＳＳマツダ）
		30歳以上女子		奥本・和田（津幡ク・宇ノ気ク）
		40歳以上女子		桶谷・勝木（星稜高教・額バード）
		中学男子	塩木　啓祐（美　川　中）	藤井・山下（田　鶴　浜　中）
		中学女子	通次　尚美（板　津　中）	本出・木村（美　川　中）
H11 (1999)	金沢市	一般男子	舛田　圭太（日　体　大）	武田・石本（北　國　銀　行）
		一般女子	西　宏予（金沢向陽高校）	西・曽我（金沢向陽高校）
		30歳以上男子	塩山　邦治（輪島クラブ）	宮坂・塩山（七尾クラブ・輪島クラブ）
		40歳以上男子	堂谷内　均（Ａ・ラボ）	本出・近藤（加賀クラブ）
		50歳以上男子	宮本　勝裕（ＮＴＴ北陸）	佐々木・宮本（ＮＴＴ北陸）
		30歳以上女子		片糸・中村（あすなろクラブ・ファンシャトルズ）
		40歳以上女子		桶谷・勝木（星稜高教・額バード）
		中学男子	村上　亮（城　南　中）	村上・苗島（城南中・北鳴中）
		中学女子	木村　咲絵（美　川　中）	青山・鍛治（布水中・美川中）
H12 (2000)	金沢市	一般男子	舛田　圭太（日　体　大）	舛田・紺谷（日体大・TEAM UZI）
		一般女子	中島　珠美（北　國　銀　行）	梅津・田井（金沢向陽高校）
		30歳以上男子	水内　浩（金沢市立工業高校教）	宮坂・塩山（七尾クラブ・輪島クラブ）
		40歳以上男子	堂谷内　均（Ａ・ラボ）	船本・堂谷内（ふなもと歯科・A･ラボ）
		50歳以上男子	宮本　勝裕（ＮＴＴ北陸）	山本・堤（津田駒工業・自営）
		30歳以上女子		片糸・酒伊（あすなろクラブ・鶴来クラブ）
		40歳以上女子		笠間・岡部（フェニックスクラブ・内灘クラブ）
		中学男子	宮村　順哉（犀　生　中）	宮村・山田（犀　生　中）
		中学女子	伊東　可奈（金　石　中）	伊東・西村（金石中・森本中）
H13 (2001)	金沢市	一般男子	山本　満（金沢学院大）	武田・石本（北　國　銀　行）
		一般女子	中島　珠美（北　國　銀　行）	松田・中島（北　國　銀　行）
		30歳以上男子	中口　憲（鹿西高校教）	大井川・長丸（押野小・千坂小）
		40歳以上男子	宇野　幸治（寺井クラブ）	山本・堤（津田駒工業・自営）
		50歳以上男子	宮本　勝裕（ＮＴＴ北陸）	
		30歳以上女子		桶谷・東（星稜高教・野田中教）
		40歳以上女子		笠間・岡部（フェニックスクラブ・内灘クラブ）
		中学男子	山口　俊（美　川　中）	山口・政谷（美　川　中）
		中学女子	浜中麻亜子（美　川　中）	南出・水口（御　幸　中）
H14 (2002)	金沢市	一般男子	山本　満（金沢学院大）	姜・廣瀬（金沢学院大・石川トヨペット）
		一般女子	鍛治祐美子（北　國　銀　行）	松田・中島（北　國　銀　行）
		30歳以上男子	杉原　秀俊（金沢市役所）	佐々木・長丸（大吟醸クラブ）
		40歳以上男子	四家　裕（奥能登クラブ）	山本・奥本（津田駒工業）
		50歳以上男子	宮本　勝裕（ＮＴＴ北陸）	北山・松田（北山クリニック・ＳＳマツダ）
		30歳以上女子		片糸・酒伊（あすなろクラブ・鶴来クラブ）
		40歳以上女子		神野・向口（あすなろクラブ・鶴来クラブ）
		中学男子	安藤　総兵（大　徳　中）	安藤・牧畠（大徳中・高岡中）
		中学女子	水口さゆり（御　幸　中）	南出・水口（御　幸　中）

年度	開催地	性別	シングルス	ダブルス
H15 (2003)	金沢市	一般男子	山本　満（金沢学院大）	廣瀬・横山（金沢学院大）
		一般女子	鍛治祐美子（北國銀行）	木村・木村（金沢向陽高校）
		30歳以上男子	中口　憲（鹿西高校教）	大井川・長丸（大吟醸クラブ）
		40歳以上男子	木村喜久男（加賀クラブ）	油野・山下（あすなろクラブ）
		50歳以上男子	宮本　勝裕（NTT北陸）	
		30歳以上女子		片糸・酒伊（あすなろクラブ・鶴来クラブ）
		40歳以上女子		笠間・岡部（フェニックスクラブ・内灘クラブ）
		中学男子	石立健志郎（城南中）	山森・鈴木（犀生中）
		中学女子	村上　彩（城南中）	大町・村上（兼六中・城南中）
H16 (2004)	金沢市	一般男子	廣瀬　雅士（石川トヨペット）	山下・　車（金沢学院大・立命館大）
		一般女子	浜中麻亜子（金沢向陽高校）	奥村・　堀（浦崎歯科・明和養護教）
		30歳以上男子	谷野　啓吾（NTT北陸）	坂井・谷野（NTT北陸）
		40歳以上男子	坂井外喜男（NTT北陸）	山本・谷島（津田駒工業・NTT北陸）
		50歳以上男子		橋爪・松田（小坂クラブ・SSマツダ）
		30歳以上女子		片糸・酒伊（あすなろクラブ・鶴来クラブ）
		40歳以上女子		瀬戸・細川（あすなろクラブ）
		中学男子	坂井　一将（鳴和中）	坂井・三浦（鳴和中・金石中）
		中学女子	桜井みどり（美川中）	村上・室達（城南中・金石中）
H17 (2005)	金沢市	一般男子	廣瀬　雅士（石川トヨペット）	廣瀬・横山（石川トヨペット・翠星高校）
		一般女子	浜中麻亜子（金沢向陽高校）	奥村・　堀（浦崎歯科・明和養護教）
		30歳以上男子	森　智麿（飛翔会）	出越・吉田（大吟醸クラブ・美川クラブ）
		40歳以上男子	坂井外喜男（NTT北陸）	大井川・佐々木（大吟醸クラブ）
		50歳以上男子	油野　徳公（あすなろクラブ）	松田・藤田（SSマツダ・瓢友クラブ）
		30歳以上女子		酒伊・　西（鶴来クラブ・あすなろクラブ）
		40歳以上女子		中村・竹井（ファンシャトルズ）
		中学男子	関　真彦（小将町中）	三浦・徳田（金石中・城南中）
		中学女子	三谷美菜津（美川中）	三納・疋島（布水中）
H18 (2006)	金沢市	一般男子	廣瀬　雅士（石川トヨペット）	木下・伊東（金沢学院クラブ・金沢学院大）
		一般女子	木村　唯菜（金沢向陽高校）	鍛治・牧畠（北國銀行）
		30歳以上男子	森　智麿（飛翔会）	森・松原（飛翔会）
		40歳以上男子	坂井外喜男（NTT北陸）	中口・清水（七尾高校教・IBC）
		50歳以上男子	油野　徳公（あすなろクラブ）	橋爪・松田（小坂クラブ・SSマツダ）
		30歳以上女子		片糸・酒伊（あすなろクラブ・鶴来クラブ）
		40歳以上女子		竹田・山田（瓢友クラブ）
		中学男子	南　淳也（城南中）	吉森・星（松任中）
		中学女子	三谷美菜津（美川中）	三納・疋島（布水中）
H19 (2007)	金沢市	一般男子	伊東　克範（金沢学院大）	木下・廣瀬（金沢学院大職員・石川トヨペット）
		一般女子	村上　彩（金沢向陽高校）	桜井・村上（金沢向陽高校）
		30歳以上男子	吉田　茂昭（美川中教員）	出越・吉田（大吟醸クラブ・美川中教員）
		40歳以上男子	坂井外喜男（NTT北陸）	大井川・長丸（蝶屋小教員・粟崎小教員）
		50歳以上男子	宮本　勝裕（NTT北陸）	宮本・谷島（NTT北陸）
		30歳以上女子		鍛冶・蔵本（美川クラブ・津幡クラブ）
		40歳以上女子		幸田・松田（フェニックス）
		中学男子	南　淳也（城南中）	吉森・星（松任中）
		中学女子	芝野　真由（高岡中）	小林・芝野（高岡中）

松田龍一杯争奪バドミントン大会（第47回～56回）

年　度	性別	シングルス	ダブルス
H10(1998)	男　子	新　田（I　B　C）	中松・通次（ラブスマッシュ）
	女　子	加　納（倉　庫　精　練）	大沢・山越（飛　翔　会）
H11(1999)	男　子	谷　内（金　沢　市　役　所）	田川・小松（I　B　C）
	女　子	高　山（北　陸　学　院　短　大）	山口・森（飛　翔　会）
H12(2000)	男　子	村　田（翼　会）	堀・千葉（中　央　フ　レ　ン　ズ）
	女　子	石　田（北　陸　学　院　短　大）	川口・源野（小　坂　ク　ラ　ブ）
H13(2001)	男　子	三　谷（コ　マ　ツ）	中本・佐々木（翼　会）
	女　子	櫻　（七　尾　シ　ャ　ト　ル）	松本・青山（す　み　れ　ク　ラ　ブ）
H14(2002)	男　子	出　越（フ　ェ　ニ　ッ　ク　ス）	新田・中嶋（I　B　C）
	女　子	水　江（金　沢　大　学）	折戸・吉野（倉　庫　精　練）
H15(2003)	男　子	原　（県　工　ク　ラ　ブ）	出越・鍛冶（大吟醸・アムズ）
	女　子	吉　野（倉　庫　精　練）	鍛冶・川上（美　川　ク　ラ　ブ）
H16(2004)	男　子	吉　田（県　工　ク　ラ　ブ）	吉田・鳥井（県　工　ク　ラ　ブ）
	女　子	エ　ン　ト　リ　ー　な　し	高田・曽山（内　灘　ク　ラ　ブ）
H17(2005)	男　子	松　尾（津　幡　ク　ラ　ブ）	坂東・村井（ばんどう歯科・大吟醸）
	女　子	嶋　倉（飛　翔　会）	山本・山口（中　能　登　ク　ラ　ブ）
H18(2006)	男　子	浅　野（M　B　A）	高尾・村井（翼　会）
	女　子	得　田（北　陸　学　院　短　大）	宮崎・得田（北　陸　学　院　短　大）
H19(2007)	男　子	高　田（寺　井　ク　ラ　ブ）	井上・住駒（中　央　フ　レ　ン　ズ）
	女　子	エ　ン　ト　リ　ー　な　し	エ　ン　ト　リ　ー　な　し

ゴーセン杯争奪バドミントン大会

回数	年　度	部	優　勝　チ　ー　ム
第 19 回	H10(1998)	一　般	飛　翔　会　A
第 20 回	H11(1999)	一　般	あ　す　な　ろ　ク　ラ　ブ
第 21 回	H12(2000)	一　般	宇　ノ　気　ク　ラ　ブ
第 22 回	H13(2001)	一　般	鹿　島　ク　ラ　ブ
第 23 回	H14(2002)	一　般	飛　翔　会
第 24 回	H15(2003)	一　般	美　川　ク　ラ　ブ
第 25 回	H16(2004)	一　般	V　I　O　L　E　T　－　A
第 26 回	H17(2005)	I　部	M　B　A
		II　部	瓢　友　ク　ラ　ブ　－　シ　ニ　ア
第 27 回	H18(2006)	I　部	中　能　登　町　バ　ド　ク　ラ　ブ
		II　部	瓢　友　ク　ラ　ブ
第 28 回	H19(2007)	I　部	中　能　登　町　ク　ラ　ブ
		II　部	瓢　友　ク　ラ　ブ

県民スポレク祭（全国スポレク祭）

県民スポーツレクリエーション祭			出場チーム名	全国大会	
回数	チーム数	県内開催地		年度／回数	開催地
			石川県選抜	S63／第1回	山梨県勝沼町
			石川県選抜	H1／第2回	愛媛県松山市
			石川県選抜	H2／第3回	和歌山県岩出町
			石川県選抜	H3／第4回	熊本県宇土市
第1回	12	金沢市中央市民体育館	棄権	H4／第5回	島根県
第2回	12	金沢市中央市民体育館	石川県選抜	H5／第6回	千葉県千葉市
第3回	14	金沢市中央市民体育館	棄権	H6／第7回	福岡県北九州市
第4回	7	金沢市中央市民体育館	石川県選抜	H7／第8回	奈良県大和郡山市
第5回	5	金沢市中央市民体育館	石川県選抜	H8／第9回	群馬県太田市
第6回	7	金沢市額ふれあい体育館	額フェニックス	H9／第10回	沖縄県玉城市
第7回	5	金沢市額ふれあい体育館	いいね金沢	H10／第11回	岐阜県各務原市
第8回	20	七尾市総合体育館	あすなろクラブ	H11／第12回	山形県新庄市
第9回	20	七尾市総合体育館	金沢フレンド・七尾デカ山	H12／第13回	石川県七尾市
第10回	13	七尾市総合体育館	あすなろクラブ	H13／第14回	三重県鳥羽市
第11回	18	七尾市総合体育館	フェニックスクラブ	H14／第15回	広島県呉市
第12回	16	七尾市総合体育館	瓢友クラブ	H15／第16回	香川県坂出市
第13回	20	七尾市総合体育館	津幡クラブ	H16／第17回	福井県武生市
第14回	18	七尾市総合体育館	あすなろクラブ	H17／第18回	岩手県滝沢村
第15回	19	津幡町総合体育館	フェニックスクラブ	H18／第19回	鳥取県倉吉市
第16回	18	津幡町総合体育館	高松クラブ	H19／第20回	青森県弘前市

日本マスターズ・バドミントン競技大会

年度	回数	開催地	男子	女子	メンバー
H13	第1回	宮崎県高鍋市	優勝	エントリーなし	監督：松下　力／選手：羽田　義仁・村本　幹夫・毛利　達彦・高橋　光一・山本　秀夫・近藤　朝範
H14	第2回	神奈川県小田原市	優勝	予選敗退	監督：松下　力／選手：毛利　達彦・高橋　光一・谷島　助男・山本　秀夫・近藤　朝範・浜谷　安裕
H15	第3回	和歌山県新宮市	第2位	予選敗退	監督：松下　力／選手：坂井外喜男・宮坂　満・谷島　助男・山本　秀夫・四家　裕・浜谷　安裕
H16	第4回	福島県いわき市	第3位	予選敗退	監督：東　茂樹／選手：毛利　達彦・谷島　助男・坂井外喜男・四家　裕・浜谷　安裕・近藤　朝範
H17	第5回	富山県高岡市	予選敗退	予選敗退	
H18	第6回	広島県広島市	エントリーなし	エントリーなし	
H19	第7回	滋賀県野洲市	第3位	予選敗退	監督：東　茂樹／選手：羽田　義仁・崎田　健一・毛利　達彦・高橋　光一・谷島　助男・山本　秀夫

県体委員会

県民体育大会

年度	種別	優勝	2位	3位	
H10	1部男子	金沢市	松任市	七尾市	加賀市
	1部女子	金沢市	七尾市	小松市	松任市
	2部男子	津幡町	宇ノ気町	七塚町	高松町
	2部女子	美川町	宇ノ気町	高松町	内灘町
H11	1部男子	金沢市	松任市	小松市	七尾市
	1部女子	金沢市	小松市	七尾市	松任市
	2部男子	美川町	津幡町	内灘町	宇ノ気町
	2部女子	美川町	津幡町	高松町	野々市町
H12	1部男子	金沢市	小松市	松任市	七尾市
	1部女子	金沢市	七尾市	松任市	珠洲市
	2部男子	美川町	津幡町	川北町	鹿島町
	2部女子	美川町	宇ノ気町	内灘町	鹿島町
H13	1部男子	金沢市	松任市	羽咋市	小松市
	1部女子	金沢市	松任市	珠洲市	小松市
	2部男子	七塚町	美川町	鹿島町	鶴来町
	2部女子	美川町	宇ノ気町	鹿島町	七塚町
H14	1部男子	金沢市	加賀市	小松市	七尾市
	1部女子	金沢市	七尾市	松任市	輪島市
	2部男子	美川町	津幡町	宇ノ気町	高松町
	2部女子	美川町	高松町	宇ノ気町	内灘町
H15	1部男子	松任市	小松市	羽咋市	七尾市
	1部女子	金沢市	小松市	加賀市	七尾市
	2部男子	美川町	七塚町	鹿島町	津幡町
	2部女子	美川町	鹿島町	野々市町	宇ノ気町
H16	1部男子	金沢市	松任市	輪島市	加賀市
	1部女子	金沢市	かほく市	珠洲市	松任市
	2部男子	美川町	内灘町	津幡町	田鶴浜町
	2部女子	美川町	野々市町	田鶴浜町	内灘町
H17	一般男子	金沢市	白山市	羽咋市	中能登町
	一般女子	白山市	金沢市	中能登町	津幡町
	壮年男子	金沢市	白山市	小松市	津幡町
	壮年女子	金沢市	かほく市	津幡町	小松市
H18	一般男子	白山市	中能登町	能美市	かほく市
	一般女子	白山市	中能登町	金沢市	七尾市
	壮年男子	金沢市	小松市	加賀市	津幡町
	壮年女子	金沢市	白山市	野々市町	小松市
H19	一般男子	金沢市	かほく市	小松市	津幡町
	一般女子	白山市	中能登町	内灘町	かほく市
	壮年男子	金沢市	かほく市	小松市	七尾市
	壮年女子	金沢市	白山市	小松市	かほく市

育成委員会

中学1年生大会

回数	年度	性別	団体	個人シングルス	個人ダブルス
14	H10	男子	美川	宮村(金沢ジュニア)	浅井・橋爪(金沢ジュニア)
		女子	美川	木村(美川)	御前・梨木(美川)
15	H11	男子	美川クラブ	山口(美川)	政谷・中村(美川)
		女子	美川	西村(森本)	田甫・鹿島(美川)
16	H12	男子	美川	安藤(金沢ジュニア)	堂谷内・廣田(金沢ジュニア)
		女子	ひまわりジュニア	興津(ひまわりジュニア)	水口・南出(ひまわりジュニア)
17	H13	男子	金沢ジュニア	紙田(金沢ジュニア)	山森・鈴木(金沢ジュニア)
		女子	布水	南出(ひまわりジュニア)	塚本・渡邊(布水)
18	H14	男子	金沢ジュニア	水口(ひまわりジュニア)	清水・石田(医王山)
		女子	金沢ジュニア	村上(金沢ジュニア)	駒木・北(金沢ジュニア)
19	H15	男子	金沢ジュニア	三浦(金沢ジュニア)	嶋・石立(金沢ジュニア)
		女子	美川A	宮崎(美川)	大和・山崎(美川)
20	H16	男子	白山クラブ	浅野(高松)	荒井・古田(犀生)
		女子	布水	三谷(美川)	三納・疋島(布水)

回数	年度	性別	団体	個人シングルス	個人ダブルス
21	H17	男子	金沢ジュニア	南（城南）	吉森・星（松任）
		女子	金沢ジュニア	小林（中央ジュニア）	森・吉広（松任）
22	H18	男子	金沢ジュニア	神田（金沢ジュニア）	田村・塚本（医王山）
		女子	高岡A	芝野（高岡）	嶋・西嶋（城南）
23	H19	男子	金沢ジュニア	日光（高岡）	米谷・前田（津幡）
		女子	OKジュニア	長谷川（OKジュニア）	築山・宮田（OKジュニア）

中学生選抜大会

回数	年度	性別	団体	個人シングルス	個人ダブルス
18	H10	男子	田鶴浜中	村上（城南）	宮村・山田（犀生）
		女子	美川中	木村（美川）	羽生・米谷（板津）
19	H11	男子	美川中	山田（犀生）	山本・長尾（田鶴浜）
		女子	美川中	伊東（美川）	御前・梨木（美川）
20	H12	男子	美川中	山口（美川）	澤・森下（高松）
		女子	御幸中	西村（森本）	松任・田甫（美川）
21	H13	男子	美川中	安藤（大徳）	新田・島田（美川）
		女子	御幸中	興津（御幸）	水口・南出（御幸）
22	H14	男子	医王山中	紙田（港）	山森・鈴木（犀生）
		女子	布水中	南出（御幸）	畑・室達（金石）
23	H15	男子	美川中	坂井（鳴和）	石田・清水（医王山）
		女子	城南中	村上（城南）	中尾・長（美川）
24	H16	男子	城南中	関（小将町）	新・辻（美川）
		女子	美川中	三谷（美川）	長・冨澤（美川）
25	H17	男子	美川中	南（城南）	若林・足立（美川）
		女子	布水中	三谷（美川）	三納・疋島（布水）
26	H18	男子	松任中	南（城南）	吉森・星（松任）
		女子	高岡中	芝野（高岡）	西川・塩谷（美川）

石川ジュニアオープン大会

	年度	性別	団体	個人シングルス	個人ダブルス
3	H10	男子		中野（河北台）	比留間・堤（東大和四）
		女子		小椋（川越）	山下・玉木（太田）
4	H11	男子		村上（城南）	藤田・中西（山室）
		女子		神（淑徳巣鴨）	青山・木村（布水）
5	H12	男子		山口（美川）	福井・斉藤（旭）
		女子		木村（美川）	梨木・御前（美川）
6	H13	男子	美川中	早川（日吉）	辻井・中森（小俣）
		女子	日吉中	西村（森本）	松任・田甫（美川）
7	H14	男子	明倫中	安藤（大徳）	齋藤・齋藤（明倫）
		女子	聖ウルスラ	浜中（美川）	南出・水口（御幸）

	年度	性別	団体	個人シングルス	個人ダブルス
8	H15	男子	勝山中部中	松川(勝山北部)	鈴木・山森(犀生)
		女子	布水中	南出(御幸)	幡谷・十田(庄西)
9	H16	男子	明徳中	水口(南部)	松浦・山口(勝山南部)
		女子	日吉中	垣岩(日吉)	工藤・北(聖ウルスラ)
10	H17	男子	勝山南部中	千京(勝山南部)	山室・星野(上市)
		女子	聖ウルスラ	高橋(聖ウルスラ)	菅野・岡田(聖ウルスラ)
11	H18	男子	上市中	星野(上市)	砂井・米田(小須戸)
		女子	和合中	三谷(美川)	與猶・峰(刈谷東)
12	H19	男子	松任中	藤田(朝日)	吉森・星(松任)
		女子	聖ウルスラ	浦谷(日吉)	與猶・峰(刈谷東)

実業団連盟

石川県実業団リーグ　優勝チーム

年度	男子					女子
	1部	2部	3部	4部	5部	1部
H10	北國銀行	福島印刷B	ナルックスA	アムズ	小松電子B	北國銀行
H11	北國銀行	ナルックスA	アムズ	小松電子B	コマツB	〃
H12	北國銀行	アムズ	小松電子B	コマツB		〃
H13	北國銀行	NTT北陸	北陸電力B	北陸郵政		〃
H14	北國銀行	小松電子A	コマツB	北陸電力C		〃
H15	北國銀行	コマツA	ナルックス			北國銀行B
H16	金沢市役所A	小松電子A	高桑美術印刷			〃
H17	金沢市役所A	コマツA	コマツB			北國銀行A
H18	金沢市役所A	コマツA	津幡町役場			〃
H19	金沢市役所A	津幡町役場	ジェイバス			〃

北信越実業団選手権大会

回数	年度	開催地	性別	優勝	2位	3位	
27	H10	福井市	男子		北國銀行		
			女子				
28	H11	新潟市	男子		北國銀行		
			女子				
29	H12	金沢市	男子		北國銀行		
			女子			北國銀行	
30	H13	松本市	男子			北國銀行	
			女子	北國銀行	小松電子		
31	H14	高岡市	男子			北國銀行	金沢市役所
			女子	北國銀行		小松電子	
32	H15	福井市	男子				
			女子	北國銀行			

回数	年度	開催地	性別	優勝	2位	3位	
33	H16	新潟市	男子				
			女子	北國銀行			
34	H17	金沢市	男子			金沢市役所	
			女子	北國銀行			
35	H18	大町市	男子			金沢市役所	
			女子		北國銀行		
36	H19	高岡市	男子			金沢市役所	
			女子	北國銀行			

全日本実業団選手権大会(団体戦)

回数	年度	開催地	男子	女子
48	H10	名古屋市	北國銀行 ベスト16	
49	H11	長岡京市		
50	H12	東京都		
51	H13	松山市	北國銀行 ベスト16	北國銀行 ベスト16
52	H14	郡山市	〃 ベスト16	〃 ベスト16
53	H15	岡山市	〃 ベスト16	〃 第3位
54	H16	名古屋市		〃 ベスト16
55	H17	大阪市		〃 ベスト16
56	H18	東京都		〃 ベスト16
57	H19	札幌市		〃 ベスト16

日本リーグ・2部リーグ

回数	年度	男子	女子
23	H13	北國銀行 第7位	北國銀行 第4位
24	H14	〃 第7位	〃 第4位
25	H15	〃 第8位	〃 第2位
26	H16		〃 第3位
27	H17		〃 第3位
28	H18	金沢学院クラブ 第4位	〃 第4位
29	H19	〃 優勝	〃 第8位

社会人リーグ（10回～19回）

回数	年度 期日	会場	クラス別	団体		
				1　位	2　位	3　位
10	H10	美川町	男子1部	大吟醸クラブA	飛翔会A	七尾クラブ
	7 12	七尾市	2部	小松水曜会	瓢友バドクラブA	三馬バドクラブA
	～	羽咋市	3部	飛翔会B	中央フレンズ	小坂バドクラブB
	11 15		4部A	M.B.A	大吟醸クラブB	小松稚松会
			4部B	あすなろクラブA	オールプレーヤーズ	宇ノ気バドクラブ
			5部A	輪島バドクラブ	鹿島クラブA	新神田バドクラブA
			5部B	BAD BOYS	IBCスペシャル	三馬バドクラブB
			5部C	ラブスマッシュS	チームアクセス	N・Fクラブ
			5部D	津幡クラブA	能美クラブ	千坂バドクラブ
			6部A	TEAM UZI	千代野バドクラブA	内灘バドクラブ
			6部B	あふた～5	浅野川シャトルズ	西南部クラブ
			6部C	翼会B	宝町クラブA	フェニックスC
			6部D	額バードクラブB	ラブスマッシュX	美川クラブB
			7部A	NEW CITY	能美辰口クラブ	美川クラブD
			7部B	飛翔会C	鶴来バドクラブA	宝町クラブB
			7部C	津幡クラブB	ホワイトシャトルズ	サンケイ
			女子1部	二水クラブ	額バードクラブA	あすなろクラブA
			2部	飛翔会A	内灘クラブA	津幡クラブA
			3部	千代野クラブ	七尾クラブ	瓢友クラブ
			4部A	あすなろクラブB	野々市クラブA	くろゆりクラブ
			4部B	K.L.C	新神田クラブA	ラブオールI
			5部A	大浦公民館	津幡クラブB	すみれクラブ
			5部B	SAKURA	浅野川シャトルズ	米泉クラブ
			5部C	翼会B	押野クラブ	材木クラブA
			5部D	三馬バドクラブB	翼会A	フェニックスC
			6部A	粟崎バドミントン	野々市クラブC	美川クラブC
			6部B	小坂クラブB	西南部クラブ	新神田バドクラブB
			6部C	飛翔会B	野々市クラブB	ラブオールII
			6部D	あさのシャトルズ	ラブスマッシュV	チームアクセス
11	H11	金沢市	男子1部	飛翔会A	大吟醸クラブA	美川クラブ
	7 11	美川町	2部	三馬バドクラブA	翼会	飛翔会B
	～	寺井町	3部A	M.B.A	オールプレーヤーズ	金沢バドクラブ
	11 14	河北郡	3部B	大吟醸クラブB	中央フレンズ	あすなろクラブA
			4部A	ニューフェイス	あふた－5	三馬バドクラブ
			4部B	フェニックスA	U.Z.IA	BNF
			4部C	鹿島クラブA	輪島クラブ	津幡クラブA
			4部D	ラブスマッシュS	BAD BOYS	チームアクセス
			5部A	津幡クラブB	コアラクラブ	フェニックスC
			5部B	三馬バドクラブB	ラブスマッシュX	額バードクラブB
			5部C	押野クラブA	宝町クラブA	瓢友クラブB
			5部D	浅野川シャトル	千代野クラブA	ラブスマッシュE

回数	年度 期日	会場	クラス別	団体		
				1位	2位	3位
11	H11 7 11 〜 11 14	金沢市 美川町 寺井町 河北郡	男子6部A	石川高専	ホワイトシャトルズ	VICTUS
			6部B	ラブバドミントンA	小坂クラブA	千代野クラブB
			6部C	N. B. A A	能美辰口クラブ	美川クラブD
			6部D	宝町クラブB	サンケ	新神田バドクラブB
			7部A	ファンシャトル	イラブオール	U. Z. I B
			7部B	ラブスマッシュI	フォーティ	大徳クラブ
			女子1部	尾山台クラブ	飛翔会A	あすなろクラブA
			2部	金沢バドクラブ	美川クラブA	津幡クラブA
			3部A	大徳クラブA	フェニックスA	鶴来クラブA
			3部B	高松クラブ	七尾クラブ	瓢友クラブ
			4部A	額バードクラブB	美川クラブB	あさのシャトルB
			4部B	ラブスマッシュY	中央フレンズ	すみれクラブ
			4部C	三馬バドクラブB	津幡クラブB	大浦クラブ
			4部D	SAKURA	浅野川シャトルズ	翼会
			5部A	大徳クラブC	野々市クラブB	立山クラブ
			5部B	大徳クラブB	津幡サーティ	西南部クラブ
			5部C	あさのシャトルA	材木クラブB	能美クラブ
			5部D	宝町クラブ	新神田バドクラブB	N. B. A
			6部A	KASIMA	フォーティ	たんぽぽ
			6部B	TEAM UZI	たんぽぽB	飛翔会B
12	H12 7 9 〜 11 12	金沢市 松任市 美川町 寺井町 河北郡 鶴来町 根上町	男子1部	大吟醸クラブA	飛翔会A	美川クラブA
			2部	M. B. A	大吟醸クラブB	飛翔会B
			3部A	オールプレーヤーズ	あすなろクラブB	ラブスマッシュV
			3部B	フェニックスA	鹿島クラブA	中央フレンズ
			4部A	津幡クラブB	チームアクセス	千代野クラブA
			4部B	U. Z. I A	IBCスペシャル	小松稚松会
			4部C	新神田バドクラブA	馬バドクラブC	NF
			4部D	浅野川シャトル	三宇ノ気クラブ	輪島クラブ
			5部A	美川クラブC	額バードクラブB	フェニックスC
			5部B	フェニックスB	瓢友クラブB	たけのこクラブ
			5部C	グリップ	翼会B	I. B. C B
			5部D	NEW	能美クラブ	千坂クラブ
			6部A	ファンシャトル	ラブスマッシュT	たうんず
			6部B	大浦公民館	フォーティ	飛翔会C
			6部C	グリップ	ラブオール	立山クラブ
			6部D	内灘クラブ	西南部クラブ	鶴来バドクラブ
			7部A	U. Z. I B	ラブスマッシュ・スペシャル	グリップB
			7部B	U. Z. I C	M−blood	竹葉
			女子1部	飛翔会	尾山台クラブ	あすなろクラブA
			2部	美川クラブA	津幡クラブA	二水クラブ
			3部A	瓢友クラブA	フェニックスA	千代野クラブ
			3部B	七尾クラブ	鶴来バドクラブA	内灘クラブA
			4部A	小松水曜会	くろゆりクラブ	翼会B
			4部B	すみれクラブ	あすなろクラブB	美川クラブB
			4部C	大浦公民館	鶴来バドクラブB	野々市クラブA

回数	年度 期日	会場	クラス別	団体		
				1位	2位	3位
12	H12	金沢市	女子4部D	浅野川シャトル	津幡クラブB	フェニックスB
	7 9	松任市	5部A	立山クラブ	U. Z. I	フェニックスC
	～	美川町	5部B	KASIMA	飛翔会B	小坂バドクラブB
	11 12	寺井町	5部C	翼会A	粟崎バドクラブラブ	チームアクセス
		河北郡	5部D	能美辰口クラブA	スマッシュY	ラブバドミントン
		鶴来町	6部A	三馬ウイング	A. T. S	鶴来バドクラブ
		根上町	6部B	たんぽぽA	飛翔会C	CHEEZE
13	H13	美川町	男子1部	M. B. A	飛翔会A	大吟醸クラブ
	7 15	加賀市	2部	翼会A	飛翔会B	美川クラブA
	～	寺井町	3部A	羽咋クラブ	あすなろクラブA	津幡クラブB
	11 18	根上町	3部B	鹿島クラブA	新神田バドクラブA	小松水曜会
		七尾市	4部A	ヴァイセ高松	チームアクセス	美川クラブB
		田鶴浜	4部B	フェニックスB	能美クラブ	小松第一シャトルズ
		高松町	4部C	ラブスマッシュI	小松稚松会	BAD BOYS
			4部D	輪島バドミントン	宇ノ気クラブ	金沢バドクラブ
			5部A	津幡クラブA	ファンシャトル	西南部クラブ
			5部B	おーるKASIMA	小坂クラブB	大浦クラブ
			5部C	グリップA	フォーテイ	三馬バドクラブB
			5部D	内灘クラブA	ラブオール	千坂バドミントン
			6部A	小坂クラブA	飛翔会C	UZI C
			6部B	鶴来バドクラブ	ラブスマッシュ・スペシャル	UZI B
			6部C	新神田バドクラブ	陽風園バドミントン	ホワイト
			6部D	N. B. A	Victus	あすなろクラブB
			7部A	SYLPHIDE	瓢友クラブD	鶴来クラブB
			7部B	奥能登クラブ	SUZU	フォルテイシモ
			7部C	大天龍	グリップB	CHEEZE
			女子1部	尾山台クラブ	美川クラブA	飛翔会A
			2部	七尾クラブ	二水クラブ	額バードクラブ
			3部A	フェニックスA	内灘クラブ	K. L. C
			3部B	鶴来バドクラブA	すみれクラブ	ラブオール
			4部A	ラブスマッシュO	くろゆりクラブ	U. Z. I
			4部B	オールKASHIMA	あすなろクラブB	翼会B
			4部C	新神田バドクラブ	飛翔会B	鶴来バドクラブB
			4部D	能美辰口クラブ	津幡クラブB	SAKURA
			5部A	三馬ウイング	たんぽぽA	フェニックスC
			5部B	チームアクセス	大徳クラブB	津幡サーティ
			5部C	中央フレンズ	ラブバドミントン	野々市バドB
			5部D	フォーティ	クラブスマッシュR	新神田バドクラブB
			6部A	ファンシャトル	能美寺井	陽風園バドミントン
			6部B	H. L. C	鶴来バドクラブC	三馬シャトル
14	H14	金沢市	男子1部	飛翔会A	M. B. A	大吟醸クラブ
	7 14	美川町	2部	鹿島クラブA	羽咋クラブ	美川クラブA
	／	寺井町	3部A	いいね高松	小松水曜会	あすなろクラブA
	11 17	小松市	3部B	新神田バドクラブA	ブラック大吟醸	七尾ナイター
		津幡町	4部A	ラブスマッシュ	津幡クラブA	金沢バドクラブ

回数	年度 期日	会場	クラス別	団体		
				1位	2位	3位
14	H14 7 14 ～ 11 17	金沢市 美川町 寺井町 小松市 津幡町	男子4部B	中央フレンズ	ニューフェイス	能美クラブ
			4部C	BAD BOYS	浅野川シャトル	ファンシャトル
			4部D	U. Z. I A	宇ノ気クラブ	小坂バドミントン
			5部A	N. B. A	浅野川シャトル	大浦公民館
			5部B	鹿島クラブ	IBCスペシャル	鶴来バドミントン
			5部C	瓢友クラブB	飛翔会C	ラブスマッシュT
			5部D	額バードクラブ	ラブスペシャル	N F
			6部A	瓢友クラブD	千代野クラブ	たうんず
			6部B	SUZUBT	七尾シャトル	あすなろクラブB
			6部C	グリップクラブB	SYLPHIDE	宝町クラブB
			6部D	大天龍	あふた－5	奥能登クラブ
			7部A	渚クラブ	フォルテッシモ	粟崎バドミントン
			7部B	県工クラブ	ミレニアム	cheeze
			女子1部	尾山台クラブ	飛翔会A	美川クラブ
			2部	あすなろクラブA	額バードクラブ	フェニックスA
			3部A	瓢友クラブ	小松水曜会	内灘クラブ
			3部B	すみれクラブ	K. L. C	新神田バドクラブA
			4部A	大徳クラブ	くろゆりクラブA	三馬ウイング
			4部B	野々市クラブA	浅野川シャトル	U. Z. I
			4部C	高松クラブA	翼会B	フェニックスB
			4部D	千代野クラブ	鶴来バドクラブ	津幡クラブB
			5部A	能美寺井	新神田バドクラブ	美川クラブB
			5部B	西南部クラブ	H. L. C	美川クラブC
			5部C	フェニックスC	ファンシャトル	宝町クラブ
			5部D	A. T. S	あさのシャトルB	粟崎バドミントン
			6部A	志雄	くろゆりクラブB	高松クラブB
15	H15 7 11 ～ 11 28	美川町 松任市 辰口町 寺井町 根上町 七尾市 津幡町 鹿島町	男子1部	飛翔会A	M. B. A	大吟醸クラブ
			2部	新神田バドクラブA	I. B. C A	いいね高松
			3部A	U. Z. I A	ラブスマッシュV	瓢友クラブA
			3部B	ブラック大吟醸	あすなろクラブA	飛翔会B
			4部A	津幡クラブA	N. B. A	小松稚松会
			4部B	フォーティ	金沢バドクラブ	輪島バドミントン
			4部C	浅野川シャトル	オールプレーヤーズ	IBCスペシャル
			4部D	ラブスマッシュ	宇ノ気クラブ	グリップA
			5部A	宝町クラブA	燈籠山	翼会B
			5部B	小松第一シャトル	チームアクセス	鶴来バドクラブ
			5部C	材木クラブA	大天龍	コアラクラブ
			5部D	七尾シャトル	ラブオール	内灘クラブ
			6部A	県工クラブ	渚クラブ	新神田バドクラブB
			6部B	U. Z. I B	千坂クラブ	宝町クラブB
			6部C	VICTUS	米泉クラブ	フォルテッシモ
			6部D	西南部クラブ	ラブスマッシュC	ラブバドミントン
			7部A	津幡クラブC	新神田バドクラブ	小松勧進帳
			7部B	SILVER大吟醸	cheeze	粟崎バドミントン

回数	年度 期日	会場	クラス別	団体		
				1位	2位	3位
15	H15	美川町	女子1部	美川クラブA	尾山台クラブ	七尾クラブ
	7 11	松任市	2部	すみれクラブA	津幡クラブA	三馬クラブA
	～	辰口町	3部A	ラブオール	大徳クラブA	鶴来バドクラブA
	11 28	寺井町	3部B	二水クラブ	いいね高松	内灘クラブ
		根上町	4部A	津幡クラブB	小坂クラブ	ラブスマッシュR
		七尾市	4部B	ラブスマッシュO	浅野川シャトル	三馬ウイング
		津幡町	4部C	翼会B	辰口クラブA	U. Z. I
		鹿島町	4部D	フェニックスB	あすなろクラブB	ファンシャトル
			5部A	宝町クラブ	材木クラブ	くろゆりクラブB
			5部B	志雄	チームアクセス	美川クラブB
			5部C	中央フレンズ	あさのシャトルA	野々市C
			5部D	翼会A	ラブスマッシュY	ラブバドミントン
			6部A	ラブオールⅡ	すみれクラブ	高松クラブ
			6部B	大徳クラブ	ベスト	cheeze
16	H16	美川町	男子1部	飛翔会A	M. B. A	新神田バドクラブA
	7 11	辰口町	2部	ブラック大吟醸	U. Z. I A	I. B. C. A
	～	寺井町	3部A	ラブMASTERS	浅野川シャトルズ	津幡クラブA
	11 28	根上町	3部B	あすなろクラブA	瓢友クラブA	BAD BOY
		羽咋市	4部A	津幡クラブB	宝町クラブA	N. B. A
		七塚町	4部B	金沢バドクラブ	材木クラブ	小松稚松クラブ
			4部C	小松水曜会	燈籠山クラブA	オールプレーヤーズ
			4部D	にいーちゃんず	チームアクセス	中央フレンズ
			5部A	VICTUS	鶴来クラブA	UZI B
			5部B	県工クラブ	内灘クラブ	西南部クラブ
			5部C	押野クラブA	陽風バドミントンクラブ	米泉クラブ
			5部D	ファンシャトルズ	渚クラブ	大浦クラブ
			6部A	シルバー大吟醸	津幡クラブC	フォルテッシモ高松
			6部B	奥能登クラブ	cheeze	小坂クラブB
			6部C	ミレニアム	新神田クラブB	たうんず
			6部D	石川高専	新神田クラブC	美川クラブB
			7部A	ホワイトシャトルズ	K. B. C	燈籠山クラブB
			7部B	GOLD大吟醸	バドぱわあず	DRUG STORES
			女子1部	美川クラブA	七尾クラブ	尾山台クラブ
			2部	津幡クラブA	二水クラブ	金沢バドミントンクラブ
			3部A	内灘クラブ	瓢友クラブ	大徳クラブA
			3部B	鶴来バドクラブA	いいねエー高松	額バードクラブA
			4部A	小坂バドミントンクラブ	ファンシャトルズ	K. L. C
			4部B	千代野クラブ	浅野川シャトルズ	ラブスマMICKEY
			4部C	新神田クラブA	材木クラブ	能美辰口クラブA
			4部D	あすなろクラブ	TEAM UZI	野々市クラブA
			5部A	ラブオールズⅡ	たんぽぽ	野々市クラブC
			5部B	フェニックスC	大徳クラブB	くろゆりクラブB
			5部C	A. T. S	すみれクラブB	新神田クラブB
			5部D	米泉クラブ	西南部クラブ	粟崎バドミントン
			6部A	小松第一シャトルズ	あさのシャトルC	灯篭山倶楽部
			6部B	津幡クラブC	高松クラブB	能美辰口クラブC

回数	年度 期日	会場	クラス別	団体		
				1位	2位	3位
17	H17 7 10 ～ 11 13	美川町 辰口町 寺井町 根上町 羽咋市 七塚町	男子1部	飛翔会A	M.B.A	大吟醸クラブ
			2部A	七尾クラブ	瓢友クラブA	津幡クラブA
			2部B	金市工クラブ	U.Z.IA	鹿島フラッパーズ
			3部A	県工クラブ	飛翔会B	フェニックスA
			3部B	羽咋クラブ	オールプレーヤーズ	中央フレンズA
			3部C	宝町クラブ	にぃちゃんず	津幡クラブB
			3部D	小松水曜会	宇ノ気クラブ	材木クラブ
			4部A	ラブオール	西南部クラブ	小松第一シャトル
			4部B	U.Z.IB	輪島クラブ	大天龍
			4部C	SILVER大吟醸	瓢友クラブB	能美クラブ
			4部D	I.B.Cスペシャル	内灘クラブ	野々市グリップ
			5部A	石川高専	SYLPHIDE	ニューフエイス
			5部B	K.B.C	小坂バドミントンA	ラブバドミントン
			5部C	D.S.B	バドぱわぁず	cheeze
			5部D	GOLD大吟醸	津幡クラブC	ホワイトシャトル
			6部A	PANDDRA	初陣	内灘クラブB
			6部B	小松どんぐり	NBA	千代野クラブ
			6部C	小松勧進帳	ラブoddsan dend	中央フレンズ
			女子1部	美川クラブ	飛翔会A	七尾クラブ
			2部A	すみれクラブ	いいねエー高松	内灘クラブA
			2部B	ラブオールI	二水クラブ	瓢友クラブA
			3部A	K.L.C	津幡クラブB	翼会B
			3部B	小松水曜会	能美辰口クラブA	ラブ・スマMOON
			3部C	ファンシャトルズ	志雄クラブ	U.Z.I
			3部D	新神田クラブA	千代野クラブ	浅野川シャトルズ
			4部A	中央フレンズ	すみれクラブB	粟ヶ崎バドミントン
			4部B	額バードB	津幡クラブC	あさのシャトルA
			4部C	たんぽぽクラブ	くろゆりクラブC	能美辰口クラブC
			4部D	あさのシャトルB	小松第一シャトルズ	西南部クラブ
			5部A	小松どんぐり	津幡サーティー	能美寺井クラブ
			5部B	ぴーち&オレンジ	燈籠山倶楽部	小松南部クラブ
			5部C	能美辰口クラブB	鶴来バドクラブC	陽風バド・クラブ
18	H18 7 9 ～ 11 5	金沢市 美川町 津幡町 寺井町	男子1部	飛翔会A	M.B.A	大吟醸クラブ
			2部A	県工クラブ	美川クラブA	翼会A
			2部B	TEAM UZIA	新神田クラブA	羽咋クラブ
			3部A	中央フレンズA	ラブスマッシュM	ラブオール
			3部B	SILVER大吟醸	いいねエー高松	飛翔会B
			3部C	IBCスペシャル	燈籠山倶楽部	オールプレーヤーズ
			3部D	にいーちゃんず	内灘クラブ	宇ノ気クラブ
			4部A	七尾シャトルクラブ	大天龍	K.B.C
			4部B	Victus A	GOLD大吟醸	能美クラブA
			4部C	チームアクタス	金沢バドクラブ	小坂バドクラブA
			4部D	額バードクラブA	ラブスマッシュS	津幡クラブC
			5部A	鹿西おに斬	cheeze	小坂バドクラブA
			5部B	ホワイトシャトルズ	Pandora	ニューフェイス・サ
			5部C	宝町クラブB	奥能登クラブ	フェニックス・クB

回数	年度 期日	会場	クラス別	団体		
				1　位	2　位	3　位
18	H18	金沢市	男子5部D	あふたー5	千坂クラブ	渚倶楽部
	7 9	美川町	6部A	ＩＢＣオールド	小松第一シャトルズB	中央フレンズB
	～	津幡町	6部B	たんぽぽクラブ	額バードクラブB	千代野クラブ
	11 5	寺井町	6部C	美川クラブC	Ｖｉｃｔｕｓ　Ｂ	あすなろクラブB
			女子1部	美川クラブA	尾山台クラブ	飛翔会
			2部A	いいねエー高松	瓢友クラブ	大徳クラブ
			2部B	二水クラブ	内灘クラブA	あすなろクラブA
			3部A	中央フレンズ	フェニックスA	ラブオール
			3部B	鶴来バドクラブA	ＴＥＡＭ　ＵＺＩ	能美辰口クラブA
			3部C	三馬クラブ	浅野川シャトルズ	宝町クラブ
			3部D	千代野クラブ	額バードクラブA	野々市クラブA
			4部A	オールＫＡＳＩＭＡ	小松どんぐりクラブ	ぴーち＆おれんじ
			4部B	小坂バドクラブ	新神田クラブA	宝町クラブ
			4部C	あすなろクラブB	くろゆりクラブ	西南部クラブ
			4部D	燈籠山倶楽部	材木クラブ	鶴来バドクラブB
			5部A	小松南部どんぐり	押野クラブ	高松クラブB
			5部B	美川クラブC	内灘クラブB	野々市クラブB
			5部C	翼会A	美川クラブB	小松第一シャトルズB
19	H19	白山市	男子1部	県工ク	金市工ク	飛翔会A
	7 15	寺井町	2部A	羽咋ク	ブラック大吟醸	美川クA
	～	宝達志水町	2部B	新神田クA	ＳＩＬＶＥＲ大吟醸	翼会A
	11 18	七尾市	3部A	小松水曜会	ＧＯＬＤ大吟醸	七尾シャトル倶楽部
		羽咋市	3部B	いいねェ～高松	津幡クA	金沢バドク
		鹿島町	3部C	燈籠山倶楽部A	瓢友クA	ラヴスマッシュSUNDAY
			3部D	ラブオール	額バードクA	ＣＬＵＢ内灘1組
			4部A	ＫＢＣ	三馬ク	輪島ク
			4部B	ブラックシャトルズ	材木ク	奥能登クA
			4部C	千坂ク	瓢友クB	津幡クB
			4部D	フォーティフォー	西南部ク	あふたー
			5部A	ファンシャトルズ	ＩＢＣオールド	鶴来バドクA
			5部B	ニューフェイスサークル	たんぽぽク	ＩＮＡ
			5部C	バドぱわぁずA	小松どんぐりク	額バードクB
			5部D	押野クA	ＮＢＣ魁	渚倶楽部
			6部A	羽遊ク	新神田クB	千代野ク
			6部B	中央フレンズB	ｒｈｙｔｈｍ	燈籠山クB
			6部C	ＣＬＥＶＥＲ・ＤＩＣＫ	小松勧進帳ク	陽風バドク
			6部D	能美クB	ＮＥＷ・ＣＩＴＹ・ＫＡＮＡＺＡＷＡ	ＰａｎｄｏｒａB
			7部A	小松ＡＳＡＨ	ＣＬＵＢ内灘2組	バドぱわぁずS
			女子1部	美川クA	飛翔会	七尾ク
			2部A	ラブオール	中央フレンズA	瓢友ク
			2部B	内灘クA	すみれクA	小松水曜会
			3部A	フェニックスクA	能美辰口クA	新神田クA
			3部B	小坂バドク	宝達ク	ＴＥＡＭ・ＵＺ
			3部C	ラヴスマッシュMOON	浅野川シャトルズ	ＫＬＣ
			3部D	金沢バドク	額バードクA	ラブオールⅡ
			4部A	津幡クB	宝町ク	ぴーち＆おれんじ

回数	年度 期日	会場	クラス別	団体		
				1位	2位	3位
19	H19 7 15 〜 11 18	白山市	女子4部B	西南部ク	額バードクB	津幡ク C
		寺井町	4部C	フェニックスクB	たんぽぽク	鶴来バドクB
		宝達志水町	4部D	粟崎バドミントン	内灘クB	すみれクB
		七尾市	5部A	能美辰口クC	中央フレンズB	高松クA
		羽咋市	5部B	バドぱわぁずG	野々市クB	能美寺井ク
		鹿島町	5部C	ラブバドミントンク	能美辰口クB	奥能登クB

全国社会人クラブ対抗バドミントン大会成績

年度	回	開催地	種別	1位	2位	3位
H13 2001	第1回	大阪府	一般	兵庫県	神奈川県	兵庫県B
			年代別	神奈川県	大阪府	兵庫県A
H14 2002	第2回	愛知県	一般男子	三重県	埼玉県A	愛知県
			一般女子	神奈川県	兵庫県	滋賀県
			年代別	愛知県A	兵庫県	大阪府
			混合複	大阪府	神奈川県	愛知県A
H15 2003	第3回	神奈川県	一般男子	神奈川県	石川県A	兵庫県
			一般女子	神奈川県	千葉県	大阪府A
			年代別	千葉県	神奈川県	愛知県
			混合複	大阪府	神奈川県	兵庫県
H16 2004	第4回	大阪府	一般男子	愛知県B	愛知県A	神奈川県
			一般女子	神奈川県	大阪府A	群馬県
			年代別(成年)	兵庫県	大阪府	京都府
			年代別(壮年)	兵庫県	大阪府	京都府
			混合複	大阪府	栃木県	和歌山県
H17 2005	第5回	石川県	一般男子	石川県B	愛知県A	大阪府
			一般女子	大阪府	石川県A	千葉県
			年代別(成年)	石川県	京都府	愛知県
			年代別(壮年)	石川県	兵庫県	愛知県
			混合複	京都府	大阪府	兵庫県
H18 2006	第6回	愛知県	一般男子	大阪府	京都府	愛知県
			一般女子	大阪府	愛知県	愛知県
			年代別(成年)	千葉県	愛知県A	兵庫県
			年代別(壮年)	愛知県	京都府	
			混合複	栃木県	愛知県	京都府
H19 2007	第7回	埼玉県	一般男子	愛知県A	千葉県	静岡県
			一般女子	愛知県	宮城県	大阪府
			年代別(成年)	愛知県	千葉県	埼玉県
			年代別(壮年)	愛知県A	愛知県B	三重県
			混合複	三重県	千葉県	愛知県

レディース連盟

全日本レディース選手権大会（団体戦）

回数	年度	会　場	順　位
24	H18	金沢市　白山市	クラブ対抗戦　3位　津幡クラブ

全日本レディース選手権大会（個人戦）

回数	年度	会　場	順　位
1	H18	大　阪　府	(71～80歳の部) 3位　奥本敏美・前田美和子　津幡クラブ

北信越レディースクラブ対抗大会

回数	年度	会　場	種目	順　位
15	H10年(1998)	石川県美川町	Aクラス	金沢フレンドA(優勝)
			Bクラス	金沢フレンドB(2位)　額バードA(3位)
			Cクラス	津幡クラブ、あすなるクラブ(3位)
16	H11年(1999)	富山市	Aクラス	額バードクラブ(3位)
17	H12年(2000)	福井市	Aクラス	千代野クラブ(優勝)　鶴来クラブ(2位)
			Bクラス	金沢フレンド・石川シャトル(3位)
18	H13年(2001)	長野県松本市	Aクラス	金沢フレンド(優勝)
			Bクラス	津幡クラブ(3位)
19	H14年(2002)	石川県美川町	Aクラス	K．L．C(優勝)
			Cクラス	あさのシャトルA(2位)
			Dクラス	たんぽぽクラブ(2位)
20	H15年(2003)	新潟市	Aクラス	フェニックス(2位)
			Dクラス	美川クラブ(2位)
21	H16年(2004)	富山市	Aクラス	辰口クラブ(3位)
			Cクラス	ハスの実(2位)
22	H17年(2005)	福井市	代表権	ラブオール(2位)
			1　部	瓢友クラブ(2位)
			2　部	あすなろクラブA(優勝)　津幡クラブ・すみれクラブ(3位)
			3　部	あすなろクラブB(優勝)　辰口クラブ(優勝)
23	H18年(2006)	長野県松本市	代表権	小松ＳＳＳ(3位)
24	H19年(2007)	新潟県柏崎市	代表権	ラブオール(2位)

※　Aクラス…代表権の部(1～2位は全国大会へ)　1部は上級の上の部
Bクラス(2部)…上級の部　Cクラス(3部)…中級の部　Dクラス…初級の部

石川県レディース競技大会　団体戦　優勝クラブ

回	年度	参加数	サファイア	ゴールド	エメラルド	ダイヤモンド	パール
23	H10	58チーム		額バードクラブ	クイーンシャトルズ	K・L・C	レインボー
24	H11	57チーム		鶴来クラブ	額バードクラブ	野々市クラブ	ラブスマッシュ
25	H12	60チーム		あすなろクラブ	クイーンシャトルズ	宇ノ気クラブ	ベストシャトル
26	H13	55チーム		K・L・C	あさのシャトルズ	城西バドミントンクラブ	美川クラブ
27	H14	42チーム		フェニックスクラブ	フェニックスクラブ	HOUSAI	小松SSS
28	H15	50チーム		フェニックスクラブ	ハスの実	額バードクラブ	美川クラブ
29	H16	53チーム	美川クラブ	すみれクラブ	小松SSS	米泉バドミントンクラブ	あさのシャトルズ
30	H17	57チーム	美川クラブ	すみれクラブ	津幡クラブ フェニックスクラブ	奥能登クラブ	粟崎バドミントンクラブ
31	H18	46チーム	美川クラブ	ラブオール	大徳クラブ	三馬クラブ	くろゆりクラブ
32	H19	52チーム	美川クラブ	内灘クラブ	奥能登クラブ	新神田バドミントンクラブ	あさのシャトルズ

石川県レディース競技大会　個人戦　優勝者

回	年度	参加数	サファイア	ゴールド		エメラルド		ダイヤモンド		パール	
22	H10	488名	川端・酒井 (高松クラブ)	A	山田・坂田 (フェニックス)	A	吉田・金澤 (ベストシャトル)	A	池田・川口 (クイーンシャトルズ)	A	神田・新出 (野々市クラブ)
				B	三国・岡田 (高松クラブ)	B	隅田・宮岸 (ベストシャトル)	B	能登・北野 (クイーンシャトルズ)	B	中井・橋本 (田上バド)
				C	茶谷・町出 (味噌蔵公民館)	C	坂・矢崎 (田上バド)	C	木村・松島 (ラブオール)	C	上田・小嶋 (押野クラブ)
				D	桶谷・岡部 (内灘クラブ)	D	谷内・山田 (田上バド)	D	周田・山本 (チームアクセス)	D	小幡・山崎 (七尾レディース)
				E	和田・四登 (宇ノ気クラブ)						
23	H11	340名	西島・和田 (宇ノ気クラブ)	A	宮田・脇坂 (ラブオール)	A	小山・小林 (押野クラブ)	A	山原・市本 (野々市クラブ)	A	向井・五十里 (西クラブ)
				B	北川・吉田 (すみれクラブ)	B	武部・高橋 (ベストシャトル)	B	橋・村上 (津幡サーティ)	B	沢本・松橋 (宇ノ気クラブ)
				C	竹田・瀬戸 (瓢友クラブ)	C	増田・岡田 (三馬クラブ)				
				D	本井・奥村 (千代野クラブ)						
24	H12	368名	村田・和田 (宇ノ気クラブ)	A	俵・角地 (フェニックス)	A	堀・東 (せせらぎクラブ)	A	馳部・山田 (あさのシャトルズ)	A	桑島・若生 (大徳クラブ)
				B	細川・宮本 (瓢友クラブ)	B	青木・小原 (ハスの実)	B	澤本・松橋 (宇ノ気クラブ)	B	金戸・相原 (辰口クラブ)
				C	中西・児嶋 (辰口クラブ)			C	細川・垣内 (七尾レディース)		
				D	青木・渡辺 (千代野クラブ)						
25	H13	336名	青木・松本 (すみれクラブ)	A	東・吉田 (すみれクラブ)	A	佐々木・松本 (HOUSAI)	A	藤田・山崎 (ラブスマッシュ)	A	稲垣・阿知波 (チームアクセス)

回	年度	参加数	サファイア	ゴールド		エメラルド		ダイヤモンド		パール	
25	H13	336名		B	塩口・南口（K・L・C）	B	新谷・高橋（ベストシャトル）	B	桑島・若生（大徳クラブ）	B	瀬戸・平山（田上クラブ）
				C	岡部・魚棚（内灘クラブ）	C	垣内・細川（七尾シャトル）				
				D	荒木・奥村（瓢友クラブ）						
26	H14	340名	中村・竹井（ファンシャトル）	A	堀田・大和（すみれクラブ）	A	川島・高田（内灘クラブ）	A	石原・斉藤（ベストシャトル）	A	勘傳・平村（小松ＳＳＳ）
				B	神野・江口（あすなろクラブ）	B	木村・久野（諸江シャトル）	B	池上・邑元（七尾レディース）	B	川　・寺田（ハスの実）
				C	三谷・松井（額バードクラブ）	C	山下・平野（辰口クラブ）				
				D	本井・奥村（千代野クラブ）						
27	H15	334名	前田・安川（津幡クラブ）	A	瀬戸・細川（瓢友クラブ）	A	米田・宮本（千代野クラブ）	A	田村・澤田（あさのシャトルズ）	A	伊関・鳴瀬（味噌蔵クラブ）
				B	得田・小間（ラブオール）	B	米谷・紺谷（津幡クラブ）	B	岡田・馳部（あさのシャトルズ）	B	志村・寺田（美川クラブ）
				C	東　・町出（味噌蔵クラブ）	C	木村・寺井（ハスの実）	C	瀬戸・加田（Ａ．Ｔ．Ｓ）	C	米口・江川（たんぽぽクラブ）
28	H16	304名	鍛冶・川上（美川クラブ）	A	久田・徳本（津幡クラブ）	A	桶谷・高田（内灘クラブ）	A	山崎・藤田（小松ＳＳＳ）	A	染川・倉島（美川クラブ）
				B	宮本・山田（瓢友クラブ）	B	谷口・　角（小松ＳＳＳ）	B	北川・角谷（すみれクラブ）	B	吉山・高石（あさのシャトルズ）
				C	柳瀬・寺井（ハスの実）	C	木村・山口（Ｋ．Ｌ．Ｃ）	C	大谷・練合（美川クラブ）	C	小森・白崎（美川クラブ）
29	H17	306名	松本・青山（すみれクラブ）	A	西　・能口（あすなろクラブ）	A	志水・筒井（あすなろクラブ）	A	麻生・樋間（押野クラブ）	A	武野・竹田（額バードクラブ）
				B	竹田・荒木（瓢友クラブ）	B	中西・児嶋（辰口クラブ）	B	小原・足立（辰口クラブ）	B	玉作・富松（粟崎バドミントンクラブ）
				C	町出・藤本（味噌蔵クラブ）	C	山田・今村（フェニックス）			C	泉　・山口（奥能登クラブ）
30	H18	302名	斉藤・吉田（美川クラブ）	A	江口・清水（あすなろクラブ）	A	川下・斉藤（津幡クラブ）	A	前畑・桐田（たんぽぽクラブ）	A	米口・三木（たんぽぽクラブ）
				B	小山・山形（新神田バドミントンクラブ）	B	麻生・樋間（押野クラブ）	B	連　・安江（諸江シャトル）	B	米永・土生（くろゆりクラブ）
				C	奥本・山田（津幡クラブ）	C	沢村・四ッ井（小松ＳＳＳ）	C	武野・竹田（額バードクラブ）	C	秋山・長尾（小松ＳＳＳ）
31	H19	284名	長丸・酒伊（内灘・鶴来クラブ）	A	木村・山口（Ｋ．Ｌ．Ｃ）	A	高島・　林（あすなろクラブ）	A	大友・川辺（HOUSAI）	A	田畑・山田（あさのシャトル）
				B	幸田・笠間（フェニックス）	B	中西・児嶋（辰口クラブ）	B	宮崎・角谷（すみれクラブ）	B	権元・　牧（奥能登クラブ）
				C	南出・米田（千代野クラブ）	C	古道・柳原（野々市クラブ）	C	伊藤・朱戸（粟崎バドミントンクラブ）	C	中谷・栄田（小松ＳＳＳ）
										パールビギナー	
										児玉・熊田（新神田・美川クラブ）	

石川県レディース　ファミリー大会〔㈱北國銀行杯ファミリー大会〕

回	年度	参加数	種	1部父親・小学生	種	2部母親・小学生	種	3部　母親と父親
19	H10	516名	A1	中村親子(中央ジュニア)	A1	今井親子(松任ジュニア)	A	隅田・清野(西クラブ)
			A2	西村・片山(津幡クラブ)	A2	関親子(中央ジュニア)	B1	米田・吉野(千代野クラブ)
			A3	豊島親子(中央ジュニア)	A3	榎・山形(新神田クラブ)	B2	栄田・谷口(ラブスマッシュ)
			A4	勝崎親子(中央ジュニア)	A4	鹿島・佐渡(湊ジュニア)		
			B	熊田・愛多地(湊ジュニア)	A5	佐藤親子(新神田クラブ)		
			C	河上親子(ひまわりジュニア)	B	石浦・坂本(小松ジュニア)		
			D	木村親子(加賀クラブ)	C	御前・長井(美川ジュニア)		
					D	木村親子(加賀クラブ)		
20	H11	460名	A1	政谷・北田(湊・美川ジュニア)	A1	山口親子(医王山クラブ)	A	西村・本吉(米泉クラブ)
			A2	世戸・東(湊・美川ジュニア)	A2	興津親子(ひまわりクラブ)		
			A3	操谷親子(ひまわりジュニア)	A3	牧畠親子(中央ジュニア)		
			A4	村上親子(崎浦ジュニア)	A4	福田・中井(東浅川BC)		
			B	嶋田親子(野々市ジュニア)	A5	中村親子(湊・美川クラブ)		
			C	西村・本多(森本・あすなろ)	B	大谷親子(湊・美川ジュニア)		
			D	堂道親子(小松ジュニア)	C	梨村・浜(津幡クラブ)		
					D	米谷親子(津幡クラブ)		
21	H12	354名	A1	安田・隅田(小松ジュニア)	A1	新・佐渡(湊・美川クラブ)	A	川嶋ペア(米泉クラブ)
			A2	徳田親子(中央ジュニア)	A2	大野・高川(湊・美川クラブ)		
			A3	徳田親子(崎浦ジュニア)	A3	吉森親子(松任ジュニア)		
			A4	中村親子(湊・美川ジュニア)	A4	澤本親子(宇ノ気クラブ)		
			B	清水・浅野(崎浦ジュニア)	A5	安田親子(芦城バドクラブ)		
			C	竹田親子(J.Cats)	B	足立親子(湊ジュニア)		
			D	西村親子(津幡クラブ)	C	広瀬・浜(津幡クラブ)		
					D	本井親子(松任JBC)		
22	H13	484名	A1	山本親子(金沢ジュニア)	A1	市村親子(中央ジュニア)	A	寺崎ペア(三馬クラブ)
			A2	荒井親子(大徳ジュニア)	A2	水口親子(ひまわりジュニア)		
			A3	鈴木親子(東浅川SC)	A3	徳田親子(中央ジュニア)		
			A4	吉浦・紙田(大徳ジュニア)	A4	操谷親子(ひまわりジュニア)		
			A5	山森親子(東浅川SC)	A5	北親子(崎浦ジュニア)		
			B	福田・新(湊ジュニア)	A6	植木親子(ひまわりジュニア)		
			C	嶋田・塚本(野々市ジュニア)	A7	三屋親子(松任ジュニア)		
			D	毛利親子(金沢ジュニア)	B	平山親子(相馬クラブ)		
					C	木村親子(K.L.C)		
					D	三谷親子(OKジュニア)		
23	H14	484名	A1	通次親子(ひまわりジュニア)	A1	高川・鹿島(湊ジュニア)	A	遠藤・桜井(米泉クラブ)
			A2	的場・辻(湊ジュニア)	A2	新田親子(湊ジュニア)		
			A3	徳田親子(中央ジュニア)	A3	志村・浅井(湊ジュニア)		
			A4	水口親子(ひまわりジュニア)	A4	篠原親子(湊ジュニア)		
			A5	芝野親子(中央ジュニア)	A5	宮崎親子(OKジュニア)		
			B	鈴木親子(東浅川SC)	A6	吉岡親子(中央ジュニア)		
			C1	神田・山本(大徳ジュニア)	B	大藤親子(金沢ジュニア)		
			C2	関親子(J.Cats)	C	木村親子(K.L.C)		
			D	坂井親子(金沢ジュニア)	D	三谷親子(OKジュニア)		

回	年度	参加数	種	1部父親・小学生	種	2部母親・小学生	種	3部　母親と父親
24	H15	438名	A1	西村親子(OKジュニア)	A1	長尾親子(寺井クラブ)	A	石田・平村(小松SSS)
			A2	三谷親子(OKジュニア)	A2	戸田親子(寺井クラブ)		
			A3	的場・世戸(湊ジュニア)	A3	遠塚親子(OKジュニア)		
			A4	武内親子(崎浦ジュニア)	A4	冨澤親子(大徳ジュニア)		
			A5	松尾・辻(湊ジュニア)	A5	三納親子(おしのジュニア)		
			B	福田親子(湊ジュニア)	A6	関野親子(金沢ジュニア)		
			C	神田・越原(大徳ジュニア)	B	徳田親子(金澤ジュニア)		
			D	関親子(J. Cats)	C	高田・米田(大徳ジュニア)		
					D	武内親子(崎浦ジュニア)		
25	H16	450名	A1	根本親子(中央ジュニア)	A1	林親子(内灘クラブ)		なし
			A2	荒井親子(東淺川SC)	A2	山村親子(中央ジュニア)		
			A3	的場親子(湊ジュニア)	A3	永田親子(中央ジュニア)		
			A4	三納親子(OKジュニア)	A4	西村親子(J. Cats)		
			A5	南親子(崎浦ジュニア)	A5	足立親子(湊ジュニア)		
			A6	小林親子(中央ジュニア)	A6	西川親子(美川ジュニア)		
			B	北川・武内(崎浦ジュニア)	B	田中・河合(崎浦ジュニア)		
			C	浅野親子(高松ジュニア)	C	谷野親子(中央ジュニア)		
			D	神田親子(大徳ジュニア)	D	竹田親子(J. Cats)		
26	H17	540名	A1	山村親子(中央ジュニア)	A1	大谷・政谷(湊ジュニア)	A	岡田・梅本(新神田)
			A2	中村親子(崎浦ジュニア)	A2	小西親子(小松ジュニア)		
			A3	芝野親子(中央ジュニア)	A3	市本親子(野々市ジュニア)		
			A4	杉中親子(崎浦ジュニア)	A4	寺田親子(湊ジュニア)		
			A5	二木親子(ラブスマッシュ)	A5	吉森親子(松任JBC)		
			A6	清水親子(崎浦ジュニア)	A6	細野親子(東淺川SC)		
			B1	南親子(崎浦ジュニア)	A7	紺谷親子(ひまわりジュニア)		
			B2	高橋親子(ラブスマッシュ)	B	林親子(内灘ジュニア)		
			C	東親子(崎浦ジュニア)	C	桶谷親子(内灘ジュニア)		
			D	竹田親子(J. Cats)	D	星親子(松任JBC)		
27	H18	528名	A1	嶋親子(崎浦ジュニア)	A1	高木親子(崎浦ジュニア)		なし
			A2	可長親子(崎浦ジュニア)	A2	山崎親子(崎浦ジュニア)		
			A3	鈴木・山森(東淺川SC)	A3	橘親子(おしのジュニア)		
			A4	南部・福村(湊ジュニア)	A4	吉川親子(金沢ジュニア)		
			A5	大町親子(金沢ジュニア)	A5	西嶋親子(崎浦ジュニア)		
			A6	小路親子(金沢ジュニア)	A6	多々見親子(高松ジュニア)		
			B	荒井親子(東淺川SC)	A7	長谷川親子(OKジュニア)		
			C1	桝野・多嶋(小松ジュニア)	A8	嶋親子(中村クラブ)		
			C2	幸田・中村(おしのジュニア)	B	買手屋・前中(OKジュニア)		
			D	木村親子(加賀クラブ)	C	岩内親子(野々市ジュニア)		
					D	神田親子(大徳ジュニア)		
28	H19	618名	A1	気谷親子(七塚ジュニア)	A1	牧畠親子(中央ジュニア)		なし
			A2	折戸・北井(七塚ジュニア)	A2	桃井親子(湊ジュニア)		
			A3	日光親子(大徳ジュニア)	A3	根上親子(美川ジュニア)		
			A4	米谷親子(津幡クラブ)	A4	井野山親子(J. Cats)		
			A5	嶋親子(崎浦ジュニア)	A5	吉尾・荒木(瓢友・J. Cats)		
			A6	芝野親子(中央ジュニア)	A6	岸親子(崎浦ジュニア)		
			A7	尾小山親子(高松ジュニア)	A7	筆親子(崎浦ジュニア)		
			B	南部・和久(湊ジュニア)	A8	橋田・水鳥(津幡クラブ)		
			C	弓立親子(小松ジュニア)	A9	山本親子(大徳ジュニア)		

回	年度	参加数	種	1部父親・小学生	種	2部母親・小学生	種	3部　母親と父親
28	H19	618名	D	谷野親子(金沢ジュニア)	A0	松本親子(七塚ジュニア)		
					A1	丸山親子(中央ジュニア)		
					B	市井親子(ひまわりジュニア)		
					C	若松親子(野々市ジュニア)		
					D	長丸親子(内灘ジュニア)		

石川県レディースふれ愛交歓会優勝者

回	年度	参加数	1部	種	2部	種	3部
6	H10	270名	神野・江口(あすなろクラブ)	A	小山・小林(押野クラブ)	A	山崎・斎藤(ラブスマッシュ)
				B1	木村・山口(K.L.C)	B1	布島・谷本(K.L.C)
				B2	得田・山科(ラブオール)	B2	大藤・吉川(あさのシャトル)
				C1	宮本・山本(千代野クラブ)	C1	岩井・滝本(辰口クラブ)
				C2	大田・橋川(諸江シャトルズ)	C2	河合・粟(西南部クラブ)
				D1	寺井・岡本(はすの実クラブ)	D	百田・越川(はまなすシャトル)
				D2	坂田・山田(フェニックスクラブ)	E	橋爪・安多(あさの・はすの実)
				E	高田・西川(大徳クラブ)		
7	H11	268名	中村・竹井(ファンシャトルズ)	A	山科・脇坂(ラブオール)	A	片山・紺谷(額バードクラブ)
				B1	本井・青木(千代野クラブ)	B1	田中・寺崎(米泉クラブ)
				B2	中西・児嶋(辰口クラブ)	B2	表野・前畑(たんぽぽクラブ)
				C1	南口・山口(K.L.C)	C1	広瀬・小坂(せせらぎク・クイーンシャ)
				C2	浜・舩木(津幡クラブ)	C2	四柳・高野(粟崎クラブ)
				D1	寺井・高田(ハスの実・大徳ク)	D	中村・大赤見(中村クラブ)
				D2	若生・木沢(大徳クラブ)	E	酒谷・南(ラブスマッシュ)
				E	堤・田上(額バードクラブ)		
				F	安江・連(諸江シャトルズ)		
8	H12	260名	中村・和田(ファンシャトルズ・宇ノ気クラブ)	A	荒木・奥村(瓢友クラブ)	A	松本・佐々木(HOUSAI)
				B1	越野・高塚(美川クラブ)	B1	寺崎・田中(三馬クラブ)
				B2	若松・安高(たんぽぽ・フェニックス)	B2	田中・池田(辰口クラブ)
				C1	中出・牧野(鶴来クラブ)	C1	若松・山形(新神田クラブ)
				C2	坂本・市井(ラブスマッシュ)	C2	足立・小幡(レインボー)
				D1	寺井・岡本(ハスの実)	D	板林・四柳(粟崎クラブ)
				D2	小手川・小原(辰口クラブ)	E	曽我・久保(大浦公民館)
				E1	出越・坂田(フェニックス)	F	岡島・谷口(あさのシャトル)
				E2	南部・堀(諸江シャ・せせらぎク)		
9	H13	168名	A 松井・川端(額バードクラブ)	A	阿知波・亀山(チームアクセス)		なし
			B 竹田・大杉(松任バトクラブ)	B	山口・吉川(ベスト・N.B.C)		
			C 高塚・松田(美川クラブ)	C	瀬戸・平野(田上ク・犀川ク)		
			D 高田・橋爪(大徳クラブ)	D	加端・上原(美川クラブ)		
			E 田上・水上(額バードクラブ)	E	勘傳・勘傳(ラブスマッシュ小松)		
			F 田中・大野(あさのシャトル)	G	酒谷・南(ラブスマッシュ小松)		
10	H14	168名	長丸・岡部(内灘クラブ)	A	四十野・吉川(ベストシャ・N.B.C)	A	池上・前田(七尾レディース)
				B	若松・山際(HOUSAI・たんぽぽ)	B	瀬戸・森(ATS VICTUS)
				C	宮岸・金村(フェニックス・ベスト)	C	打本・山口(フェニックス・NBC)
				D1	沢本・島橋(宇ノ気・コアラ)	D	三輪・木下(ATS VICTUS)
				D2	奥村・青木(千代野クラブ)	E	勘傳・勘傳(ラブスマッシュ小松)
				E	高田・寺井(大徳ク・ハスの実)	F	中村・高崎(中村クラブ)
				F	安江・田辺(諸江ク・大徳ク)	G	酒谷・南(小松SSS)

回	年度	参加数	1　　部	種	2　　部	種	3　　部
11	H15	206名	角地・宮城（フェニックス）	A	町出・山水（味噌蔵・あすなろ）	A	買手屋・橘（額バードクラブ）
				B	南出・石垣（千代野・グリップ）	B	松本・塩田（味噌蔵バドミントンクラブ）
				C	俵・金村（フェニックスクラブ）	C1	清水・辻花（小松ＳＳＳ）
				D1	坂田・中西（フェニックスクラブ）	C2	島村・高野（粟崎バドクラブ）
				D2	浜・坂本（津幡クラブ）	D1	増山・林（額バードクラブ）
				E	八尾・本城（あさの・大浦公民館）	D2	大谷・遠田（美川クラブ）
				F	高木・山原（野々市クラブ）	E	勘傳・勘傳（ラブスマッシュ小松）
						F	坂本・竹村（味噌蔵バドミントンクラブ）
						G	岡嶋・大野（浅野シャトル）
12	H16	214名	宮城・角地（フェニックス）	A	高田・曽山（内灘クラブ）	A	松本・塩田（味噌蔵バドミントンクラブ）
				B	荒木・山田（瓢友クラブ）	B	東坂・橘（額バードクラブ）
				C1	南出・川端（千代野・額バード）	C1	澤田・松永（HOUSAI T.F.C）
				C2	酒下・森田（津幡クラブ）	D1	岡田・梅木（新神田バドクラブ）
				D	木村・山口（Ｋ．Ｌ．Ｃ）	D2	行野・島（すみれ・押野クラブ）
				E	高田・山田（大徳クラブ）	E	増山・広瀬（額バードクラブ）
						F	西村・鳴瀬（味噌蔵バドミントンクラブ）
						G	岡嶋・大野（あさのシャトル）
13	H17	178名	松本・青山（すみれクラブ）	A	藤本・町出（味噌蔵バドミントンクラブ）	A	松本・増山（材木クラブ）
				B	若山・山際（たんぽぽクラブ）	B	木田・山本（はすの実・千坂ク）
				C	坂田・林（フェニックスクラブ）	C	関塚・山下（はすの実・千坂ク）
				D1	南口・山口（Ｋ．Ｌ．Ｃ）	D	松村・梅木（新神田クラブ）
				D2	濱田・石垣（野々市クラブ・協会）	E	小原・佐々木（辰口クラブ）
				E	紺谷・野村（額バードクラブ）	F	澤田・大野（あさのシャトル）
						G	安江・連（諸江シャトル）
14	H18	160名	宮城・角地（フェニックスクラブ）	A	岡田・中島（はすの実クラブ）	A	志村・志村（美川クラブ）
				B	橋爪・赤池（新神田クラブ）	B	元山・栄田（小松ＳＳＳ）
				C	森橋・南部（美川クラブ）	C	千場・北川（新神田クラブ）
				D1	清田・石垣（野々市クラブ）	D	岡田・木下（新神田クラブ）
				D2	角・橋本（小松ＳＳＳ）	E	打本・加藤（フェニックス・NBC）
				E	杉林・松浦（額バードクラブ）	F	澤田・横山（あさのシャトル）
						G	米永・後藤（くろゆりクラブ）
15	H19	204名	長丸・酒伊（内灘・鶴来クラブ）	A	嶋・小泉（西南部クラブ）	A	朱戸・千場（粟崎クラブ）
				B	小島・上野（小松ＳＳＳ）	B	田中・伊藤（辰口クラブ）
				C	宮崎・竹内（すみれ・ニューシティ）	C	三木・中垣（たんぽぽクラブ）
				D	清田・石垣（野々市・高桑クラブ）	D	岡田・村本（新神田クラブ）
				E	山田・金村（フェニックスクラブ）	E	村田・紬之（津幡サーティ）
						F	山原・御座（野々市クラブ）
						G	岡田・大野（あさのシャトル）

石川県教職員大会

年度	会場	団体	個人	
			男子複	混合複
H10	北陸大	金沢バドク	中口・北村(鹿西高・金商高)	能崎・宇都宮(金沢伏見高・北陵高)
H11	尾山台高	中体連A	中口・高本(鹿西高・三谷小)	能崎・宇都宮(金沢伏見高・北陵高)
H12	尾山台高	中体連A	大井川・長丸(押野小・千坂小)	高来・高来(金沢高)
H13	尾山台高	中体連	大井川・長丸(押野小・千坂小)	寺岡・堀(錦城ラブゲーム)
H14	尾山台高	中体連	大井川・長丸(押野小・千坂小)	高来・高来(金沢高)
H15	尾山台高	中体連A	松本・車(尾山台高・向陽高)	田中・田中(金沢大・金沢大幼稚)
H16	尾山台高	尾山台高	マイナキー・茶谷(金沢学院大)	田中・立花(金沢大・粟生小)
H17	尾山台高	尾山台高	大井川・長丸(蝶屋小・粟崎小)	山口・安島(野田中・津幡南中)
H18	尾山台高	尾山台高	坂東・松本(小将町中・尾山台高)	吉浦・伊東ひ(尾山台高)
H19	尾山台高	尾山台高	坂東・松本(小将町中・尾山台高)	吉浦・伊東可(尾山台高)

全国大会　1位～3位入賞

年度	回	開催地	種目	優勝	2位	3位
H10 1998	37	愛媛県	一般男子団体	石川県選抜		
			一般女子団体			石川県選抜
			一般男子複		大井川・高本組	
			30歳女子複	桶谷・伊東組	宇都宮・東組	
			40歳男子単			水内浩
			50歳男子単			原栄一
H11 1999	38	青森県	一般男子複			大井川・高本組
			30歳女子複	桶谷・伊東組		
			50歳男子単		原栄一	
H12 2000	39	三重県	一般男子団体			石川県選抜
			30歳女子複		桶谷・東組	
			50歳男子単			原栄一
H13 2001	40	福岡県	一般女子団体			石川県選抜
			一般女子単		堀哲子	
			一般女子複		吉田・堀組	
			40歳女子複	桶谷・伊東組		
			50歳男子複	原・高来組		
H14 2002	41	山梨県	一般男子団体			石川県選抜
			一般女子団体		石川県選抜	
			一般女子複	吉田・堀組		
			40歳女子複	桶谷・東組		
			50歳男子単		原栄一	
H15 2003	42	宮崎県	総合成績(団体)		石川県選手団	
			一般男子団体			石川県選抜
			一般女子団体	石川県選抜		
			成壮年男子団体	石川県選抜		

年度	回	開催地	種目	優勝	2位	3位
H15 2003	42	宮崎県	一般男子単			松本雅之
			一般女子単			堀　哲子
			一般女子複	吉田・堀組		
			30歳男子複			長丸・坂東組
			40歳女子複	桶谷・東組		
			50歳男子単			原　栄一
			50歳男子複			原・藤田哲組
H16 2004	43	島根県	総合成績	石川県選手団		
			一般男子団体		石川県選抜	
			一般女子団体	石川県選抜		
			成壮年男子団体			石川県選抜
			一般女子単			堀　哲子
			一般女子複	吉田・堀組		
			30歳女子複	井家・長丸組		
			40歳女子複		桶谷・東組	
			50歳男子複		原・藤田哲組	
			60歳男子単	原　栄一		
H17 2005	44	栃木県	総合成績		石川県選手団	
			一般女子団体	石川県選抜		
			一般男子単	石川県選抜		山下　淳
			一般男子複			車・山下組
			一般女子複	堀・奥村組		
			30歳女子単		橋本明子	
			30歳女子複		長丸・橋本組	
			40歳女子複	桶谷・伊東組		
H18 2006	45	京都府	一般女子団体		石川県選抜	
			一般男子複			松本・山下組
			30歳女子複		宇都宮・長丸組	
			40歳男子複			大井川・中口組
			40歳女子複	桶谷・伊東組		
H19 2007	46	長崎県	一般女子団体		石川県選抜	
			成壮年男子団体			石川県選抜
			一般女子複			吉田・奥村組
			40歳女子複		桶谷・伊東組	
			60歳男子単			原　栄一

学生連盟

中部大学・中部学生選手権大会　入賞チーム・入賞者　○は順位

年度	男子			女子		
	団体	単	複	団体	単	複
S48	3金　大	3奥田　隆男(金大)	2奥田・寺部(金大)	1金　大	2富田　啓子(金大)	2富田・石田(金大)
S51	4金　大	4小池田　満(金大)	2小池田・大村(金大)	1金　大	2成瀬はるみ(金大) 3山本　昌子(金大)	1山本・成瀬(金大)

年度	男子			女子		
	団体	単	複	団体	単	複
S54	①金　大	1 毛利　達彦(金大) 2 堀田　　将(金大) 3 大阪　哲嗣(金大)	1 毛利・堀田(金大) 3 藤田・海道(金大)	②金　大	③直江　裕美(金大)	②直江・内山(金大)
S55	①金　大	1 毛利　達彦(金大) 3 堀田　　将(金大)	1 毛利・堀田(金大) 2 大阪・街道(金大) 4 田村・　楠　(金大)	②金　大	②直江　裕美(金大)	②直江・内山(金大)
S56	①金　大	1 毛利　達彦(金大)	1 毛利・田村(金大) 2 大阪・街道(金大)	②金　大		②内山・宮川(金大)
S57	①金　大	3 山口　俊之(金大) 3 田村　　稔(金大)	3 田村・山口(金大) 3 小崎・大井川(金大)	②金　大	④内山　晶子(金大)	②内山・宮川(金大)
S59	①金　大	1 山口　俊之(金大)	1 山口・　楠　(金大)	②金　大		④岡田・曽我(金大)
S60	①金　大	4 小林　孝史(金大)	2 大井川・永井(金大) 3 小崎・小林(金大)		④岡田真理子(金大)	
S61	①金　大		2 大井川・永井(金大) 4 佐々木・長南(金大)	②金　大		
S62	①金　大	4 長南　正二(金大)	3 佐々木・岡村(金大) 4 長南・長丸(金大)	②金　大	②中嶋　晴美(金大)	
H1	③金　大		3 長丸・　東　(金大)	③金　大		
H2	③金　大			②金　大		②渡辺・浜田(金大)
H5	③金　大	3 宮前　　仁(金大)				
H7	②金　大	3 吉田　茂昭(金大)	2 宮前・吉田(金大)			
H8	①金　大	1 吉田　茂昭(金大) 3 吉井　　剛(金大)				
H11	②学院大	2 越前　直哉(学院大) 3 茶谷　徳靖(学院大)	2　南　・山崎(学院大) 3 茶谷・宮本(学院大)			
H12	①学院大	1 茶谷　徳靖(学院大) 2 山下　　淳(学院大) 3 山本　　満(学院大)	1 前田・岡野(学院大) 2 廣瀬・橋本(学院大) 3 茶谷・宮本(学院大)	③　金　大		③須崎・田中(金大)
H13	①学院大	2 山下　　淳(学院大) 3 廣瀬　雅士(学院大) 3 茶谷　徳靖(学院大)	1 廣瀬・岡野(学院大) 2 茶谷・宮本(学院大) 3 前田・山下(学院大)			
H14	①学院大 ③金　大	2 山下　　淳(学院大) 3 山本　　満(学院大) 3 茶谷　徳靖(学院大)	1 廣瀬・岡野(学院大) 2 茶谷・宮本(学院大) 3 山下・山本(学院大) 3 酒井・　森　(学院大)			
H15	①学院大	1 山本　　満(学院大) 2 山下　　淳(学院大) 3 村上　　亮(学院大) 3 廣瀬　雅士(学院大)	1 山下・山本(学院大) 2 廣瀬・岡野(学院大) 3 酒井・横山(学院大) 3　森　・村上(学院大)			
H16	①学院大	1 酒井　直英(学院大) 2 村上　　亮(学院大) 3 青山　大将(学院大) 3 上田　晋也(学院大)	1 酒井・横山(学院大) 2 村上・筒井(学院大) 3　森　・青山(学院大) 3 上田・澤井(学院大)			

年度	男子			女子		
	団体	単	複	団体	単	複
H17	①学院大	①村上　亮(学院大) ②森　雄大(学院大) ③森　直樹(学院大) ③大岡　兄昌(学院大)	①村上・上田(学院大) ②森・青山(学院大) ③筒井・青山(学院大) ③中井・山口(学院大)			
H18	①学院大	①村上　亮(学院大) ②森　直樹(学院大) ③山口　俊(学院大) ③大岡　兄昌(学院大)	①青山・筒井(学院大) ②安村・伊東(学院大) ③中井・杉本(学院大) ③村上・山口(学院大)	②学院大	③松任　由貴(学院大)	
H19	①学院大	①大岡　兄昌(学院大) ②川村　勝平(学院大) ③青山　天将(学院大) ③伊東　克範(学院大)	①青山・伊東(学院大) ②安村・山田(学院大) ③丹藤・藤本(学院大) ③中井・杉本(学院大)	②学院大		3田甫・細川(学院大)

西日本大会　入賞チーム・入賞者　○は順位

年度	男子		
	団体	単	複
H8	⑤金　大		
H11	⑤学　院　大		②茶谷・宮本(学院大)
H12	⑤学　院　大	③山下　淳(学院大)	
H13	②学　院　大	③山下　淳(学院大)	①廣瀬・岡野(学院大)
H14	②学　院　大		②廣瀬・岡野(学院大)
H15	②学　院　大	①山本　満②廣瀬雅士③山下　淳(学院大)	1廣瀬・岡野2酒井・横山3山下・山本(学院大)
H16	②学　院　大	②村上　亮③山下　淳(学院大)	1酒井・横山2森・青山3村上・筒井(学院大)
H17	③学　院　大	③村上　亮(学院大)	①森・青山(学院大)
H18	③学　院　大	②村上　亮③大岡兄昌(学院大)	
H19	③学　院　大	②伊東克範(学院大)	②青山・伊東3安村・山田(学院大)

全日本大会(インカレ)　入賞チーム・入賞者　○は順位

年度	男子		
	団体	単	複
H14	5学　院　大		
H15	③学　院　大	⑤山本　満(学院大)	⑤廣瀬・岡野(学院大)
H16	⑤学　院　大		⑤酒井・横山(学院大)
H17	⑤学　院　大		
H18	5学　院　大		
H19	5学　院　大		

北信越春季・秋季リーグ（11年度よりすべて１部）入賞チーム・入賞者　○は順位

年度	男子		女子	
	春季リーグ	秋季リーグ	春季リーグ	秋季リーグ
H５	１部③金　大	１部①金　大	１部②金　大	１部④金　大
H７	１部①金　大	１部②金　大	１部①金　大	
H８	１部①金　大	１部③金　大		
H10	（３部）１学院大	（２部）①学院大		
H11	①学院大	①学院大		
H12	①学院大	①学院大		
H13	①学院大２金　大	①学院大③金　大		
H14	①学院大２金　大	①学院大④金　大	①金　大	③金　大
H15	①学院大４金　大	①金沢学院大②金　大	③金　大	④金　大
H16	①金沢学院大３金　大	①金沢学院大③金　大	③金　大(2部)①学院大	①学院大
H17	①学院大２金　大	①学院大④金　大	①学院大②金　大	①学院大②金　大
H18	①学院大４金　大	①学院大④金　大	①学院大③金　大	①学院大②金　大
H19	①学院大	①学院大②金　大	①学院大	①学院大②金　大

北信越夏季・冬季リーグ　入賞チーム・入賞者　○は順位

年度	男子		女子	
	夏季個人戦	冬季個人戦	夏季個人戦	冬季個人戦
H５	単②宮前　仁(金大) 複①坂野・宮前(〃)		単③吉田　優美(金大) 複③東・吉田(〃)	
H７	単①吉田　茂昭(金大) ②中川　拓也(〃) 複①宮前・吉田(〃) ②出越・高本(〃)	単①吉井　剛(金大) ②吉田　茂昭(〃) 複②吉田・吉井(〃)	単③吉田　優美(金大) 複②吉田・河合(〃)	単③A河合加奈子(金大) 複③B中村・織田(〃)
H８	単①吉井　剛(金大) ②吉田　茂昭(〃) ③中川　拓也(〃) 複①吉田・吉井(〃) ②中川・太郎良(〃)	単②吉井　剛(金大) ③中川　拓也(〃) 複①中川・吉井(〃)		
H13	複④A越野・則武(金大)	単①B辻屋　祐樹(金大) 複④A越野・則武(〃) ③B辻屋・新谷(〃)	単③A田中恭子(金大)	単③A田中恭子(金大)
H14	単①A則武　達(金大)	単①B長崎裕幸(金大) ③B柏　祐樹(〃) 複１B長崎・柏(〃)	単②水江真貴子(金大)	単①水江真貴子(金大) 複②高山・水江(〃)
H15			単①水江真貴子(金大) 複①山崎・水江(〃)	単①A水江真貴子(金大) 複②A水江・本間(〃)
H16	単１森　雄大(学院大) ２村上　亮(〃) ３澤井　健(〃)	単１大岡　兄昌(学院大) ２鳥淵　翔太(〃) ３森　直樹(〃)	単①牧畠亜季奈(学院大) ③媚山富美華(〃) 複①媚山・牧畠(〃)	単②牧畠亜季奈(学院大) ③媚山富美華(〃) ①水江真貴子(金大)

年度	男子		女子	
	夏季個人戦	冬季個人戦	夏季個人戦	冬季個人戦
H16	複①横山・上田(学院大) ②村上・筒井(〃) ③酒井・澤井(〃) ③鳥淵・丹藤(〃)	複①鳥淵・高寺(学院大) ② 森 ・錦織(〃) ③丹藤・中井(〃) ④A新田 哲也(金大) ③A新田・山口(〃)	単②水江真貴子(金大) 複④水江・本間(〃)	複④水江・高嶋(金大)
H17	単①鳥淵 翔太(学院大) ②山口 俊(〃) ③大岡 兄昌(〃) ③澤井 健(〃) 複①中井・高寺(〃) ②藤本・政谷(〃) ③ 森 ・錦織(〃) ③鳥淵・山口(〃)	単①村上 亮(学院大) ②山口 俊(〃) ③青山 天将(〃) ③大岡 兄昌(〃) 複①青山・大岡(〃) ② 森 ・中井(〃) ③村上・山口(〃) ③丹藤・藤本(〃)	単①松任 由貴(学院大) ②田甫江梨佳(〃) ③媚山富美華(〃) 複①媚山・村上(〃) ②田甫・北市(〃) 単③水江真貴子(金大) 複③水江・中嶋(〃)	単①松任 由貴(学院大) ②田甫江梨佳(〃) ③村上 夏樹(〃) ③北市あかり(〃) 複①北市・松任(〃) ②村上・田甫(〃) ③川端・佐々木(〃) 単③B渡辺貴子(金大)
H18	単①吉田 昇(学院大) ②櫻庭 将樹(〃) ③堂谷内 剛(〃) ③丹藤 卓也(〃) 複①中井・杉本(〃) ②政谷・山田(〃) ③丹藤・吉田(〃)	単①政谷 和俊(学院大) ③堂谷内 剛(〃) ③奥山 公浩(〃) 複①丹藤・山田(〃) ②政谷・中塚(〃) ③堂谷内・奥山(〃) ③ 畑 ・河野(金大)	単①村上 夏樹(学院大) ②北倉沙也香(〃) ③松任 由貴(〃) ③田甫江梨佳(〃) 複①村上・田甫(〃) ②北市・細川(〃) ③松任・北倉(〃)	単②細川 早苗(学院大) ③北倉沙也香(〃) ③田甫江梨佳(〃) 複①田甫・細川(〃) ③川端・北倉(〃) 単①水口さゆり(金大) 複①水口・竹田(〃)
H19	単③池田 大晃(金大) 複② 畑 ・河野(〃)	単①伊東 克範(学院大) ②川村 勝平(〃) ③吉田 昇(〃) ④具志堅興平(〃) 複①安村・水野(〃) ②伊東・猫本(〃) ③伏間・山東(〃) ④吉田・奥本(〃)	単①水口さゆり(金大) 複①水口・竹田(〃) ④中嶋・広田(〃)	単①水口さゆり(金大) ②松任 由貴(学院大) ③前田 桂奈(〃) ④細川 早苗(〃) 複①細川・北倉(〃) ③川端・奥谷(〃)

全国短大大会(女子) 入賞チーム・入賞者 ○は順位

年度	団体	個人	
		単	複
H17	②金沢学院短大		
H18	②金沢学院短大		①北市あかり・細川 早苗(金沢学院短大) ③佐々木彩乃・北倉沙也香(金沢学院短大)

北陸3県短大大会 入賞チーム・入賞者 ○は順位

年度	団体	個人	
		単	複
H17	1 金沢学院短大	1牧畠亜季奈(金沢学院短大)	1村上 夏樹・北市あかり(金沢学院短大)
H18	2 金沢学院短大	1村上 夏樹(金沢学院短大)	2北市あかり・佐々木綾乃(金沢学院短大)

年度	団体	個人	
		単	複
H19	②金沢学院短大	①奥谷　彩香（金沢学院短大） ②前田　桂奈（金沢学院短大）	①北倉沙也香・細川　早苗（金沢学院短大）

高等学校体育連盟

全国高校総体　入賞チーム・入賞者　○は順位（空欄は入賞なし）

年度	開催地	男子	女子		
		複	団体	単	複
H10	高松市	③洒井・茶谷(金市工)	②向陽		③舛田・田村(向陽)
H11	滝沢村	③山下・廣瀬(金市工)	②向陽		
H12	各務原市				②加賀・西村(向陽)
H13	八代市		③向陽		
H14	つくば市		③向陽		
H15	長崎市			③伊東可奈(向陽)	③木村・木村、伊東・今井(向陽)
H16	鳥取市		③向陽	②樽野　恵(向陽)	
H17	野田市		③向陽	③樽野　恵(向陽)	
H18	奈良市		②向陽	②樽野　恵(向陽)	③樽野・木村(向陽)
H19	武雄市		②向陽		①村上・桜井(向陽)

全国選抜大会　入賞チーム・入賞者　○は順位（空欄は入賞なし）

年度	開催地	男子			女子		
		団体	単	複	団体	単	複
H 9	東京都	③金市工			③向　陽		
H10	滝沢村		③山下　淳(金市工)	③山下・廣瀬(金市工)	③向　陽		
H11	各務原市						③田井・梅津(向陽)
H12	塩釜市						
H13	長崎市						
H14	富士宮市						③伊東・梨木(向陽)
H15	山口市				③向　陽		
H16	松山市				②向　陽		①浜中・樽野(向陽)
H17	敦賀市				①向　陽	①樽野　恵(向陽)	②樽野・木村(向陽)
H18	札幌市						

北信越大会

年度	開催地	男子			女子		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
H10	金沢市	金沢市工			金沢向陽		尾山台
H11	長岡市	金沢市工			金沢向陽		
H12	福井市			金沢市工		金沢向陽	
H13	高岡市		金沢市工		金沢向陽		
H14	長野市	金沢市工			金沢向陽		
H15	金沢市		金沢市工		金沢向陽		尾山台
H16	新発田市	金沢市工			金沢向陽		尾山台
H17	福井市			金沢市工 県立工業	金沢向陽		
H18	高岡市			金沢市工 県立工業	金沢向陽		尾山台
H19	長野市	金沢市工			金沢向陽		

石川県高校総体　優勝校・優勝者

年度	男子			女子		
	団体	単	複	団体	単	複
H10	金市工	酒井忠相(金市工)	酒井・茶谷(金市工)	向陽	田村　恵里(向陽)	田村・舛田(向陽)
H11	〃	山下　淳(〃)	山下・廣瀬(〃)	〃	西　宏予(〃)	西・曽我(〃)
H12	〃	横山康博(〃)	車・横山(〃)	〃	田井　美幸(〃)	田井・梅津(〃)
H13	〃	村上　亮(〃)	藤井・村上(〃)	〃	青山　早希(〃)	水江・宮崎(〃)
H14	〃	村上　亮(〃)	村上・宮村(〃)	〃	青山　早希(〃)	青山・通次(〃)
H15	〃	宮村順也(〃)	宮村・山田(〃)	〃	木村　咲絵(〃)	木村・木村(〃)
H16	〃	山口　俊(〃)	安藤・伊東(〃)	〃	浜中麻亜子(〃)	村上・浜中(〃)
H17	〃	安藤総兵(〃)	安藤・伊東(〃)	〃	樽野　恵(〃)	浜中・樽野(〃)
H18	県工	坂井一将(〃)	坂井・新田(〃)	〃	樽野　恵(〃)	樽野・木村唱(〃)
H19	金市工	坂井一将(〃)	坂井・新田(〃)	〃	村上　彩(〃)	村上・桜井(〃)

石川県高校新人大会　優勝校・優勝者

年度	男子			女子		
	団体	単	複	団体	単	複
H10	金市工	山下　淳(金市工)	山下・廣瀬(金市工)	向陽	西　宏予(向陽)	西・曽我(向陽)
H11	〃	車　淳史(〃)	車・横山(〃)	〃	梅津　知恵(〃)	田井・梅津(〃)
H12	〃	村上　亮(〃)	藤井・村上(〃)	〃	青山　早希(〃)	水江・山口(〃)
H13	〃	村上　亮(〃)	村上・宮村(〃)	〃	青山　早希(〃)	青山・通次(〃)
H14	〃	宮村順也(〃)	宮村・山田(〃)	〃	木村　咲絵(〃)	伊東・梨木(〃)
H15	〃	安藤総兵(〃)	安藤・伊東(〃)	〃	浜中麻亜子(〃)	水口・南出(〃)
H16	〃	安藤総兵(〃)	安藤・伊東(〃)	〃	浜中麻亜子(〃)	村井・近藤(〃)

年度	男子			女子		
	団体	単	複	団体	単	複
H17	金市工	坂井　将(金市工)	坂井・新田(金市工)	向　陽	樽野　恵(向陽)	樽野・木村唯(向陽)
H18	〃	坂井　将(　〃　)	坂井・新田(　〃　)	〃	桜井みどり(　〃　)	村上・桜井(　〃　)
H19	〃	徳田　允(　〃　)	新　・　辻(　〃　)	〃	三谷美菜津(　〃　)	土谷・三谷(　〃　)

中学体育連盟

石川県体育大会　優勝者

年度	男子			女子		
	団　体	シングルシス	ダブルス	団　体	シングルシス	ダブルス
H10	田鶴浜中学校	中野　真至(河北台中)	岩内・梅田(高岡中)	鹿島中学校	本出　奈月(美川中)	若松・小舘(高岡中)
H11	美川中学校	山下　幸治(田鶴浜中)	宮村・山田(星生中)	美川中学校	木村　咲絵(美川中)	青山・木村(布水中)
H12	美川中学校	山口　俊(美川中)	熊田・島山(美川中)	美川中学校	伊東　可奈(金石中)	御前・梨木(美川中)
H13	美川中学校	山口　俊(美川中)	政谷・世戸(美川中)	御幸中学校	西村　紗希(森本中)	水口・南出(御幸中)
H14	美川中学校	安藤　総兵(大徳中)	新田・島田(美川中)	御幸中学校	浜中麻亜子(美川中)	水口・南出(御幸中)
H15	星生中学校	紙田　智八(港　中)	鈴木・山森(星生中)	美川中学校	村上　彩(城南中)	木村・桜井(美川中)
H16	美川中学校	坂井　将(鳴和中)	新田・政谷(美川中)	美川中学校	村上　彩(城南中)	中尾・宮崎(美川中)
H17	美川中学校	三浦　健豊(金石中)	新　・　辻(美川中)	美川中学校	三谷美菜津(美川中)	長　・冨澤(美川中)
H18	美川中学校	南　淳也(城南中)	吉森・星(松任中)	布水中学校	三谷美菜津(美川中)	三納・疋島(布水中)
H19	松任中学校	南　淳也(城南中)	吉森・星(松任中)	高岡中学校	芝野　真由(高岡中)	西川・塩谷(美川中)

北信越体育大会　1・2位は全中出場、下線はシングルス3位で全中出場

年度	順位	男子			女子		
		団　体	シングルス	ダブルス	団　体	シングルス	ダブルス
H10	優勝	田鶴浜中学校	中野　真至(鹿島中)	岩内・梅田(高岡中)		本出　奈月(美川中)	
	2位				高岡中学校		
	3位	美川中学校		山下・三室(田鶴浜中)	鹿島中学校 美川中学校		水江・能崎(高岡中)
H11	優勝	田鶴浜中学校	村上　亮(城南中)		美川中学校	通次　尚美(板津中)	青山・木村(布水中)
	2位		山下　幸司(田鶴浜中)	宮村・山田(星生中)		木村　咲恵(美川中)	
	3位	美川中学校		山口・島(医王山中)	板津中学校		鍛治・明福(美川中) 羽生・米谷(板津中)
H12	優勝			長尾・山本(田鶴浜中)	美川中学校	伊東　可奈(金石中)	御前・梨木(美川中)
	2位	美川中学校	山口　俊(美川中)			西村　紗希(森本中)	
	3位		宮村　順也(星生中)			木村　綾(布水中)	村上・村井(城南中)
H13	優勝						水口・南出(御幸中)
	2位	美川中学校			城南中学校	西村　紗希(森本中)	松任・田甫(美川中)
	3位		安藤　総兵(大徳中)	政谷・世戸(美川中)	御幸中学校	浜中麻亜子(美川中)	園田・村井(御幸中)
H14	優勝				御幸中学校		水口・南出(御幸中)
	2位					浜中麻亜子(美川中)	近藤・茜(美川中)
	3位			新田・島田(美川中)	美川中学校	南出　さき(御幸中)	

年度	順位	男子			女子		
		団体	シングルス	ダブルス	団体	シングルス	ダブルス
H15	優勝					南出　さき(御幸中)	木村・桜井(美川中)
	2位				美川中学校	村上　彩(城南中)	
	3位		石立健志郎(城南中)	鈴木・山森(犀生中)	城南中学校	長谷川加奈(布水中)	
H16	優勝						
	2位		坂井　一将(鳴和中)	新田・政谷(美川中)			
	3位		水口　裕治(南部中)	清水・石田(医王山中)	美川中学校	村上　彩(城南中)	
H17	優勝	美川中学校	三浦　健豊(金石中)				長　・冨澤(美川中)
	2位						
	3位		徳田　充(城南中)			三谷美菜津(美川中)	山崎・篠原(美川中)
H18	優勝					三谷美菜津(美川中)	
	2位						
	3位	松任中学校 美川中学校					
H19	優勝		南　淳也(城南中)	吉森・　星(松任中)			
	2位						
	3位	松任中学校 美川中学校					西川・塩谷(美川中)

全国大会　入賞者

年度	順位	男子			順位	女子		
		団体	シングルス	ダブルス		団体	シングルス	ダブルス
H10	3位	田鶴浜中学校		岩内・梅田(高岡中)				
H11	3位			宮村・山田(犀生中)	2位			青山・木村(布水中)
H12	3位		宮村　順也(犀生中)		2位	美川中学校		
					3位		伊東　可奈(金石中)	
H14					優勝			水口・南出(御幸中)
H19	2位			吉森・星(松任中)				

少年連盟

全国小学生選手権大会(団体戦)　石川県選抜チーム

年度	開催地	男子		女子	
		順位	選手	順位	選手
H14	10回 広島	5位		1位	村上　彩　桜井みどり 畑　安沙美　室達　茜 駒木　友紀
H17	13回 愛知	3位	竹田　大介　南　淳也 西村　匠　細野　真吾 荒木　隆宏		
H18	15回 大分	1位	松居圭一郎　荒井　大輝 日光　凌　毛利　一穂 丸山諒一郎　大町　康太	5位	

全国小学生選手権大会(個人戦)

年度	回 開催地	種　　目	順位	選　手　名　・　所　属
H10	6回香川	5年　男子(単)	3位	山口　　俊（下甘田ジュニア）
H11	7回広島	6年　男子(単)	3位	山口　　俊（下甘田ジュニア）
		5年　女子(単)	1位	浜中麻亜子（加賀市ジュニア）
			3位	興津　由佳（ひまわりジュニア）
		6年　女子(単)	1位	西村　紗希（森本ジュニア）
H12	8回三重	6年　男子(単)	3位	安藤　総兵（大徳ジュニア）
		6年　女子(単)	2位	浜中麻亜子（加賀市ジュニア）
		6年　女子(複)	3位	南出・水口（ひまわりジュニア）
H13	9回埼玉	4年　男子(複)	3位	関　・　浦　(J.Cats)
		5年　女子(単)	1位	村上　　彩（崎浦ジュニア）
			3位	桜井みどり（大徳ジュニア）
H14	10回広島	5年　男子(単)	2位	三浦　健豊（大徳ジュニア）
		5年　男子(複)	3位	関　・　浦　(J.Cats)
		4年　女子(単)	3位	三谷美菜津（OKジュニア）
		6年　女子(単)	2位	村上　　彩（崎浦ジュニア）
H15	12回宮城	4年　女子(複)	3位	長・河原市（大徳ジュニア）
H16	13回愛知	4年　男子(単)	3位	松居圭一郎（大徳ジュニア）
H17	14回奈良	5年　男子(複)	3位	牧畠・丸山（中央ジュニア）
		4年　女子(複)	2位	星　・吉森（松任ジュニア）
H18	15回大分	5年　女子(複)	2位	星　・吉森（松任ジュニア）

全国小学生ＡＢＣ大会

年度	回	開催地	種　　目	順位	選　手　名　・　所　属
H12	1	栃木大会	男子B	5位	徳田　　充（金沢ジュニア）
H13	2	埼玉大会	女子A	5位	村上　　彩（崎浦ジュニア）
			女子B	3位	三谷美菜津（OKジュニア）
H14	3	香川大会	男子A	3位	三浦　健豊（大徳ジュニア）
			男子B	5位	竹田　大介（J.Cats）
			男子C	5位	松居圭一郎（大徳ジュニア）
H15	4	石川大会	女子A	3位	三谷美菜津（OKジュニア）
			女子B	3位	木村　百花（加賀市ジュニア）
			女子C	3位	星　　千智（松任ジュニア）
				5位	吉森　朱里（松任ジュニア）
H16	5	岐阜大会	男子B	3位	松居圭一郎（大徳ジュニア）
			女子B	3位	長谷川由季（OKジュニア）
H17	6	北海道大会	男子A	5位	神田　　遼（金沢ジュニア）
			女子A	5位	木村　百花（加賀市ジュニア）
			女子B	5位	星　　千智（松任ジュニア）

若葉カップ大会　開催地　京都府長岡京市　西山公園体育館

年度	回	男子		女子	
		順　位	チ　ー　ム　名	順　位	チ　ー　ム　名
H10	14	5位	大徳ジュニア		
H11	15	3位	大徳ジュニア		
H12	16	5位	大徳ジュニア	5位	大徳ジュニア
H14	18	5位	崎浦ジュニア	3位	ＯＫジュニア

石川県ジュニアダブルス大会(19回～28回)会場　美川総合スポーツセンター

【男子優勝者】

年度	小学４年	小学５年	小学６年	中学１年	中学２年
H９	伊東・安藤 (大徳)	中村・豊 (中央)	山本・長尾 (相馬)	村上・苗島 (金沢)	北山・梅田 (中央)
H10	水口・植木 (ひまわり)	伊東・安藤 (大徳)	中村・豊島 (中央)	宮村・山田 (金沢)	村上・苗島 (金沢)
H11	水口・植木 (ひまわり)	市村・石立 (中央・崎浦)	伊東・安藤 (大徳)	山口・政谷 (美川中)	宮村・山田 (金沢)
H12	山本・三浦 (大徳)	水口・植木 (ひまわり)	山森・鈴木 (東淺川)	安藤・廣田 (金沢)	澤・森下 (高松中)
H13	吉森・細川 (松任)	山本・三浦 (大徳)	水口・植木 (ひまわり)	紙田・石立 (金沢)	伊東・新田 (美川中)
H14	竹田・細野 (J.Cats・東淺川)	荒井・古田 (東淺川)	三浦・関野 (金沢)	新田・政谷 (美川中)	山森・鈴木 (金沢)
H15	神田・松居 (大徳)	竹田・細野 (J.Cats・東淺川)	荒井・古田 (東淺川)	徳田・関 (金沢)	新田・政谷 (美川中)
H16	松居・広川 (大徳)	神田・宮 (大徳)	竹田・細野 (J.Cats・東淺川)	荒井・古田 (金沢)	徳田・三浦 (金沢)
H17	丸山・中村 (中央)	松居・日光 (大徳)	神田・宮前 (大徳)	吉森・星 (松任)	荒井・古田 (金沢)
H18	嶋・可長 (崎浦)	丸山・中村 (中央)	松居・日光 (大徳)	神田・宮前 (金沢)	吉森・星 (松任)
H19	尾崎・鈴木 (大徳)	可長・嶋 (崎浦)	大町・小笠原 (金沢・J.Cats)	荒井・西野 (金沢)	城戸・片山 (宇ノ気)

【女子優勝者】

年度	小学４年	小学５年	小学６年	中学１年	中学２年
H９	興津・南出 (ひまわり)	村上・園田 (崎浦)	伊東・村田 (大徳)	通次・米谷 (ひまわり)	古川・水江 (中央)
H10	木村・南出 (ひまわり)	興津・南出 (ひまわり)	村上・園田 (崎浦)	伊東・西村 (金沢・森本中)	青山・木村 (野々市)
H11	室達・桜井 (大徳)	南出・新井 (ひまわり)	水口・南出 (ひまわり)	松任・田甫 (美川中)	伊東・西村 (金沢・森本中)
H12	宮崎・三谷 (ＯＫ)	村上・桜井 (崎浦・大徳)	南出・新井 (ひまわり)	水口・南出 (ひまわり)	松任・田甫 (美川中)
H13	芝野・山村 (中央)	宮崎・遠塚 (ＯＫ)	村上・畑 (崎浦)	南出・新井 (ひまわり)	水口・南出 (ひまわり)
H14	小林・寺井 (中央)	三谷・疋島 (ＯＫ)	宮崎・遠塚 (ＯＫ)	室達・畑 (金沢)	大町・村上 (金沢)
H15	長・河原市 (大徳)	小林・梶山 (中央)	芝野・根本 (中央)	長・宮崎 (美川中)	北・村上 (金沢)
H16	吉森・星 (松任)	芝野・長 (中央・大徳)	武内・元林 (崎浦)	三納・疋島 (ＯＫ)	長・宮崎 (美川中)
H17	吉森・星 (松任)	長谷川・築山 (中央)	西嶋・高田 (崎浦)	森・吉広 (金沢)	三納・疋島 (ＯＫ)
H18	一木・平井 (高松)	吉森・星 (松任)	長谷川・築山 (中央)	明凱・篠原 (美川中)	森・吉広 (金沢)
H19	竹多・坂東 (崎浦)	一木・平井 (高松)	星・吉森 (松任)	立道・坂本 (中島)	芝野・橘 (高岡)

北國杯争奪大会　優勝者（13回～22回）

【小学生の部】

年度	小学４年生以下		小学５年生〔15回までは小学5年生以下〕		小学６年生	
	男　子	女　子	男　子	女　子	男　子	女　子
H 9			伊東　克範（大徳）	西村　紗希（金沢）	宮村　順也（金沢）	伊東　可奈（大徳）
H10			安藤　総兵（大徳）	興津　由佳（ひまわり）	山口　俊（志賀）	西村　紗希（森本）
H11			紙田　誓八（大徳）	南出　さき（ひまわり）	伊東　克範（大徳）	浜中麻亜子（加賀）
H12	三浦　健豊（大徳）	長　広夏（大徳）	水口　裕治（ひまわり）	村上　彩（崎浦）	石立健志郎（崎浦）	新井佳代子（ひまわり）
H13	竹田　大介（J. Cats）	三谷美菜津（ＯＫ）	三浦　健豊（大徳）	長　広夏（大徳）	水口　裕治（ひまわり）	村上　彩（崎浦）
H14	竹田　大介（J. Cats）	小林　絵菜（中央）	荒井　快太（東浅川）	三谷美菜津（ＯＫ）	三浦　健豊（大徳）	長　広夏（大徳）
H15	神田　遼（大徳）	木村　百花（加賀）	南　淳也（崎浦）	小林　絵菜（中央）	木村　光喜（加賀）	三谷美菜津（ＯＫ）
H16	松居圭一郎（大徳）	長谷川由季（ＯＫ）	神田　遼（大徳）	木村　百花（加賀）	竹田　大介（J. Cats）	小林　絵菜（中央）
H17	岸　健次（崎浦）	星　千智（松任）	松居圭一郎（大徳）	長谷川由季（ＯＫ）	神田　遼（大徳）	木村　百花（加賀）
H18	嶋　崇志（崎浦）	吉浦　鈴夏（大徳）	岸　健次（崎浦）	星　千智（松任）	松居圭一郎（大徳）	長谷川由季（ＯＫ）
H19	中村　友哉（中央）	吉浦　鈴夏（大徳）	嶋　崇志（七塚）	一木　美佑（高松）	大町　康太（金沢）	星　千智（松任）

【中学生の部】

年度	中学１年生		中学２年生	
	男　子	女　子	男　子	女　子
H 9	苗島　伸吾（金沢ジュニア）	通次　尚美（ひまわり）	北山　順平（中央）	古川　智子（中央）
H10	宮村　順也（金沢）	木村　咲絵（美川中）	村上　亮（金沢ジュニア）	通次　尚美（ひまわり）
H11	山口　俊（美川中）	西村　紗希（森本中）	宮村　順也（金沢ジュニア）	木村　咲絵（美川中）
H12	伊東　克範（美川中）	浜中麻亜子（美川中）	山口　俊（美川中）	村上　夏樹（金沢）
H13	紙田　誓八（金沢）	南出　さき（ひまわり）	安藤　総兵（金沢）	浜中麻亜子（美川中）
H14	水口　裕治（ひまわり）	村上　彩（金沢ジュニア）	紙田　誓八（金沢ジュニア）	南出　さき（ひまわり）
H15	関　真彦（金沢ジュニア）	大和　美紀（美川中）	水口　裕治（ひまわり）	村上　彩（金沢ジュニア）
H16	浅野　雅貴（高松中）	三谷美菜津（美川中）	関　真彦（金沢ジュニア）	長　広夏（美川中）
H17	南　淳也（城南中）	小林　絵菜（中央）	浅野　雅貴（高松中）	三谷美菜津（美川中）
H18	神田　遼（金沢ジュニア）	芝野　真由（中央）	南　淳也（城南）	小林　絵菜（中央）
H19	日光　凌（高岡）	長谷川由季（ＯＫ）	神田　遼（金沢ジュニア）	芝野　真由（高岡）

石川県小学生バドミントン団体選手権大会（優勝チーム）

年度	回	学年	男子		女子	
			参加数		参加数	
H10	17	5年	14	大徳ジュニア	36	ひまわりジュニアA
		6年	19	中央ジュニア	30	崎浦ジュニア
H11	18	5年	14	大徳ジュニア	33	大徳ジュニアA
		6年	11	中央ジュニア	32	ひまわりジュニア
H12	19	5年	15	湊ジュニア	26	崎浦ジュニア
		6年	16	崎浦ジュニア	27	金沢ジュニア
H13	20	5年	14	崎浦ジュニア	22	七塚ジュニア
		6年	20	金沢ジュニア	28	崎浦ジュニア
H14	21	5年	14	湊A・加賀市ジュニア	26	中央ジュニア
		6年	17	金沢ジュニア	27	OKジュニア
H15	22	4年	10	大徳ジュニア	23	大徳ジュニア
		5年	13	松任ジュニア	16	崎浦ジュニア
		6年	14	東浅川・崎浦ジュニア	27	中央ジュニア
H16	23	4年	9	高松・宇ノ気ジュニア	30	湊'ジュニア
		5年	13	大徳ジュニア	24	大徳・中央ジュニア
		6年	20	崎浦ジュニア	26	中央ジュニア
H17	24	4年	8	崎浦ジュニア	20	松任ジュニア
		5年	10	J.Cats	24	七塚ジュニア
		6年	18	大徳ジュニア	32	金沢ジュニア
H18	25	4年	10	宇ノ気・七塚・内灘ジュニア	22	崎浦ジュニア
		5年	12	崎浦ジュニア	17	J.CatsA
		6年	18	金沢ジュニア	34	OKジュニア
H19	26	4年	7	中央ジュニア	18	OKジュニア
		5年	12	津幡ジュニア	17	宇ノ気ジュニア
		6年	14	金沢・J.Cats	29	松任ジュニア

石川県バドミントン協会　表彰規定

（趣　旨）

第１条　　この規定は、石川県バドミントン協会（以下本協会という）の向上発展のために尽力し、その功績が顕著な個人または団体を表彰することを目的とする。

（表彰の種類）

第２条　　表彰は、感謝状、最優秀賞、優秀賞、功労賞、奨励賞に区別して行う。

（表彰の基準）

第３条　　表彰の対象として推薦される者は、次のいずれかの項目に該当する者とする。

1　本協会の向上、発展のために尽力し、特に著しい功績のあった者及び団体（感謝状）

（１）本協会の役員として10年以上務め、その任を離れた者。

（２）前項以外で、常任理事会が特に功績のあると認めた者、及び団体。

2　全国以上の大会で優勝を収めた選手及びチーム（最優秀賞）

3　全国以上の大会で３位以内に入賞を収めた選手及びチーム。（優秀賞）

全国大会とは、

①　全日本総合選手権大会
②　国民体育大会
③　全日本社会人選手権大会
④　全日本実業団選手権体会
⑤　全日本学生選手権大会
⑥　全国高校選手権大会及び全国高校選抜大会
⑦　全日本ジュニア選手権大会
⑧　全国中学校大会及び全日本中学生選手権大会（団体）
⑨　全国小学生選手権大会、都道府県大会小学生団体戦及び全国小学生ＡＢＣ大会、若葉カップ

4　３以外の全国大会で優勝を収めた選手及びチーム。（奨励賞）

３以外の全国大会とは、

①　日本ジュニアグランプリ大会
②　全日本高等専門学校選手権大会
③　全国高校定時制通信制大会

5　３以外の全国大会で優勝を収めた選手及びチーム。（精励賞）

３以外の全国大会とは、

①　全日本教職員選手権大会
②　全国レディース選手権大会
③　日本スポーツマスターズ大会
④　全日本シニア選手権大会

6　指導者として、２項に該当する選手及びチームを育成した者。（功労賞）

（被表彰候補者の推薦・決定）

第４条　　被表彰候補者及び団体は常任理事界において常任理事によって推薦され決定する。

（表　彰）

第５条　　表彰は、毎年１回定例総会において行う。
表彰対象期間は前年の定例総会開催日から定例総会開催日までとする。

第６条　　本規定の改定は、総会の承認を得るものとする。

第７条　　この規定は、平成17年１月より施行する。

受賞の記録

表彰区分	1995年	1996年
最優秀賞	金沢向陽高校女子バドミントン部 中島珠美（金沢向陽高校3年） 片糸由希子（金沢向陽高校3年） 舛田圭太（金沢市立工業高校2年） 大畠隆史（田鶴浜中学校3年） 山下淳（田鶴浜中学校3年）	金沢市立工業高校男子バドミントン部 田鶴浜中学校男子バドミントン部 舛田圭太（金沢市立工業高校3年） 廣瀬雅士（田鶴浜中学校3年） 長尾昌典（田鶴浜中学校3年）
優秀賞	金沢市立工業高校男子バドミントン部 田鶴浜中学校男子バドミントン部 徳坂渉（金沢市立工業高校3年） 酒井忠相（田鶴浜中学校3年） 茶谷徳靖（北鳴中学校3年） 山瑞康裕（下甘田クラブ）	金沢向陽高校女子バドミントン部 高松中学校男子バドミントン部 美川中学校女子バドミントン部 堀哲子（金沢向陽高校3年） 奥村亜紀代（金沢向陽高校3年） 堀田洋平（高松中学校3年） 金田拓也（高松中学校3年） 山本通雄（相馬クラブ） 長尾孝哲（相馬クラブ）
功労賞	和田修（金沢向陽高校顧問） 彼島重範（金沢市立工業高校顧問） 観田健治（田鶴浜中学校顧問）	彼島重範（金沢市立工業高校顧問） 観田健治（田鶴浜中学校顧問）
感謝状	平野貢（相馬クラブ）	故石川元一（前県協会副会長） 故毛利信雄（前県協会参与）

表彰区分	1997年	1998年
最優秀賞	舛田圭太（日本体育大学1年） 田井美幸（金沢向陽高校3年） 舛田恵（金沢向陽高校3年）	西村紗希（森本ジュニアクラブ） 浜中麻亜子（加賀ジュニアクラブ）
優秀賞	金沢市立工業高校男子バドミントン部 金沢向陽高校女子バドミントン部 鹿島中学校男子バドミントン部 石川県男子小学生選抜 山口俊（下甘田クラブ）	金沢市立工業高校男子バドミントン部 金沢向陽高校女子バドミントン部 田鶴浜中学校男子バドミントン部 石川県男子小学生選抜 酒井忠相（金沢市立工業高校3年） 茶谷徳靖（金沢市立工業高校3年） 田村恵里（金沢向陽高校3年） 舛田恵（金沢向陽高校3年） 梅田雅彦（高岡中学校3年） 岩内佑之（高岡中学校3年） 山口俊（下甘田クラブ） 伊東克範（大徳ジュニアクラブ） 興津由佳（ひまわりジュニアクラブ）

功労賞	和田　修（金沢向陽高校顧問） 彼島重範（金沢市立工業高校顧問）	油野徳公（森本ジュニアクラブ監督） 大田俊介（加賀ジュニアクラブ監督）
感謝状	故土野英吉（前県社会人連盟会長） 故松島桃喜男（元県少年連盟会長） 故谷口明（前県少年連盟会長） 古澤清二（前県少年連盟副理事長）	中文彦（県協会名誉理事） 高松中学校男子バドミントン部

表彰区分	1999年	2000年
最優秀賞	該当者なし	石川県女子小学生選抜 山口俊（美川中学校2年） 村上彩（崎浦ジュニアクラブ）
優秀賞	金沢向陽高校女子バドミントン部 石川県男子小学生選抜 石川県女子小学生選抜 山下淳（金沢市立工業高校3年） 廣瀬雅士（金沢市立工業高校3年） 青山早希（布水中学校3年） 木村綾（布水中学校3年） 宮村順也（犀生中学校2年） 山田一哉（犀生中学校2年） 山口俊（美川中学校1年） 木村咲絵（美川中学校2年） 浜中麻亜子（加賀ジュニアクラブ） 安藤総兵（金沢ジュニアクラブ） 南出なつき（ひまわりジュニアクラブ） 水口さゆり（ひまわりジュニアクラブ）	美川中学校女子バドミントン部 石川県男子小学生選抜 田井紀子（金沢向陽高校3年） 梅津知恵（金沢向陽高校3年） 加賀裕美（金沢向陽高校3年） 西村木綿香（金沢向陽高校3年） 宮村順也（犀生中学校3年） 伊東可奈（金石中学校3年） 西村紗希（森本中学校2年） 桜井みどり（大徳ジュニアクラブ） 関真彦（J．Cats） 浦翔太（J．Cats）
功労賞	該当者なし	松田浩幸（美川中学校顧問） 辻鈴子（石川県女子小学生選抜監督） 落合昌子（崎浦ジュニアクラブ監督）
感謝状	故加納孝一（加賀市協会副会長） 土用下文雄（小松市協会副会長） 田鶴浜中学校男子バドミントン部	福住孝（松任市協会会長） 長谷久人（高松町協会会長）

表彰区分	2001年	2002年
最優秀賞	梅津知恵（つくば国際大学1年）	石川県中学生選抜 石川県女子小学生選抜 南出なつき（御幸中学校3年） 水口さゆり（御幸中学校3年）
優秀賞	金沢向陽高校女子バドミントン部 石川県中学生選抜 石川県女子小学生選抜 土谷美紗津（OKジュニアクラブ）	金沢向陽高校女子バドミントン部 青山早希（金沢向陽高校3年） 通次尚美（金沢向陽高校3年） 安藤総兵（金沢ジュニアクラブ）

優秀賞		村上　彩（崎浦ジュニアクラブ） 三浦健豊（大徳ジュニアクラブ） 関　真彦（Ｊ．Ｃａｔｓ） 浦　翔太（Ｊ．Ｃａｔｓ） 三谷美菜津（ＯＫジュニアクラブ）
功労賞	和田　修（金沢向陽高校顧問）	辻　鈴子（ひまわりジュニアクラブ監督）
感謝状	秋田　勲（美川町協会会長）	宮城徹三郎（県社会人連盟副会長）

表彰区分	２００３年	２００４年
最優秀賞	村上　彩（城南中学校２年）	該当者なし
優秀賞	北國銀行女子バドミントン部	金沢向陽高校女子バドミントン部
	金沢学院大学男子バドミントン部	石川県男子小学生選抜
	石川県中学生選抜	樽野　恵（金沢向陽高校１年）
	木村咲絵（金沢向陽高校３年）	松居圭一郎（大徳ジュニアクラブ）
	木村　綾（金沢向陽高校３年）	長谷川由季（ＯＫジュニアクラブ）
	伊東可奈（金沢向陽高校３年）	
	今井杏莉（金沢向陽高校３年）	
	梨木春花（金沢向陽高校３年）	
	三谷美菜津（ＯＫジュニアクラブ）	
	木村百花（加賀ジュニアクラブ）	
	長　真由子（大徳ジュニアクラブ）	
	河原市　澪（大徳ジュニアクラブ）	
	星　千智（松任ジュニアクラブ）	
功労賞	舛田吉光（金沢ジュニアクラブ監督）	該当者なし
感謝状	鶴見富男（県少年連盟副会長）	寺井町バドミントン協会
	大西忰一（宇ノ気町協会）	松任市バドミントン協会
	村本正昭（宇ノ気町協会）	美川町バドミントン協会

表彰区分	２００５年	２００６年
最優秀賞	浜中麻亜子（金沢向陽高校３年）	金沢向陽高校女子バドミントン部
	樽野　恵（金沢向陽高校２年）	石川県男子小学生選抜
		樽野　恵（金沢向陽高校３年）
優秀賞	金沢向陽高校女子バドミントン部	木村唯菜（金沢向陽高校３年）
	三谷美菜津（美川中学校３年）	松居圭一郎（大徳ジュニアクラブ）
	牧畠秀樹（中央ジュニアクラブ）	星　知里（松任ジュニアクラブ）
	丸山諒一郎（中央ジュニアクラブ）	吉森朱里（松任ジュニアクラブ）
	星　知里（松任ジュニアクラブ）	
	吉森朱里（松任ジュニアクラブ）	
功労賞	車　浩明（金沢向陽高校顧問）	車　浩明（金沢向陽高校顧問）
感謝状	故越野清昭（県バドミントン協会）	故原　弘明（能美市協会）
	野崎健二（県実業団連盟）	小山元也（七尾市協会）
	長谷川清美（県レディース連盟）	

全日本総合選手権優勝者（注：昭和34年までは全日本選手権大会）

種目／年度	男子 シングルス	男子 ダブルス		女子 シングルス	女子 ダブルス		混合ダブルス	
昭和22(1947)年	岡　淳一	広田　敏秀	藤井　光男	中村　たき	川俣千枝子	中村　たき	森　勇	岡　広子
昭和23(1948)年	岡　淳一	広田　敏秀	藤井　光男	吉田とよ子	川俣千枝子	中村　たき	Eエマール	川俣千枝子
昭和24(1949)年	岡　淳一	岡　淳一	相馬　万吉	吉田とよ子	吉田とよ子	田村知江子	山田　康久	田村知江子
昭和25(1950)年	岡　淳一	岡　淳一	岡　道明	遠藤　文子	遠藤　文子	小林　歌子	山田　康久	田村知江子
昭和26(1951)年	広田　敏秀	広田　敏秀	岡　道明	登　悦子	堀江　綾子	保田　久子	澁谷　弘利	小島　信
昭和27(1952)年	広田　敏秀	吉原　秀雄	藤井　晶一	吉田　光子	遠藤　文子	荒川とみ子	澁谷　弘利	小島　信
昭和28(1953)年	望月　文雄	佐藤　芳明	山崎　茂	荒川とみ子	小林　歌子	荒川とみ子	澁谷　弘利	小島　信
昭和29(1954)年	上田　益弘	片石　兼敏	加藤　正則	大川　良子	大川　良子	藤田　光子	上谷　茂己	小沢　良美
昭和30(1955)年	片石　兼敏	片石　兼敏	加藤　正則	権田　節子	戸田　寿子	小林　桂子	小飼　栄一	本庄　純子
昭和31(1956)年	佐藤　芳朗	片石　兼敏	永井　栄一	横井キヌエ	大川　良子	小林　歌子	石原　利通	戸田　寿子
昭和32(1957)年	永井　栄一	永井　栄一	並木　信裕	田島外茂子	田島外茂子	宮川ツヤコ	石原　利通	戸田　寿子
昭和33(1958)年	佐藤　芳朗	永井　栄一	並木　信裕	田島外茂子	田島　玲子	高島　洋子	貝戸　肇	諸田みや子
昭和34(1959)年	板垣　隆房	山田　善康	中村　智	田島外茂子	田島　玲子	山崎紀久子	北島　克英	有木とみ子
昭和35(1960)年	小宮　好雄	沢田　力	森　晃一	橘　美智子	高橋　泰子	長野　文子	毛利　清志	根岸　純
昭和36(1961)年	小宮　好雄	沢田　力	森　晃一	秋山　文子	木村　政子	横山　満子	杉田　博	杉田　良子
昭和37(1962)年	宮永　武司	沢田　力	森　晃一	高木　紀子	高木　紀子	諸田みや子	星野　忠男	有木とみ子
昭和38(1963)年	渡部　欽一	鈴木　幸春	東条　義昭	横山　文子	有木とみ子	三原　弘美	星野　忠男	有木とみ子
昭和39(1964)年	宮永　武司	堺　栄一	宮永　武司	高木　紀子	高木　紀子	天野　博江	星野　忠男	有木とみ子
昭和40(1965)年	秋山　真男	堺　栄一	宮永　武司	横山　満子	高木　紀子	天野　博江	東条　義昭	横井　文子
昭和41(1966)年	小島　一平	堺　栄一	宮永　武司	高木　紀子	高木　紀子	天野　博江	小宮　好雄	上野　明美
昭和42(1967)年	小島　一平	秋山　真男	小島　一平	高木　紀子	高木　紀子	天野　博江	板垣　善憲	大田　節子
昭和43(1968)年	小島　一平	秋山　真男	小島　一平	高橋とも子	相沢マチ子	竹中　悦子	鈴木　健二	有木とみ子
昭和44(1969)年	小島　一平	秋山　真男	小島　一平	湯木　博恵	相沢マチ子	竹中　悦子	鈴木　健二	有木とみ子
昭和45(1970)年	小島　一平	堺　栄一	梅野尾昌一	竹中　悦子	相沢マチ子	竹中　悦子	堺　栄一	天野　博江
昭和46(1971)年	梅野尾昌一	鈴木　健二	池田　信孝	中山　紀子	中山　紀子	湯木　博恵	堺　栄一	天野　博江
昭和47(1972)年	小島　一平	秋山　真男	小島　一平	湯木　博恵	相沢マチ子	竹中　悦子	堺　栄一	天野　博江
昭和48(1973)年	小島　一平	池田　信孝	梅野尾昌一	湯木　博恵	相沢マチ子	竹中　悦子	梅野尾昌一	竹中　悦子
昭和49(1974)年	銭谷　欽治	池田　信孝	梅野尾昌一	湯木　博恵	湯木　博恵	池田　美加	梅野尾昌一	竹中　悦子
昭和50(1975)年	小島　一平	飯野　佳孝	上田　証雄	湯木　博恵	竹中　悦子	植野恵美子	今井　茂満	池田　美加
昭和51(1976)年	銭谷　欽治	池田　信孝	梅野尾昌一	湯木　博恵	梅野尾悦子	植野恵美子	梅野尾昌一	梅野尾悦子

種目 / 年度	男子			女子			混合ダブルス	
	シングルス	ダブルス		シングルス	ダブルス			
昭和52(1977)年	銭谷　欽治	飯野　佳孝	土田　証雄	近藤　小織	徳田　敦子	高田　幹子	日下　昇	牛田真由美
昭和53(1978)年	銭谷　欽治	飯野　佳孝	土田　証雄	徳田　敦子	徳田　敦子	高田　幹子	中井　基夫	千葉　陽子
昭和54(1979)年	銭谷　欽治	池田　信孝	尾崎　幹雄	米倉よし子	米倉よし子	徳田　敦子	栂野尾昌一	栂野尾悦子
昭和55(1980)年	長谷川博幸	飯野　佳孝	土田　証雄	北田スミ子	米倉よし子	徳田　敦子	中井　基夫	端　洋護
昭和56(1981)年	銭谷　欽治	銭谷　欽治	西山　博司	北田スミ子	米倉よし子	徳田　敦子	栂野尾昌一	栂野尾悦子
昭和57(1982)年	長谷川博幸	長谷川博幸	宮本　幸弘	北田スミ子	米倉よし子	徳田　敦子	辻　敏弘	徳永　順子
昭和58(1983)年	長谷川博幸	松野　修二	松浦　進二	東海林文子	米倉よし子	徳田　敦子	鈴木　裕	関根　和子
昭和59(1984)年	銭谷　欽治	宮森　庄吉	井上　哲章	北田スミ子	米倉よし子	徳田　敦子	工上　恭司	陣内貴美子
昭和60(1985)年	西山　博司	松野　修二	松浦　進二	北田スミ子	高峯　和子	星　和枝	富田　章夫	富田美千子
昭和61(1986)年	松浦　進二	松野　修二	松浦　進二	北田スミ子	米倉よし子	徳田　敦子	谷田　尚嗣	高峯　和子
昭和62(1987)年	西山　博司	松野　修二	松浦　進二	北田スミ子	田児よし子	徳田　敦子	長谷川博幸	森山　弘美
昭和63(1988)年	松浦　進二	松野　修二	松浦　進二	北田スミ子	陣内貴美子	森　久子	谷田　尚嗣	廣田　時子
平成元(1989)年	松浦　進二	松野　修二	松浦　進二	宮村　愛子	陣内貴美子	森　久子	谷田　尚嗣	廣田　時子
平成 2 (1990)年	松浦　進二	松野　修二	松浦　進二	水井妃佐子	陣内貴美子	森　久子	早戸　敬雄	田代美智世
平成 3 (1991)年	松浦　進二	松野　修二	松浦　進二	松尾　知美	松尾　知美	捧　匡子	辻田　泰昌	松田　治子
平成 4 (1992)年	霜上　和弘	松野　修二	松浦　進二	宮村　愛子	廣田　時子	小池由扶子	吉賀　勝志	藤本　暢子
平成 5 (1993)年	町田　文彦	松野　修二	松浦　進二	水井妃佐子	廣田　時子	小池由扶子	今井　章弘	甲斐　美和
平成 6 (1994)年	町田　文彦	江藤　裕樹	柳谷　辰哉	水井妃佐子	松尾　知美	阪本　雅子	今井　章弘	甲斐　美和
平成 7 (1995)年	町田　文彦	町田　文彦	渡辺　清一	水井妃佐子	松尾　知美	阪本　雅子	気谷　篤人	佐々木　忍
平成 8 (1996)年	須賀　隆弘	片山　拓哉	久保田雄三	井田　貴子	岩田　良子	松田　治子	今井　紀夫	松田　治子
平成 9 (1997)年	太田　慎二	太田　慎二	竹鼻　拓也	井田　貴子	中山智香子	増茂　孝枝	宮　康二	田児よし子
平成10(1998)年	舛田　圭太	舛田　圭太	大東　忠司	田中　美保	岩田　良子	松田　治子	清水　文武	田村富士美
平成11(1999)年	舛田　圭太	舛田　圭太	大東　忠司	水井　泰子	中山智香子	増茂　孝枝	薄　智彦	川口　桐香
平成12(2000)年	舛田　圭太	片山　拓哉	久保田雄三	米倉加奈子	山本　静香	山田　青子	今井　紀夫	中山智香子
平成13(2001)年	舛田　圭太	太田　慎二	竹鼻　拓也	森　かおり	吉富　桂子	中島　暁子	今井　紀夫	中山智香子
平成14(2002)年	舛田　圭太	舛田　圭太	大東　忠司	小椋久美子	中山智香子	吉富　桂子	大東　忠司	山本　静香
平成15(2003)年	佐藤　翔治	舛田　圭太	大東　忠司	中山智香子	山田　青子	山本　静香	山下　大介	引地　恵
平成16(2004)年	佐藤　翔治	舛田　圭太	大東　忠司	廣瀬栄理子	小椋久美子	潮田　玲子	大東　忠司	山本　静香
平成17(2005)年	佐藤　翔治	伸尾　修一	坂本　修一	米倉加奈子	小椋久美子	潮田　玲子	舛田　圭太	前田　美順
平成18(2006)年	佐藤　翔治	坂本　修一	池田信太郎	廣瀬栄理子	小椋久美子	潮田　玲子	舛田　圭太	前田　美順
平成19(2007)年	佐々木　翔	川口　馨士	川前　直樹	今別府香里	小椋久美子	潮田　玲子	舛田　圭太	前田　美順

※表中のアミ掛け部分は県内出身者
※谷悦子は井川悦子、小島信は藤谷信(亮治夫人)、沢田力は松下力、竹中悦子は栂野尾悦子、山崎紀久子は堤紀久子

あとがき

石川県バドミントン協会創立60周年を迎えるにあたって、記念誌を発刊する事になりました。協会常任理事と各連盟の代表者に編集委員を委嘱し、４月に第１回目の編集会議を開催し、内容（案）を検討しました。その後の編集委員会は、毎月の連絡会に併せて開催し、原稿依頼や進捗状況の報告などを行ってきました。

内容は近10年の歩みを中心に、見て楽しく、読みやすい記念誌の発刊を目指し、前半は、それぞれの年に活躍した選手達の写真を多く掲載しました。記事としましては、特に市町村合併により協会組織も大きく変わりましたので、市町協会の活動内容と、ジュニア育成が急務となっている現状を考え「ジュニアクラブ」の活動内容を中心に掲載する事にしました。

日頃の勤務、活動に多忙な毎日を送っておられる執筆者には大変無理を言って、原稿、資料、写真の提出に関してご協力をいただきましたが、紙面の都合上、文章や写真を割愛しなければならなくなった事をお詫び申し上げます。

編集責任者　能﨑喜吉

石川県バドミントン協会
60 周 年 記 念 誌

発行日　平成20年２月１日発行
発　行　石川県バドミントン協会
事務局　〒921－8034
石川県金沢市泉野町４丁目18番20号
能﨑　喜吉　気付
電　話　076－241－4909
メール　nozaki.kiyoshi@silk.plala.or.jp
URL　http:/ badminton.gr.jp

制　作　北國新聞社

本書に記載されている記事の無断転載・複製などはかたくお断りします



ISHIKAWA

石川県バドミントン協会